MS910 Series

ユーザーガイド

2014 年 6 月 **www.lexmark.com**

機種番号:

4021

機種:

230

目次

安全情報

製品の近くにあり、簡単にアクセスできる、正しく接地され、定格を守ったコンセントに電源コードを直接接続します。

危険！ケガの恐れあり: 本製品をご使用の際は、延長コード、複数コンセントの電源タップ、多口の延長プラグ、その他のサージ保護機器や UPS 機器に接続しないでください。このようなタイプのアクセサリは、レーザープリンタを接続すると簡単に定格容量を超過してしまい、プリンタの性能低下、機器の故障、火災などの原因になる可能性があります。

本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

危険！ケガの恐れあり: 本製品はレーザーを使用しています。ここに記載されている手順以外の制御、調整などを行うと、有害な放射にさらされる恐れがあります。

本製品は印刷処理において印刷用紙を加熱するため、この熱が原因で用紙から有害ガスが発生する可能性があります。操作説明書に記載されている、用紙選択についてのセクションをよく読み、有害ガスが放出されないようにしてください。

危険！ケガの恐れあり: この製品に使用されているリチウム電池は、交換を前提としていません。リチウム電池の交換を誤ると破裂する危険性があります。リチウム電池の再充電、分解、焼却は行わないでください。使用済みのリチウム電池を廃棄する際は、製造元の指示およびお使いの地域の法律に従ってください。

危険！表面は高温です: プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

危険！ケガの恐れあり: 機器が不安定になる危険性を低減するために、トレイは個別にセットします。他のトレイはすべて、必要になるまで閉じておきます。

危険！ケガの恐れあり: プリンタの重量は 18 kg（40 lb）を超えています。安全に持ち上げるには、訓練を受けた人が 2 人以上必要です。

危険！ケガの恐れあり: プリンタを移動する前に、ケガやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- プリンタの電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜きます。
- プリンタからコードやケーブル類をすべて外します。
- プリンタにキャスタベースがなく、オプションのトレイが装着されている場合は、このトレイを取り外します。
- プリンタの両側にある持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
- また、プリンタを下ろすときは指がプリンタの下に挟まれないように注意してください。
- プリンタの周囲に十分なスペースをとってください。
- 本製品に付属する、または製造元が代替品として認可した電源ケーブルのみを使用してください。

危険！感電の恐れあり: プリンタの設置後にコントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合、作業を行う前にプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。プリンタに他のデバイスを接続している場合はそれらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

危険！感電の恐れあり: 感電の危険を避けるため、プリンタの外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。

危険！感電の恐れあり: イーサネットおよび電話線の接続など、すべての外部接続が表示どおりのポートに正しく行われていることを確認してください。

本機は、特定のメーカーのコンポーネントとともに使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。メーカーは、他の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

この製品は、通常の操作中にオゾンが発生するため、推奨される被爆制限値をはるかに下回るレベルまでオゾンの濃度を抑制するよう設計されたフィルタが取り付けられています。 非常に頻繁に使用してもオゾンの濃度レベルが高くならないよう、この製品は換気のよいエリアに設置し、製品の保守説明に記載されているとおりに、オゾンおよび排気フィルタを交換してください。

危険！ケガの恐れあり: 電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが以上の状態になっていないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

取扱説明書に記載以外の事項については、サービス担当者にお尋ねください。

危険！感電の恐れあり: 雷雨の際は、FAX 機能などの本製品のセットアップや、電源コードや電話線などのケーブル接続作業を行わないでください。

危険！転倒の恐れあり: 床面に設置する場合は、安定性を確保するための器具が別途必要になります。複数の給紙オプションを使用している場合は、プリンタのスタンドまたはベースを使用する必要があります。最小構成のプリンタを購入した場合、追加のファニチャが必要になる可能性があります。詳細については、**www.lexmark.com/multifunctionprinters** を参照してください。

この手引きを大切に保管してください。

プリンタの詳細

プリンタに関する情報を見つける

検索する場所	入手先
初期セットアップ手順: • プリンタに接続する • プリンタソフトウェアをインストールする	セットアップマニュアルーセットアップマニュアルはプリンタに同梱されています。また、**http://support.lexmark.com** を参照してください。
プリンタを使用するためのその他の設定および手順: • 用紙および特殊用紙を選択して保存する • 用紙をセットする • プリンタ設定を構成する • ドキュメントおよび写真を表示して印刷する • プリンタソフトウェアをセットアップして使用する • ネットワーク上でプリンタを構成する • プリンタの手入れとメンテナンスを実施する • 問題に対処して解決する	『ユーザーガイド』および『クイックリファレンスガイド』— これらのガイドについては、**http://support.lexmark.com** を参照してください。 **メモ**: これらのガイドは、他の言語でも利用できます。
プリンタのユーザ補助機能のセットアップと設定に関する情報	『Lexmark ユーザ補助機能ガイド』— このガイドについては、**http://support.lexmark.com** を参照してください。
プリンタソフトウェアの使用に関するヘルプ	Windows または Mac ヘルプ—プリンタソフトウェアプログラムまたはアプリケーションを開き、[**ヘルプ**]をクリックします。 ? をクリックすると、状況に対応した情報が表示されます。 **メモ**: • ヘルプシステムはプリンタソフトウェアとともに自動的にインストールされます。 • プリンタソフトウェアは、オペレーティングシステムに応じて、プリンタのプログラムフォルダまたはデスクトップにあります。
最新の補足情報、更新、およびお客様サポート: • マニュアル • ドライバダウンロード • ライブチャットサポート • E メールサポート • 電話サポート	Lexmark のサポート用 Web サイト — **http://support.lexmark.com** **メモ**: 国または地域を選択してから、製品を選択し、該当するサポートサイトを表示します。 お住まいの国または地域を担当するサポートの電話番号および業務時間については、サポート Web サイトまたはプリンタに同梱されている書面の保証書でご確認ください。 お客様サポートにお問い合わせの際には、迅速に対応できるように、販売店の領収書およびプリンタの背面に記載されている次の情報を書き留め、手元に用意しておいてください。 • プリンタのタイプ番号 • シリアル番号 • 購入日 • 購入した店舗

検索する場所	入手先
保証情報	保証情報は国または地域によって異なります。 • **米国** – プリンタに同梱されている「限定保証宣言」または http://support.lexmark.com を参照してください。 • **その他の国および地域**–プリンタに同梱されている書面の保証書をご覧ください。

プリンタをコンセントに接続する

電源コードをプリンタに接続してから、正しく接地し、簡単にアクセスできるコンセントに接続します。

メモ: コンセントの形状は、お住まいの国や地域によって異なることがあります。

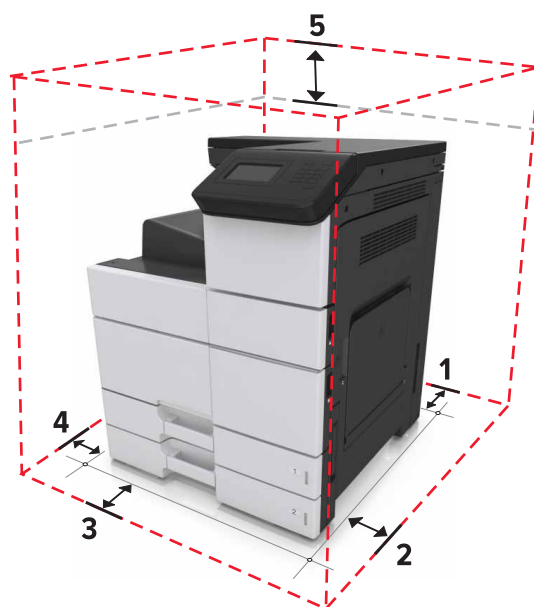
プリンタの設置場所を選択する

危険！ケガの恐れあり: プリンタの重量は 18 kg（40 ポンド）以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

プリンタの設置場所を選ぶときは、トレイ、カバー、ドアを開くための十分なスペースがあることを確認します。オプションを取り付ける予定がある場合は、そのスペースも考慮します。以下の点が重要です。

- 正しく接地され、簡単にアクセスできるコンセントの近くにプリンタを設置します。
- 室内の空気の流れが最新版の ASHRAE 62 基準または CEN Technical Committee 156 基準を満たしていることを確認します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- プリンタを以下の状態に保ちます。
  - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にする。
  - ホチキスや紙クリップを近くに置かない。
  - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにする。
  - 直射日光、極度の湿気を避ける。
- 推奨温度を監視し、激しい変動を避けます。

操作環境の温度	10 ～ 30°C（50 ～ 86°F）
保管時の温度	-10 ～ 40°C（14 ～ 104°F）

- 適切な通気を保つために、プリンタの周囲に以下のスペースを確保することをお勧めします。

1	背面	120 mm（4.8 インチ）
2	右側	400 mm（15.7 インチ）
3	正面	444.5 mm（17.5 インチ）
4	左側	120 mm（4.8 インチ）
5	上部	150 mm（5.9 インチ）

プリンタ構成

メモ: プリンタを構成するときに、プリンタの設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。

基本モデル

1	操作パネル
2	多目的フィーダー
3	標準 2 x 500 枚トレイ
4	標準排紙トレイ

構成設定済み機種

危険!転倒の恐れあり: 本製品を床に設置する場合は、安定させるために追加の備品が必要です。複数の入力オプションを使用している場合は、プリンタスタンドまたはプリンタベースを使用する必要があります。同様の構成でプリンタを購入した場合は、追加の設備が必要になることがあります。詳細については、**www.lexmark.com/multifunctionprinters** を参照してください。

	ハードウェアオプション	代替ハードウェアオプション
1	ステープルフィニッシャー	なし
2	3000 枚トレイ	なし
3	2 x 500 枚トレイ	2500 枚トレイ
4	2500 枚トレイ	2 x 500 枚トレイ
5	フィニッシャー • ステープル、ホールパンチフィニッシャー • ブックレットフィニッシャー	なし

オプショントレイ使用時:

- 2 x 500 枚トレイまたは 2500 枚トレイが設置されている場合に限り、3000 枚トレイはサポートされています。
- 別のフィニッシャーが設置されている場合、ステープルフィニッシャーはサポートされません。

プリンタコントロールパネルの理解

操作パネルを使用する

	項目	目的
1	表示	• プリンタの状態を示します。 • プリンタを設定して操作します。
2	[ホーム]ボタン	ホーム画面に移動します。
3	[スリープ]ボタン	スリープモードまたはハイバネートモードを有効にします。 次の操作を実行すると、プリンタがスリープモードから復帰します。 • 操作パネルのホーム画面をタッチする 次の操作を実行すると、プリンタがハイバネートモードから復帰します。 • プリンタが復帰するまで[スリープ]ボタンを押す • 主電源スイッチを使用して電源投入時リセットを実行する
4	キーパッド	プリンタで数字、文字、または記号を入力します。
5	[停止]または[キャンセル]ボタン	すべてのプリンタの動作を停止します。
6	インジケータランプ	プリンタの状態を確認します。

スリープボタンとインジケータランプの色を理解する

プリンタコントロールパネルの[スリープ]ボタンとインジケータランプの色は、特定のプリンタの状態または状況を示します。

インジケータランプ	プリンタの状況
オフ	プリンタはオフかハイバネートモードです。
緑色で点滅	プリンタはウォーミングアップ中、データの処理中、印刷中のいずれかです。

インジケータランプ	プリンタの状況
緑色で点灯	プリンタはオンですが、アイドル状態です。
赤色で点滅	プリンタへのユーザー操作が必要です。

スリープボタンランプ	プリンタの状況
オフ	プリンタはオフか[準備完了]状態です。
黄色で点灯	プリンタはスリープモードです。
黄色で点滅	プリンタはハイバネートモードに入っているか、ハイバネートモードから復帰しています。
0.1 秒間黄色で点滅した後、低速のパルスパターンで 1.9 秒間完全にオフになる	プリンタはハイバネートモードです。

ホーム画面を理解する

プリンタの電源を入れると、ホーム画面という基本画面が表示されます。ホーム画面のボタンとアイコンを使用して、操作を開始します。

メモ: ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面が異なって表示される場合があります。

タッチ		目的
1	言語を変更	プリンタのメイン言語を変更します。
2	ブックマーク	ツリー表示のフォルダやファイルリンクで、一連のブックマーク(URL)の作成、整理、および保存を行います。 **メモ**: ツリー表示には[用紙とお気に入り]で作成されたブックマークが含まれず、ツリーのブックマークは[用紙とお気に入り]で使用できません。
3	保持されたジョブ	現在保持されているジョブがすべて表示されます。
4	USB	フラッシュドライブ上の写真やドキュメントの表示、選択、印刷といった操作を行います。 **メモ**: このボタンが表示されるのは、メモリカードやフラッシュドライブがプリンタに接続されている状態で、ホーム画面に戻った場合に限定されます。

タッチ		目的
5	メニュー	プリンタのメニューを表示します。 **メモ**: これらのメニューは、プリンタがレディ状態の場合にのみ使用できます。
6	状況メッセージバー	• [**レディ**]や[**ビジー**]など、現在のプリンタの状況を示します。 • プリンタの消耗品の状態を表示します。 • ユーザー操作メッセージと解決手順を示します。
7	状況/消耗品	• プリンタで処理を続行するために操作が必要な場合には、必ずプリンタ警告またはエラーメッセージが表示されます。 • プリンタ警告またはメッセージの詳細と解決方法を示します。
8	ヒント	状況に応じたヘルプ情報を表示します。

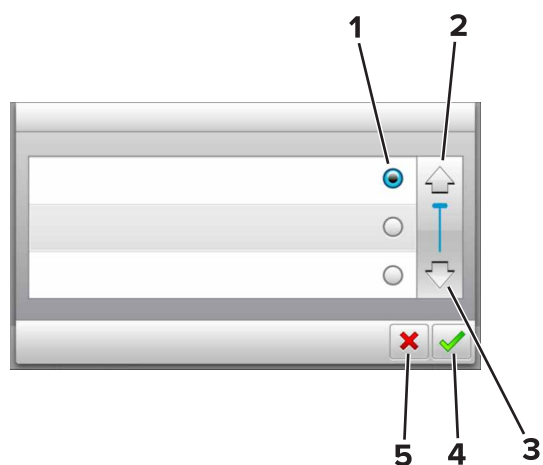
情報はホーム画面に表示される場合もあります。

タッチ	目的
保持されたジョブ検索	現在の保留ジョブを検索します。
ユーザー別ジョブ	ユーザーによって保存された印刷ジョブを表示します。
プロファイルとアプリ	プロファイルとアプリケーションを表示します。

機能

機能	説明
注意メッセージ通知	機能と関連がある注意メッセージの場合、このアイコンが表示され、赤色のインジケータランプが点滅します。
警告	エラー状況が発生した場合、このアイコンが表示されます。
プリンタの IP アドレス 例: `123.123.123.123`	プリンタの IP アドレスは、ホーム画面の左上隅に表示されます。内蔵 Web サーバーにアクセスして、プリンタ設定の表示やリモート構成を行うには、この IP アドレスを使用します。

タッチスクリーンのボタンを使用する

メモ: ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面が異なって表示される場合があります。

	タッチ	目的
1	ラジオボタン	項目を選択または選択解除します。
2	上矢印	上にスクロールします。
3	下矢印	下にスクロールします。
4	[承諾]ボタン	設定を保存します。
5	[キャンセル]ボタン	• 操作や選択をキャンセルします。 • 前の画面に戻ります。

タッチ	目的
	ホーム画面に戻ります。
	プリンタコントロールパネルで、状況に応じたヘルプのダイアログを開きます。
	左にスクロールします。
	右にスクロールします。

ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する

メモ:

- ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面が異なって表示される場合があります。一部のプリンタモデルでのみサポートされているアプリケーションがあります。
- 追加のソリューションおよびアプリケーションをご購入いただける場合もあります。詳細については、**www.lexmark.com** にアクセスするか、プリンタの購入先に問い合わせてください。

プリンタの IP アドレスを確認する

メモ: お使いのプリンタがネットワークまたはプリントサーバに接続していることを確認します。

プリンタの IP アドレスは、以下の部分で確認できます。

- プリンタのホーム画面の左上端
- [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクション
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP]セクションを確認

メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

コンピュータの IP アドレスを検索する

Windows の場合

1 [ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスで、「`cmd`」と入力してコマンドプロンプトを開きます。

2 「`ipconfig`」と入力して IP アドレスを探します。

Macintosh の場合

1 アップルメニューの[システム環境設定]から、[**ネットワーク**]を選択します。

2 お使いの接続の種類を選択し、[**詳細**] >[**TCP/IP**]の順にクリックします。

3 IP アドレスを探します。

内蔵 Web サーバーにアクセスする

内蔵 Web サーバーはプリンタの Web ページであり、物理的にプリンタの近くにいないときに、プリンタ設定の表示やリモート構成ができます。

1 プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。
   - プリンタコントロールパネルのホーム画面
   - [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクション

- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP]セクションを確認

メモ: IP アドレスは、`123.123.123.123` のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

3 **Enter** キーを押します。

メモ: プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

ホーム画面のアプリケーションを認証する

ホーム画面のアイコンの表示または非表示

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタコントロールパネルのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 [**設定**] >[**一般設定**] >[**ホーム画面のカスタマイズ**]をクリックします。

プリンタの基本機能のリストが表示されます。

3 各機能のチェックボックスをオンにして、プリンタのホーム画面に表示するアイコンを指定します。

メモ: チェックボックスをオフにした機能のアイコンは非表示になります。

4 [**送信**]をクリックします。

背景とアイドル画面を使用する

アイコン	説明
	このアプリケーションでは、プリンタのホーム画面の背景とアイドル画面をカスタマイズできます。

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

背景を変更 > 使用する背景を選択

2 をタッチします。

用紙とお気に入りをセットアップする

メモ: 新しいバージョンの『ユーザーガイド』には、このアプリケーションの『管理者ガイド』への直接リンクが含まれている場合があります。この『ユーザーガイド』の最新版を確認するには、**http://support.lexmark.com** にアクセスしてください。

使用	目的
	頻繁に使用されるオンライン用紙を直接プリンタのホーム画面からすばやく検索して印刷できるため、作業プロセスが合理化されます。 **メモ**: ブックマークの保存先であるネットワークフォルダ、FTP サイト、および Web サイトへのアクセス権をプリンタに付与しておく必要があります。ブックマークを保存したコンピュータから共有、セキュリティ、およびファイアウォールの設定を使用して、少なくとも読み取りアクセス権をプリンタに付与します。ヘルプについては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 [**設定**] > [**アプリ**] > [**アプリ管理**] > [**用紙とお気に入り**]をクリックします。

3 [**追加**]をクリックして、設定をカスタマイズします。

メモ:

- 設定の説明については、各フィールドの横にマウスカーソルを置くと、ヘルプが表示されます。
- ブックマークの場所の設定が正しいことを確認するには、ブックマークがあるホストコンピュータの IP アドレスを正しく入力します。ホストコンピュータの IP アドレスの取得の詳細については、17 ページの「コンピュータの IP アドレスを検索する」 を参照してください。
- ブックマークがあるフォルダへのアクセス権がプリンタに割り当てられていることを確認します。

4 [**適用**]をクリックします。

アプリケーションを使用するには、プリンタのホーム画面で **用紙とお気に入り**をタッチして、フォームカテゴリ内でフォームを選択するか、フォームの番号、名前、説明に基づいてフォームを検索します。

エコ設定を理解する

アイコン	説明
	このアプリケーションでは、エネルギー消費量、騒音、トナー、および用紙の使用設定を簡単に管理し、プリンタの環境への影響を削減できます。

遠隔操作パネルの設定

このアプリケーションでは、物理的にネットワークプリンタの近くにいない場合でも、プリンタコントロールパネルを操作できます。コンピュータから、プリンタの状況確認、保留印刷ジョブのリリース、ブックマーク作成などの、印刷関連タスクを実行できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 [**設定**] > [**リモート操作パネル設定**]をクリックします。

3 [**有効化**]チェックボックスを選択し、設定をカスタマイズします。

4 [**送信**]をクリックします。

アプリケーションを使用するには、[**遠隔操作パネル**] > [**VNC アプレットを起動**]をクリックします。

構成をエクスポート/インポートする

構成設定をテキストファイルにエクスポートしてから、そのテキストファイルをインポートし、他のプリンタに設定として適用できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面で IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 単一または複数のアプリケーション用の構成ファイルをエクスポートまたはインポートします。

単一のアプリケーションの場合

a 次のメニューを選択します。
[**設定**] >[**アプリ**] >[**アプリ管理**] > アプリケーションを選択 >[**構成設定メニュー**]

b 構成ファイルをエクスポートまたはインポートします。

メモ:

- **JVM メモリ不足**エラーが発生した場合は、構成ファイルが保存されるまで、エクスポートの手順を繰り返します。
- タイムアウトが発生し、ブランクの画面が表示される場合は、Web ブラウザを更新し、[**適用**]をクリックします。

複数のアプリケーションの場合

a [**設定**] >[**インポート/エクスポート**]をクリックします。

b 構成ファイルをエクスポートまたはインポートします。

メモ: 構成ファイルをインポートする場合は、[**送信**]をクリックし、プロセスを完了します。

追加のプリンタ設定

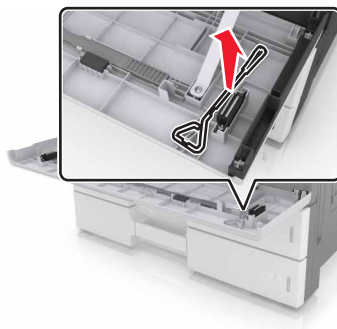
内部オプションを取り付ける

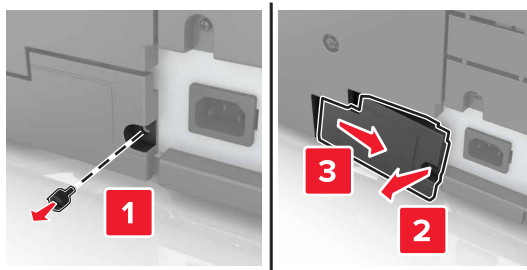
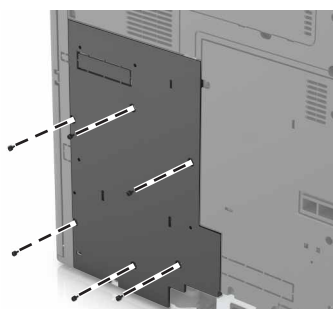
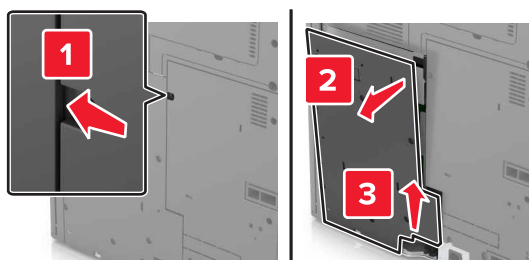
危険！感電の恐れあり: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

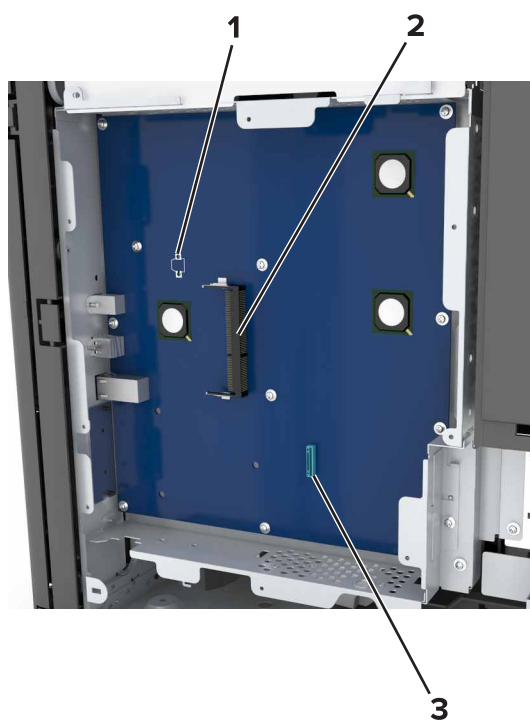
使用可能な内蔵オプション

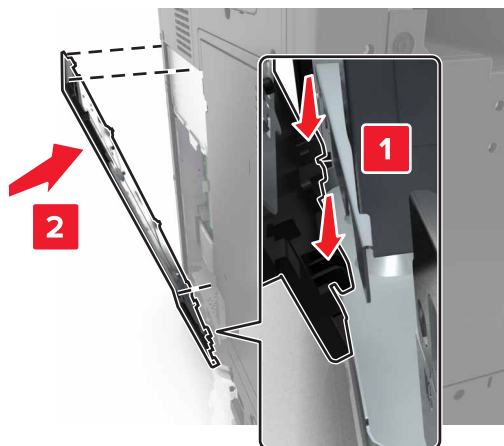
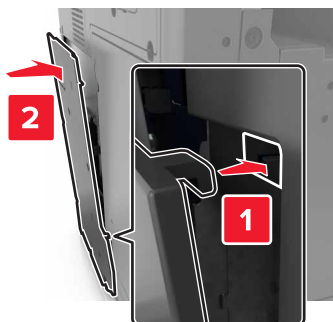
- メモリカード
  - DDR2 DIMM
  - フラッシュメモリ
    - フォント
    - ファームウェアカード
      - フォームおよびバーコード
      - 規定
      - IPDS
- プリンタハードディスク
- Lexmark™ 内蔵ソリューションポート（ISP）
  - 標準 10/100/1000 Ethernet
  - MarkNet™ N8350 802.11 b/g/n ワイヤレスプリントサーバー
  - MarkNet N8352 802.11 b/g/n ワイヤレスプリントサーバー

コントローラボードにアクセスする

メモ: プリンタ正面下部のドア内にあるドライバを使用します。

危険！感電の恐れあり: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

1 コネクタカバーを取り外します。

2 コントローラボードのアクセスカバーのネジを外します。

3 アクセスカバーを取り外します。

4 以下の図を参照し、コネクタの正しい位置を確認します。

警告！破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。

1	オプションカードコネクタ
2	メモリカードコネクタ
3	内蔵ソリューションポートまたはプリンタハードディスクコネクタ

5 アクセスカバーの底部をプリンタに合わせます。

6 アクセスカバーを再度取り付けます。

7 アクセスカバーのネジを締めます。

8 コネクタカバーを再度取り付けます。

メモリカードを取り付ける

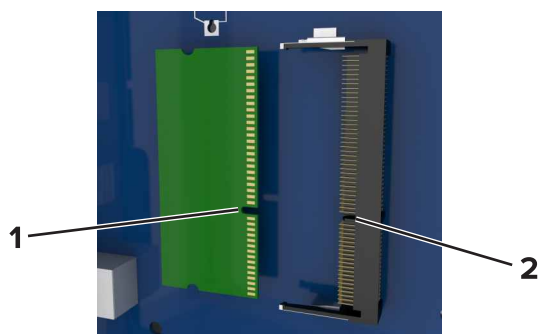
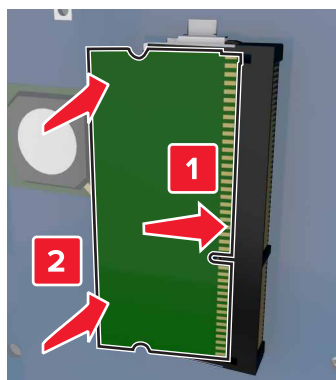
危険！感電の恐れあり: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

1 コントローラボードにアクセスします。

詳細については、21 ページの「コントローラボードにアクセスする」を参照してください。

2 メモリカードを開梱します。

警告！破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。損傷の原因となる可能性があります。

3 メモリカードの切り欠き部分 (1) をコネクタの突起 (2) に合わせます。

4 メモリカードをコネクタに真っすぐ押し入れ、所定の場所でカチッと音がするまで、コントローラボード壁の方に押します。

オプションカードを取り付ける

危険！感電の恐れあり: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

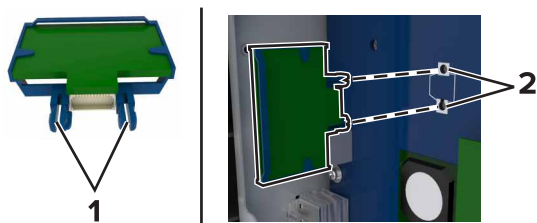
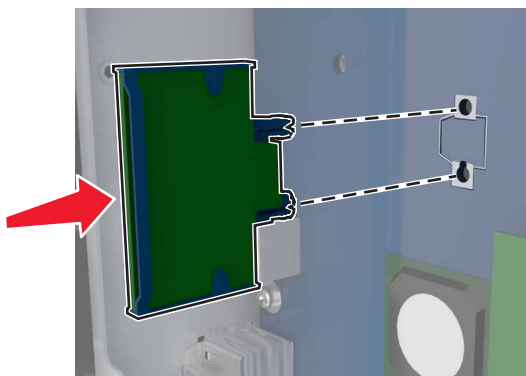
警告！破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。

1 コントローラボードにアクセスします。

詳細については、21 ページの「コントローラボードにアクセスする」を参照してください。

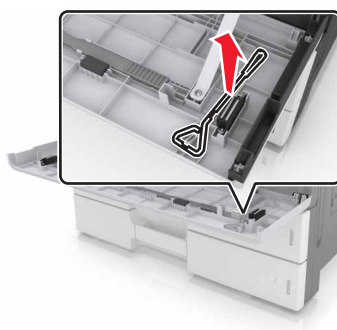
2 オプションカードを梱包から取り出します。

警告！破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。損傷の原因となる可能性があります。

3 カードの側面を持ち、カードのプラスチックピン (1)をコントローラボードの穴 (2)に合わせます。

4 カードを所定の位置にしっかりと押し入れます。

警告！破損の恐れあり: カードを正しく挿入しないと、カードやコントローラボードを破損する恐れがあります。

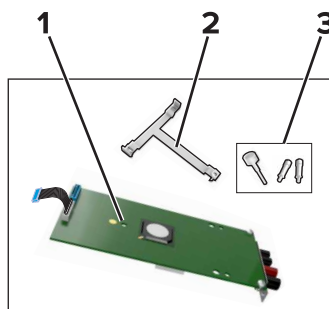
メモ: カードのコネクタ全体がコントローラボードに触れ、水平になっている必要があります。

内蔵ソリューションポートを取り付ける

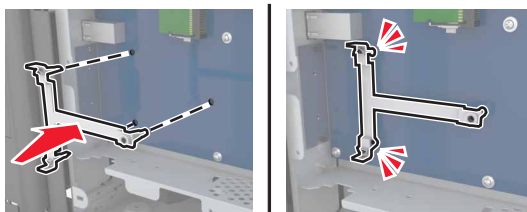
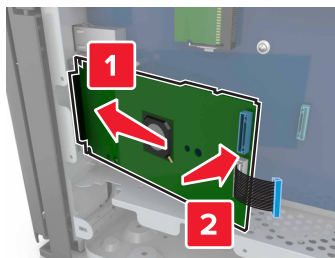
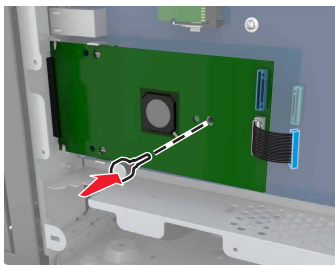
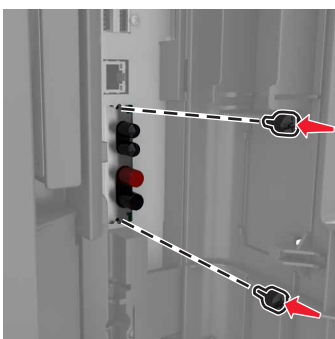
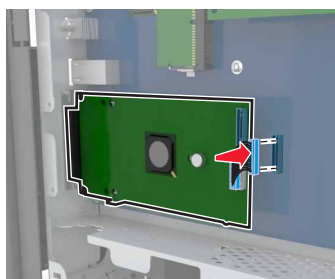
メモ: プリンタ正面下部のドア内にあるドライバを使用します。

システムボードは、オプションの Lexmark 内蔵ソリューションポート（ISP）を 1 つサポートしています。ISP を取り付けると、接続オプションが追加されます。

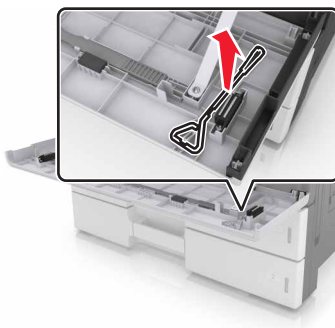
危険！感電の恐れあり: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

警告！破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。

1 ISP キットを開梱します。

1	ISP
2	プラスチック製取り付けブラケット
3	つまみネジ

2 コントローラボードにアクセスします。詳細については、21 ページの「コントローラボードにアクセスする」を参照してください。

3 プラスチック製取り付けブラケットの接合部とコントローラボードケージの穴に合わせて、カチッと音がするまでブラケットをケージに押し込みます。

4 ISP をブラケットに取り付けます。

5 つまみネジを使用して、ブラケットを ISP に取り付けます。

6 ネジを使用して、ISP 取り付けブラケットをコントローラボードケージに固定します。

7 ISP インターフェイスケーブルのプラグをコントローラボードのコネクタに差し込みます。

プリンタハードディスクを取り付ける

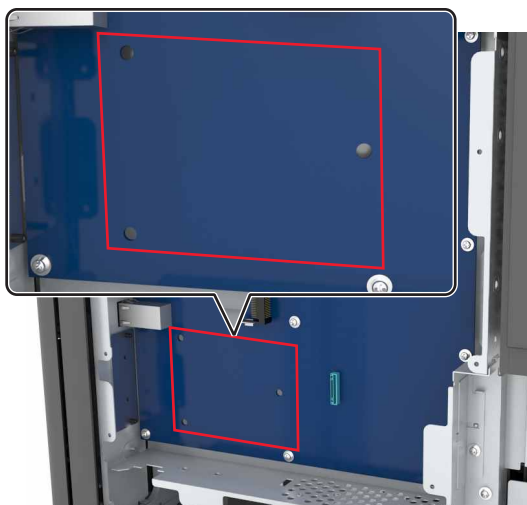
メモ: プリンタ正面下部のドア内にあるドライバを使用します。

危険!感電の恐れあり: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

警告!破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。

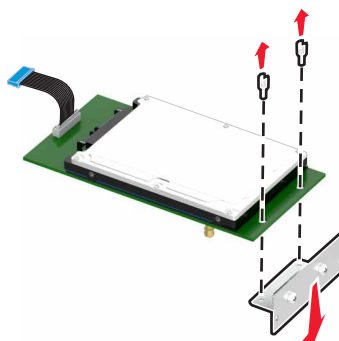
1 コントローラボードにアクセスします。

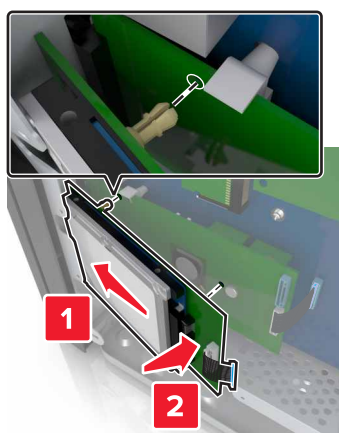
 詳細については、21 ページの「コントローラボードにアクセスする」を参照してください。

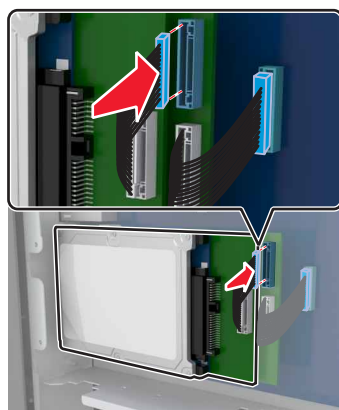
2 ハードディスクを開梱します。

3 コントローラボードケージで該当するコネクタを見つけます。

メモ: オプション ISP が取り付けられている場合は、ハードディスクを ISP に取り付ける必要があります。

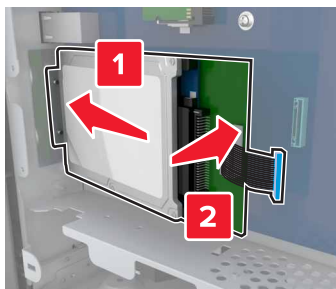
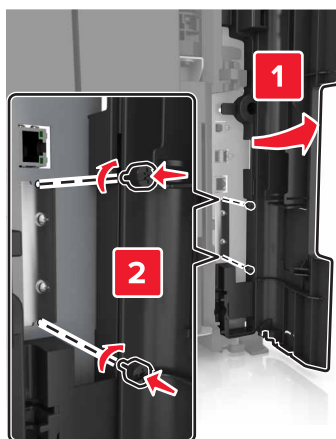
ISP にハードディスクを取り付けるには、次の手順に従います。

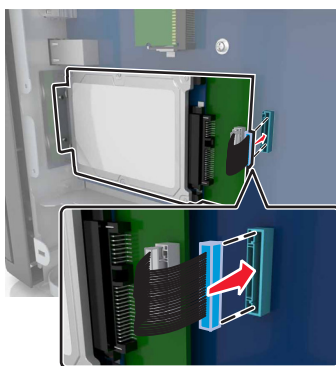
a ブラケットを取り付けているハードディスクのネジを外し、ブラケットを外します。

b ハードディスクの絶縁体を ISP の穴に合わせ、絶縁体がはまるまで、ハードディスクを下に押します。

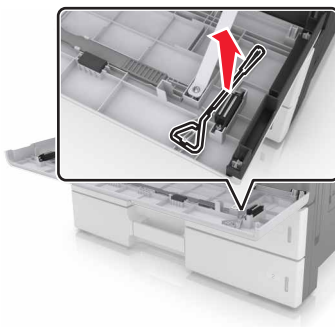
取り付けに関する警告: ハードディスクをその両端で保持します。ハードディスクの中央を触ったり押したりすると、損傷する可能性があります。

c ハードディスクのインターフェイスケーブルを ISP ボードのソケットに差し込みます。

メモ: プラグとレセプタクルは色分けされています。

ハードディスクをコントローラボードケージに取り付けるには、次の手順に従います。

a ハードディスクの絶縁体をコントローラボードケージの穴に合わせ、絶縁体がはまるまで、ハードディスクを下に押します。

取り付けに関する警告: ハードディスクをその両端で保持します。ハードディスクの中央を触ったり押したりすると、損傷する可能性があります。

b 2 つの同梱のネジを使用し、ブラケットを取り付けているプリンタハードディスクを取り付けます。

c ハードディスクインターフェイスケーブルのプラグを、コントローラボードのレセプタクルに挿入します。

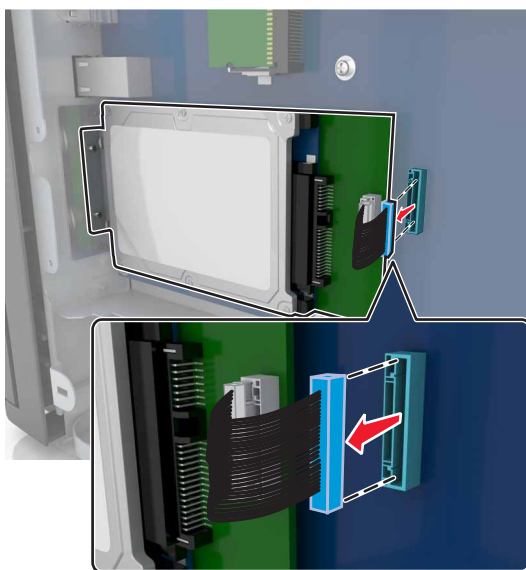
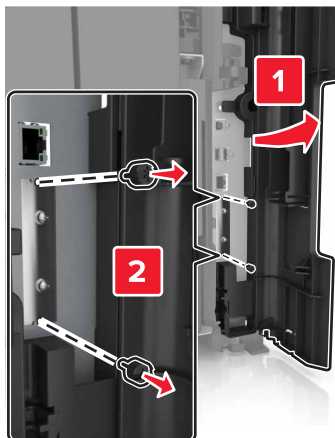
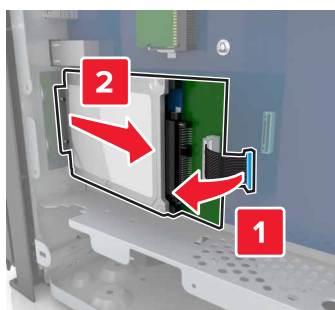
メモ: プラグとレセプタクルは色分けされています。

プリンタハードディスクを取り外す

メモ: プリンタ正面下部のドア内にあるドライバを使用します。

危険！感電の恐れあり: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

警告！破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。

1 コントローラボードにアクセスします。

   詳細については、21 ページの「コントローラボードにアクセスする」を参照してください。

2 ハードディスクインターフェイスケーブルをコントローラボードから抜きます。このケーブルはハードディスクに接続したままにします。ケーブルを抜くには、ケーブルを引っ張る前に、インターフェイスケーブルのプラグのパドルをつまみ、ラッチを外します。

3 ハードディスクを所定の位置に固定しているネジを取り外します。

4 ハードディスクを取り外します。

ハードウェアオプションを取り付ける

取り付け順序

危険！ケガの恐れあり: プリンタの重量は 18 kg（40 ポンド）以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

危険！転倒の恐れあり: 本製品を床に設置する場合は、安定させるために追加の備品が必要です。複数の入力オプションを使用している場合は、プリンタスタンドまたはプリンタベースを使用する必要があります。同様の構成でプリンタを購入した場合は、追加の設備が必要になることがあります。詳細については、**www.lexmark.com/multifunctionprinters** を参照してください。

危険！感電の恐れあり: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

購入したプリンタとオプションは、以下の手順で取り付けてください。

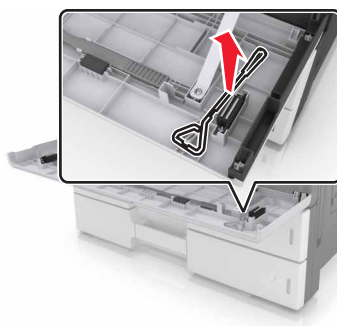
- オプションの 2 x 500 枚または 2500 枚トレイ
- プリンタ

- ステープルフィニッシャー
- ステープル、ホールパンチフィニッシャー、ブックレットフィニッシャー
- オプションの 3000 枚トレイ

メモ: 別のフィニッシャーが設置されている場合、ステープルフィニッシャーはサポートされません。フィニッシャーおよびオプショントレイの取り付けの詳細については、各オプションに付属の説明書類を参照してください。

オプショントレイを取り付ける

メモ:

- 3000 枚トレイの取り付けの詳細については、オプションに付属の説明書類を参照してください。
- プリンタ正面下部のドア内にあるドライバを使用します。

危険！ケガの恐れあり: プリンタの重量は 18 kg（40 ポンド）以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

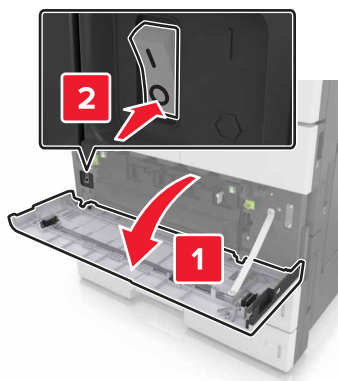
危険！感電の恐れあり: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

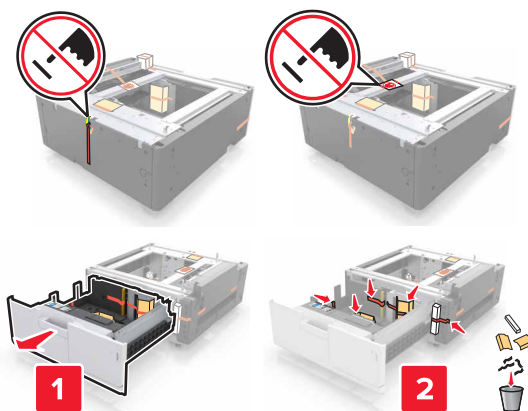
危険！転倒の恐れあり: 本製品を床に設置する場合は、安定させるために追加の備品が必要です。複数の入力オプションを使用している場合は、プリンタスタンドまたはプリンタベースを使用する必要があります。同様の構成でプリンタを購入した場合は、追加の設備が必要になることがあります。詳細については、**www.lexmark.com/multifunctionprinters** を参照してください。

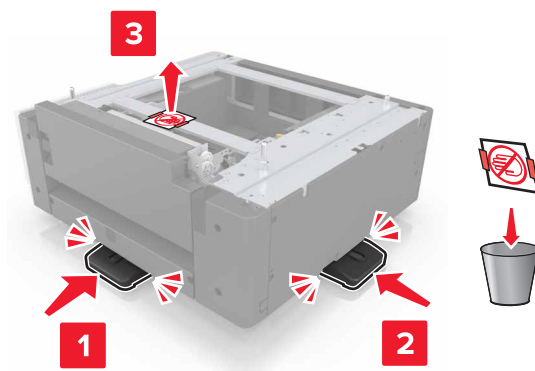
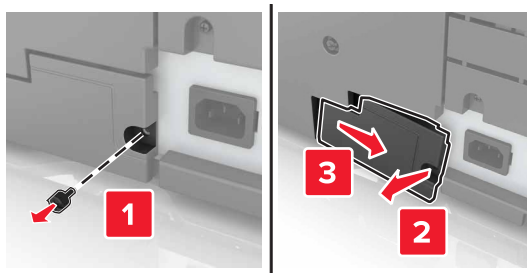
オプショントレイには、次のアクセサリが付属しています。

アクセサリ名	数量
固定用の脚 	2

アクセサリ名	数量
ロッキングクリップ	3
金属のブラケット	1
ネジ	5

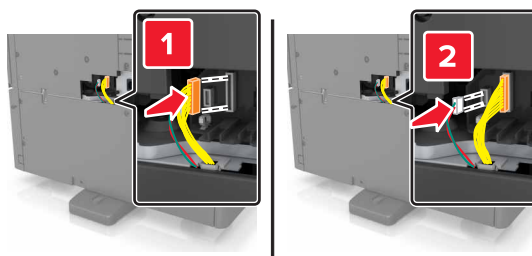
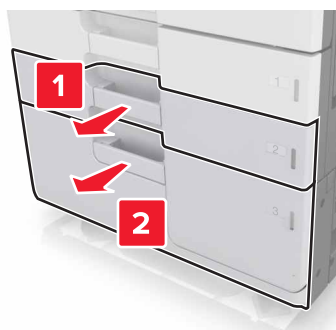
1 プリンタの電源を切ります。

2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。

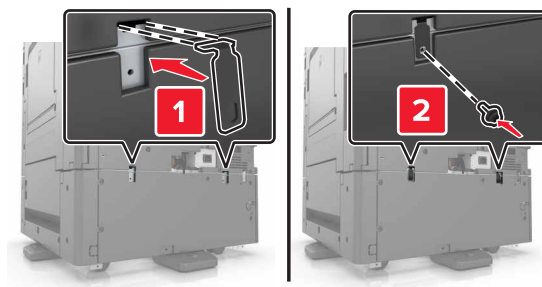
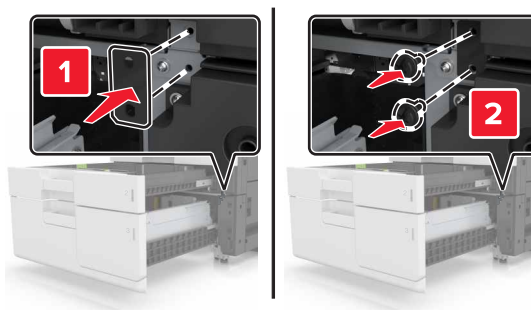
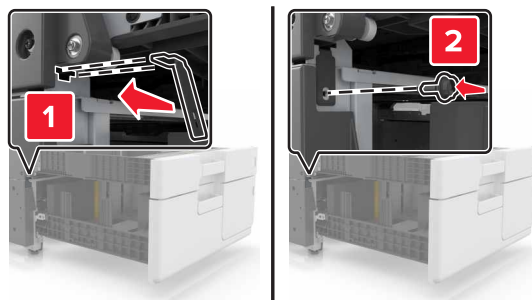
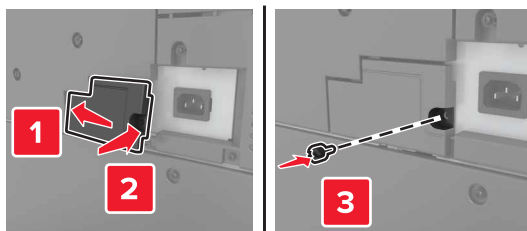
3 オプショントレイを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。

4 固定用の脚をオプショントレイに取り付けます。

メモ: カチッという音がするまで脚を押し込みます。

5 プリンタからコネクタカバーを取り外します。

6 側面のハンドルでプリンタを持ち上げます。

⚠ **危険！ケガの恐れあり**: プリンタの重量は 18 kg（40 ポンド）以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

7 プリンタをトレイに合わせ、プリンタを下げます。

8 コネクタからテープを取り外して、コネクタをプリンタのソケットに差し込みます。

9 トレイ 2 およびトレイ 3 を開きます。

10 ロッキングクリップと金属のブラケットを使用して、トレイをプリンタに固定します。

- 裏

- 正面

11 コネクタのカバーを取り付けなおします。

12 電源コードをプリンタとコンセントに接続します。

13 プリンタの電源を入れます。

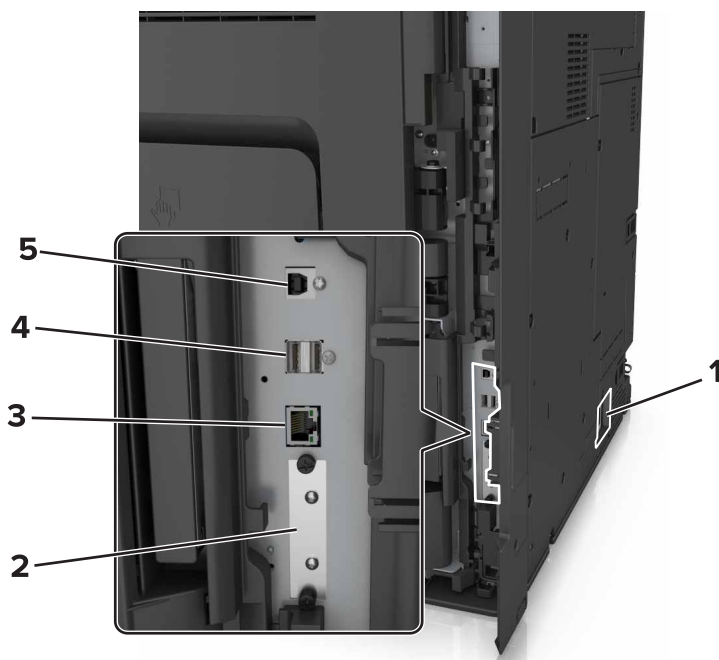
14 オプショントレイを認識するように、プリンタソフトウェアを設定します。詳細については、40 ページの「プリンタドライバの使用可能なオプションを追加する」を参照してください。

ケーブルを接続する

危険!ケガの恐れあり: 雷雨時には、本製品のセットアップや、電源コード、FAX、USB ケーブルなど、電気的な接続を行わないでください。

USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続するか、イーサネットケーブルを使用してネットワークに接続します。

以下のものが一致していることを確認します。

- ケーブルの USB マークとプリンタの USB マーク
- 該当するイーサネットケーブルとイーサネットポート

	項目	目的
1	プリンタの電源コードソケット	プリンタを正しく接地されたコンセントに接続します。
2	内蔵ソリューションポート(ISP)またはプリンタハードディスクスロット **メモ**: プリンタがワイヤレス接続をサポートしている場合は、ここにワイヤレスアンテナを取り付けます。	ISP またはプリンタハードディスクを取り付けます。
3	イーサネットポート	プリンタをネットワークに接続します。
4	USB ポート	キーボードを取り付けます。
5	USB プリンタポート	プリンタをコンピュータに接続します。

警告!破損の恐れあり: 印刷の実行中には、USB ケーブル、ワイヤレスネットワークアダプタ、または以下のエリアのプリンタに触れないでください。データの損失や誤動作が発生する可能性があります。

プリンタソフトウェアをセットアップする

プリンタを取り付ける

1 ソフトウェアのインストーラパッケージを入手します。

2 インストーラを実行して、コンピュータ画面の手順に従います。

3 Macintosh ユーザーの場合は、プリンタを追加します。

メモ：［ネットワーク/ポート］メニューの［TCP/IP］セクションからプリンタの IP アドレスを取得します。

プリンタドライバの使用可能なオプションを追加する

Windows の場合

1 プリンタフォルダを開きます。

Windows 8 の場合

検索チャームから、`run` と入力して、次の手順を実行します。

［**実行**］> `control printers` と入力 >［**OK**］

Windows 7 以前の場合

a をクリックするか、［**スタート**］をクリックして、［**実行**］をクリックします。

b `control printers` と入力します。

c **Enter** を押すか、［**OK**］をクリックします。

2 更新するプリンタを選択して、次のいずれかを実行します。

- Windows 7 以降の場合は、［**プリンタのプロパティ**］を選択します。
- それ以前のバージョンの場合は、［**プロパティ**］を選択します。

3 ［設定］タブに移動して、［**今すぐ更新 - プリンタに照会**］を選択します。

4 変更を適用します。

Macintosh の場合

1 アップルメニューの［システム環境設定］からお使いのプリンタに移動して、［**オプションとサプライ**］を選択します。

2 ハードウェアオプションの一覧に移動して、設置済みのオプションを追加します。

3 変更を適用します。

ネットワーク

メモ:

- プリンタをワイヤレスネットワーク上にセットアップする前に、MarkNet N8350 ワイヤレスネットワークアダプタを購入してください。ワイヤレスネットワークアダプタのインストールについては、アダプタに同梱されている手順シートを参照してください。
- SSID（Service Set Identifier）は、ワイヤレスネットワークに割り当てられた名前です。WEP (Wired Equivalent Privacy)、WPA (Wi-Fi Protected Access)、WPA2、802.1X-RADIUS は、ネットワーク上で使用されるセキュリティの種類です。

プリンタをイーサネットネットワーク上にセットアップする準備をする

イーサネットネットワーク接続用にプリンタを設定するには、開始前に以下の情報をまとめておいてください。

メモ: コンピュータとプリンタの IP アドレスが自動で割り当てられる場合は、プリンタのインストールを続けてください。

- プリンタがネットワークで使用する有効で固有の IP アドレス
- ネットワークゲートウェイ
- ネットワークマスク
- プリンタのニックネーム（任意）

  メモ: プリンタのニックネームを使うと、ネットワーク上でお使いのプリンタを特定するのが簡単になります。プリンタのニックネームには、既定のものを選択することも、覚えやすい名前を指定することもできます。

プリンタをネットワークへ接続するためのイーサネットケーブルと、実際にネットワークへ接続することができる利用可能なポートが必要です。損傷したケーブルにより発生する問題を防ぐために、なるべく新しいネットワークケーブルを使用してください。

ワイヤレスネットワークでプリンタを設定する準備をする

メモ:

- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールされ、正しく動作していることを確認します。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。
- アクセスポイント（ワイヤレスルーター）がオンで、正しく動作していることを確認します。

ワイヤレスネットワークでプリンタを設定する前に、次の情報があることを確認します。

- **SSID**—SSID は、ネットワーク名とも呼ばれます。
- **ワイヤレスモード（ネットワークモード）**—インフラモードまたはアドホックモードのどちらかです。
- **チャンネル（アドホックネットワークの場合）**—インフラネットワークの標準設定では、チャンネルは自動に設定されます。

  一部のアドホックネットワークでも、自動に設定する必要があります。どちらのチャンネルを選択すればよいのか分からない場合は、システムサポート担当者に問い合わせてください。

- **セキュリティ方式**—セキュリティ方式として、以下の 4 つの基本オプションが用意されています。
  - WEP キー

    ネットワークで複数の WEP キーを使用している場合、用意されているスペースに 4 つまで入力できます。既定の WEP 送信キーを選択して、現在ネットワークで使用しているキーを選択します。
  - WPA または WPA2 事前共有キーまたはパスフレーズ

    WPA では、暗号化によるセキュリティの層が追加されています。暗号化の種類としては、AES または TKIP を選択できます。ルーターとプリンタで、同じ種類の暗号化を設定する必要があります。暗号化の種類が異なる場合、プリンタはネットワークと通信できなくなります。
  - 802.1X–RADIUS

    802.1X ネットワークにプリンタを接続する場合、以下の情報が必要になることがあります。
    - 認証の種類
    - 内部認証の種類
    - 802.1X ユーザー名とパスワード
    - 証明書
  - セキュリティなし

    ワイヤレスネットワークでセキュリティを全く使用していない場合、セキュリティ情報も存在しません。

    メモ: セキュリティ保護のないワイヤレスネットワークを使用することは推奨しません。

メモ:

- コンピュータの接続先であるネットワークの SSID が不明な場合は、コンピュータネットワークアダプタのワイヤレスユーティリティを起動して、ネットワーク名を確認します。ネットワークの SSID やセキュリティ情報を確認できない場合は、アクセスポイントに付属のマニュアルを参照するか、システムサポート担当者に問い合わせてください。
- ワイヤレスネットワークの WPA/WPA2 事前共有キーまたはパスフレーズを確認するには、アクセスポイントに付属のマニュアルを参照するか、アクセスポイントと関連付けられている内蔵 WEB サーバー(EWS)を参照するか、システムサポート担当者に問い合わせてください。

ワイヤレスセットアップウィザードを使用してプリンタを接続する

開始する前に、次の点を確認してください。

- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールされ、正しく動作していること。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。
- イーサネットケーブルがプリンタから切断されていること。
- ［アクティブ NIC］を［自動］に設定します。［自動］に設定するには、次の手順を実行します。

   > ［**ネットワーク/ポート**］ > ［**アクティブ NIC**］ > ［**自動**］ > ［**送信**］

メモ: プリンタの電源を切り、5 秒間以上待機してから、プリンタの電源を入れます。

1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。

  > ［**ネットワーク/ポート**］ > **［ネットワーク [x]]** > ［**ネットワーク 設定 [x]]** > ［**ワイヤレス**］ > ［**ワイヤレス接続設定**］

2 ワイヤレス接続設定を選択します。

使用	目的
ネットワークを検索	使用可能なワイヤレス接続を表示します。 **メモ**：このメニュー項目には、すべての保護されているか、保護されていないブロードキャスト SSID が表示されます。
ネットワーク名を入力	手動で SSID を入力します。 **メモ**：正しい SSID を入力していることを確認します。
Wi‑Fi Protected Setup	Wi‑Fi Protected Setup（WPS）を使用して、プリンタをワイヤレスネットワークに接続します。

3 プリンタディスプレイの指示に従います。

Wi‑Fi Protected Setup（WPS）を使用して、プリンタをワイヤレスネットワークに接続する

開始する前に、次の点を確認してください。

- アクセスポイント（ワイヤレスルーター）が Wi‑Fi Protected Setup (WPS) 認証済みまたは WPS 対応であること。詳細については、アクセスポイントに同梱されているマニュアルを参照してください。
- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールおよび接続され、正しく動作していること。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。

プッシュボタン構成方法を使用する

1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。

> ［**ネットワーク/ポート**］ > **[ネットワーク[x]]** > ［**ネットワーク設定[x]]** > ［**ワイヤレス**］ > ［**ワイヤレス接続設定**］ > ［**WPS (Wi‑Fi Protected Setup)**］ > ［**プッシュボタン方式を開始**］

2 プリンタディスプレイの指示に従います。

個人 ID 番号方式(PIN) を使用する

1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。

> ［**ネットワーク/ポート**］ > **[ネットワーク[x]]** > ［**ネットワーク設定[x]]** > ［**ワイヤレス**］ > ［**ワイヤレス接続設定**］ > ［**WPS (Wi‑Fi Protected Setup)**］ > ［**暗証番号方式を開始**］

2 8 桁の WPS PIN をコピーします。

3 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにアクセスポイントの IP アドレスを入力します。

メモ：

- IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

4 WPS 設定にアクセスします。詳細については、アクセスポイントに同梱されているマニュアルを参照してください。

5 8 桁の PIN を入力し、設定を保存します。

内蔵 Web サーバーを使用して、プリンタをワイヤレスネットワークに接続する

開始する前に、次の点を確認してください。

- プリンタが一時的にイーサネットネットワークに接続されていること。
- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールされ、正しく動作していること。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

   メモ:

   - プリンタコントロールパネルでプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
   - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [**設定**] >[**ネットワーク/ポート**] >[**ワイヤレス**]の順にクリックします。

3 設定を修正し、アクセスポイント(ワイヤレスルーター)の設定に合わせます。

   メモ: 必ず正しい SSID、セキュリティ方式、事前共有キーまたはパスフレーズ、ネットワークモード、およびチャンネルを入力します。

4 [**送信**]をクリックします。

5 プリンタの電源を切り、イーサネットケーブルを切断します。次に、5 秒以上待機し、プリンタの電源を入れます。

6 プリンタがネットワークに接続しているかどうかを確認するために、ネットワーク設定ページを印刷します。次に、[ネットワークカード [x]]セクションで、状況が[接続済み]かどうかを確認します。

新しいネットワーク内蔵ソリューションポート(ISP)のインストール後にポート設定を変更する

メモ:

- 静的な IP アドレスがプリンタに割り当てられている場合は、設定に変更を加える必要はありません。
- IP アドレスの代わりにネットワーク名を使用するようにコンピュータが設定されている場合は、設定に変更を加える必要はありません。
- 以前はイーサネット接続用に設定されていたプリンタにワイヤレス ISP を追加する場合、プリンタが有線ネットワークに接続されていないことを確認してください。

Windows の場合

1 プリンタフォルダを開きます。

2 新しい ISP を追加したプリンタのショートカットメニューから、プリンタのプロパティを開きます。

3 リストからポートを設定します。

4 IP アドレスを更新します。

5 変更を適用します。

Macintosh の場合

1 アップルメニューの「システム環境設定」から、プリンタの一覧に移動して、「**+** >**IP**」の順に選択します。

2 アドレスフィールドに IP アドレスを入力します。

3 変更を適用します。

シリアル印刷を設定する（Windows のみ）

シリアルまたは通信（COM）ポートを取り付けたら、プリンタとコンピュータを構成します。

メモ: シリアル印刷では印刷速度が遅くなります。

1 プリンタでパラメータを設定します。

a 操作パネルから、ポート設定のメニューーを選択します。

b シリアルポート設定のメニューーを選択し、必要に応じて、設定を調整します。

c 設定を保存します。

2 コンピュータでプリンタフォルダを開き、プリンタを選択します。

3 プリンタのプロパティを開き、一覧から COM ポートを選択します。

4 デバイスマネージャーで COM ポートのパラメータを設定します。

［ファイル名を指定して実行］ダイアログボックスを使用してコマンドプロンプトを開き、「**devmgmt.msc**」と入力します。

プリンタ設定を確認する

すべてのハードウェアおよびソフトウェアオプションが実装され、プリンタの電源を入れたら、次を印刷してプリンタが正しく設定されていることを確認します。

- **メニュー設定ページ**–このページを使用して、すべてのプリンタオプションが正しく実装されていることを確認します。設置済みオプションの一覧が、ページ下部の方に表示されます。設置したオプションが一覧にない場合は、正しく設置されていません。オプションを取り外し、再度設置してください。
- **ネットワーク設定ページ**–プリンタにイーサネットまたはワイヤレス機能があり、ネットワークに接続している場合は、ネットワーク設定ページを印刷して、ネットワーク接続を確認します。このページには、ネットワーク印刷構成を支援する重要な情報もあります。

メニュー設定ページを印刷する

ホーム画面から、次のメニューーを選択します。

> ［**レポート**］ > ［**メニュー設定ページ**］

ネットワーク設定ページを印刷する

プリンタがネットワークに接続されている場合、ネットワーク接続を確認するためにネットワーク設定ページを印刷します。このページには、ネットワーク印刷の設定に役立つ重要情報も記載されています。

1 ホーム画面から、次の順に選択します。

> [**レポート**] > [**ネットワーク設定ページ**]

2 ネットワーク設定ページの最初のセクションで、プリンタの状態が「**接続**」になっていることを確認します。

状態が「**未接続**」の場合は、LAN ドロップがアクティブでないか、ネットワークケーブルが正しく動作していない可能性があります。解決方法をシステムサポート担当者に問い合せ、もう一度ネットワーク設定ページを印刷してください。

用紙と特殊用紙をセットする

用紙と特殊用紙の選択および取り扱いは、ドキュメント印刷の信頼性に影響する場合があります。詳細については、157 ページの「紙づまりを防ぐ」および58 ページの「用紙の保管」を参照してください。

用紙サイズとタイプを設定する

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 >［**用紙メニュー**］ >［**用紙サイズ/タイプ**］ >トレイ を選択 > 用紙のサイズまたはタイプを選択 >

ユニバーサル用紙設定を構成する

ユニバーサル用紙サイズ設定はユーザー定義設定であり、プリンタメニューで事前設定されていない用紙サイズに印刷できます。

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

>［**用紙メニュー**］ >［**ユニバーサル設定**］

2 測定単位を選択し、縦方向の幅と高さを設定します。

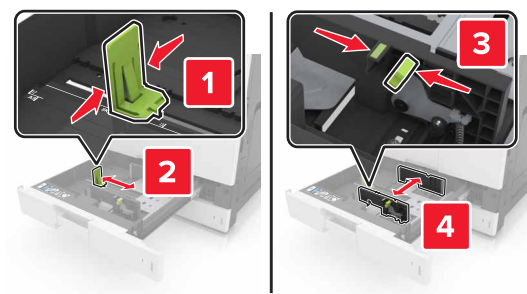
3 変更を適用します。

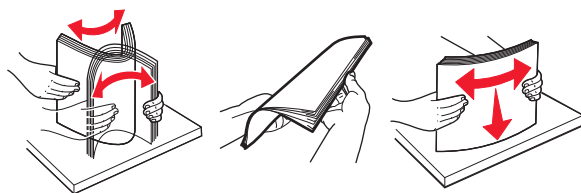
用紙をトレイにセットする

危険！ケガの恐れあり: 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

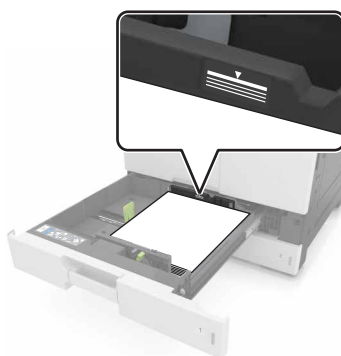
1 トレイを引き出します。

メモ: ジョブの印刷中や、プリンタディスプレイに［**ビジー**］が表示されている間は、トレイを取り外さないでください。紙づまりの原因となる可能性があります。

2 セットする用紙のサイズに合った正しい位置まで、用紙ガイドを握ってスライドさせます。

メモ: トレイの下部にあるインジケータで、ガイドの位置合わせをします。

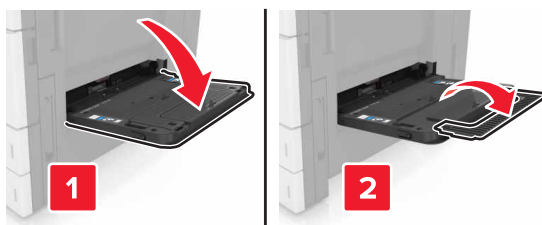
3 用紙を前後に曲げてほぐし、さばきます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端をそろえます。

4 印刷面を上にして、用紙の束をセットします。

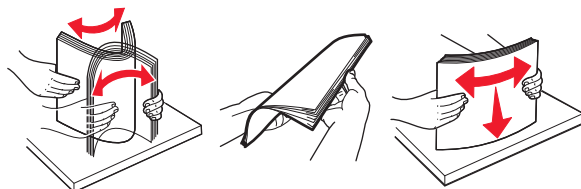
メモ:

- 両面印刷する場合は印刷面を下にしてセットします。
- 穴開き用紙の場合は、穴がトレイの前または左側に来るように用紙をセットします。
- レターヘッドをセットする場合は、ヘッダーをトレイの左側に置きます。
- 用紙が、用紙トレイの端にある高さ制限ラインを超えないようにしてください。用紙の枚数が多すぎると、紙づまりを起こすことがあります。

5 トレイを挿入します。

6 操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙のサイズと種類を設定します。

多目的フィーダーに用紙をセットする

1 多目的フィーダーを開きます。

2 セットする用紙のサイズに合わせてガイドを調整します。

3 用紙の束を前後に曲げてほぐし、さばきます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端をそろえます。

4 用紙をセットします。

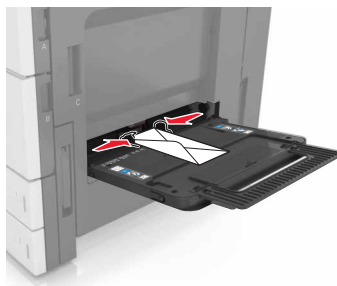
- 1 つのサイズとタイプの用紙のみをセットしてください。

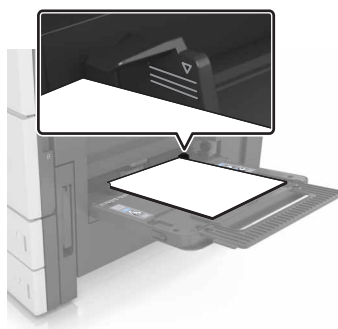
レターヘッド紙をセットする

オプションのフィニッシャーがない場合	オプションのフィニッシャーがある場合
片面印刷 **メモ**: 横綴じの場合、レターヘッド紙の表面を下向きにし、フィーダーの左側にヘッダーを合わせてセットします。	片面印刷 **メモ**: 横綴じの場合、レターヘッド紙の表面を下向きにし、フィーダーの右側にヘッダーを合わせてセットします。
両面印刷 **メモ**: 横綴じの場合、レターヘッド紙の表面を上向きにし、フィーダーの右側にヘッダーを合わせてセットします。	両面印刷 **メモ**: 横綴じの場合、レターヘッド紙の表面を上向きにし、フィーダーの左側にヘッダーを合わせてセットします。

穴あき用紙のセット

片面印刷	両面印刷

- 封筒は、垂れ蓋の面を上にしてセットします。

警告！破損の恐れあり: 切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は絶対に使用しないでください。このような封筒を使用すると、プリンタに深刻な損傷が生じる可能性があります。

- 用紙が高さ制限ラインを超えないようにしてください。用紙の枚数が多すぎると、紙づまりを起こすことがあります。

5 操作パネルの[用紙メニュー]で、フィーダーにセットした用紙に応じた用紙のサイズと種類を設定します。

トレイのリンクおよびリンクを解除する

用紙のサイズとタイプが同じ場合、プリンタはトレイをリンクします。リンクされているトレイが空のときは、リンクされている次のトレイから給紙されます。トレイのリンクを無効にするには、一意のカスタム用紙タイプ名を割り当てます。

トレイのリンクおよびリンクを解除する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [**設定**] > [**用紙メニュー**]の順にクリックします。

3 リンクしているトレイの用紙サイズとタイプの設定を変更します。
   - トレイをリンクするには、トレイの用紙サイズとタイプが必ずその他のトレイと一致しなければなりません。
   - トレイのリンクを解除するには、トレイの用紙サイズとタイプがその他のトレイと一致していてはなりません。

4 [**送信**]をクリックします。

メモ: また、プリンタコントロールパネルでも、用紙サイズとトレイの設定を変更できます。詳細については、47 ページの「用紙サイズとタイプを設定する」 を参照してください。

警告!破損の恐れあり: トレイにセットされた用紙は、プリンタに割り当てられた用紙タイプと一致する必要があります。フューザーの温度は、指定した用紙タイプによって異なります。設定が正しくない場合は、印刷の問題が発生する可能性があります。

用紙タイプのカスタム名を作成する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

   >[**用紙メニュー**] >[**カスタム名**]

2 カスタム用紙タイプ名を入力し、変更を適用します。

3 [**カスタムタイプ**]をタッチし、新しいカスタム用紙タイプ名がカスタム名になっているかどうか確認します。

カスタム用紙タイプを割り当てる

内蔵 Web サーバーを使用する

トレイのリンク時またはリンク解除時に、カスタム用紙タイプ名を割り当てます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

   メモ:

   - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
   - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [**設定**] > [**用紙メニュー**] > [**カスタム紙種**]の順にクリックします。

3 カスタム用紙タイプ名を選択し、用紙タイプを選択します。

   メモ: すべてのカスタム名で、用紙は工場出荷時のデフォルト用紙タイプです。

4 [**送信**]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

   > [**用紙メニュー**] > [**カスタム紙種**]

2 カスタム用紙タイプ名を選択し、用紙タイプを選択します。

   メモ: すべてのカスタム名で、用紙は工場出荷時のデフォルト用紙タイプです。

3 をタッチします。

用紙および特殊用紙ガイド

メモ:

- コンピュータまたは操作パネルで、用紙のサイズ、タイプ、および重量が適切に設定されていることを確認します。
- 特殊用紙をほぐしてさばき、そろえてからセットする。
- フューザーの損傷を防止するために、低速で印刷する場合があります。
- 厚紙およびラベルの詳細については、Lexmark の Web サイト(http://support.lexmark.com)で公開されている『Card Stock & Label Guide』を確認してください。**http://support.lexmark.com** を参照してください。

特殊用紙を使用する

厚紙を使用する場合のヒント

厚紙は、重みのある 1 層の特殊用紙です。含水率、厚さ、テクスチャなど、さまざまな特性は、印刷品質に大きな影響を与えることがあります。

- プリンタコントロールパネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットされた厚紙と合うように、用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定します。
- 使用する予定の厚紙を大量に購入する前に、その厚紙にサンプルを印刷してください。
- トレイ設定の用紙の粗さおよび重さがトレイにセットされた用紙と一致するように指定します。
- プレプリント、ミシン目、折り目は、印刷品質に大きな影響を与えることがあり、紙づまりやその他用紙の取り扱いに伴う問題を引き起こす可能性があることに注意してください。
- 厚紙をトレイにセットする前に、厚紙をほぐし、さばき、くっつかないようにします。平らな面で端をそろえます。

封筒を使用する場合のヒント

- プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定し、トレイにセットされた封筒に一致させます。
- 使用する予定の封筒を大量に購入する前に、その封筒にサンプルを印刷してください。
- レーザープリンタ用に特別に設計された封筒を使用してください。
- 最適なパフォーマンスを得るには、90-g/m^2(24 ポンド)の用紙製またはコットン含有率が 25% の封筒を使用します。
- 包装が破損していない新品の封筒に限定して使用します。
- 最適なパフォーマンスを発揮し、紙づまりを最小限に抑えるため、以下のような封筒は使用しないでください。
  - カールやねじれが大きい封筒。
  - 封筒同士が貼り付いているものや、何らかの傷がある封筒。
  - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスなどがある封筒。
  - 金属製の留め具、ひも、折れ筋などがある封筒。
  - かみ合わせのデザインがある封筒。
  - 切手が貼付されている封筒。
  - 垂れ蓋に封をしたときや、閉じたときに、接着剤がはみ出る封筒。

- – 角が折れ曲がった封筒。
- – きめの粗い封筒、しわのある封筒、または簀の目仕上げの封筒。
- 幅ガイドを調整して、封筒の幅に合わせる。
- 封筒をトレイにセットする前に、封筒の束を前後に曲げてほぐし、さばきます。平らな面で端をそろえます。

メモ: 環境の湿度が高く(60% 超)、印刷温度が高温になると、封筒にしわが寄ったり、圧着したりすることがあります。

ラベルを使用する場合のヒント

- プリンタ操作パネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定し、トレイにセットされたラベルに一致させます。
- 使用する予定のラベルを大量に購入する前に、そのラベルにサンプルを印刷してください。
- ラベルの印刷、特性、デザインの詳細については、Web サイト(**http://support.lexmark.com**)で『Card Stock & Label Guide』を参照してください。
- レーザープリンタ用に特別に設計されたラベルを使用してください。
- 裏面がつやのある素材でできているラベルは使用しないでください。
- 接着剤が露出しているラベルは使用しないでください。
- ラベル用紙全体を使用してください。用紙の一部だけを使用すると、印刷時にラベルがはがれ、紙づまりが発生することがあります。用紙の一部だけを使用すると、接着剤でプリンタやカートリッジが汚れて、プリンタやトナーカートリッジの保証対象外となることがあります。
- ラベル用紙をトレイにセットする前に、ラベル用紙をほぐし、さばき、くっつかないようにします。平らな面で端をそろえます。

レターヘッド紙を使用する場合のヒント

- レーザープリンタ用の特別なレターヘッド紙を使用してください。
- 大量の用紙を購入する前に、サンプルを印刷してみてください。
- レターヘッド紙をセットする前に、用紙をほぐし、さばきます。
- レターヘッド紙に印刷する際は、用紙の向きを書き留めます。

給紙源	印刷	レターヘッド紙の面	用紙の向き
トレイ	片面印刷	上向き	用紙の上端をトレイの後方に向かってセットします。
	両面印刷	下向き	用紙の上端をトレイの正面に向かってセットします。
多目的フィーダー	片面印刷	下向き	用紙の上端を左側に合わせてセットします。
	両面印刷	上向き	用紙の上端を右側に合わせてセットします。

OHP フィルムを使用する場合のヒント

- プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定し、トレイにセットされた OHP フィルムに一致させます。
- 使用する予定の OHP フィルムを大量に購入する前に、その OHP フィルムにテストページを印刷してください。
- レーザープリンタ用に特別に設計された OHP フィルムを使用してください。
- 印刷品質の問題を防ぐために、OHP フィルムに指紋が付かないようにしてください。

- OHP フィルムをセットする前に、用紙の束をほぐしてさばき、くっつかないようにします。
- 大量の OHP フィルムに印刷するときには、OHP フィルムが排紙トレイでくっつかないように、必ず印刷バッチ間隔を 3 分以上にし、バッチの枚数を最大 20 枚にしてください。また、20 枚のバッチごとに、OHP フィルムを排紙トレイから取り出せます。

用紙ガイドライン

用紙特性

以下の用紙特性は、印刷の品質と信頼性に影響します。用紙に印刷する前に、次の項目について検討します。

重さ

プリンタトレイは、重さが 60 〜 256 g/m^2（16 〜 68 ポンド）の縦目の用紙を給紙できます。多目的フィーダーは、重さが 60 〜 256 g/m^2（16 〜 68 ポンド）の縦目の用紙を給紙できます。重さが 60 g/m^2（16 ポンド）よりも軽い用紙は硬さが足りないため適切に給紙されず、紙づまりの原因になることがあります。

メモ: 両面印刷は、60 〜 169 g/m^2（16 〜 45 ポンド）の用紙でサポートされます。

カール

カールは、用紙の先端が丸まろうとする性質を指します。カールの度合いが大きすぎると、給紙時に問題が生じることがあります。高温になっているプリンタ内部を用紙が通過した後に、カールが発生することがあります。用紙を包装から取り出して高温、多湿、低温、または乾燥した状態で保管していると、それがトレイ内であっても、印刷前に用紙がカールして、給紙時に問題が生じることがあります。

平滑度

用紙の平滑度は、印刷品質に直接影響します。用紙のきめが粗すぎる場合、トナーが適切に定着しません。用紙が滑らかすぎると、用紙の取り込み時や印刷品質に対して問題となることがあります。必ず 100 〜 200 シェフィールドポイントの用紙を使用してください。

含水率

用紙に含まれる水分の量は、印刷品質とプリンタの給紙機能の両方に影響します。用紙は、使用するときまで、元の包装のまま保管してください。そうすることで、用紙が湿度の変化を受けて劣化する可能性を最小限に抑えることができます。

印刷に使用する 24〜48 時間前から、用紙を元の包装のままプリンタと同じ環境に保管して、用紙の状態を調整してください。保管または輸送環境がプリンタ環境と大きく異なる場合は、時間を数日延ばしてください。用紙に厚みがある場合も同様に、調整に時間がかかることがあります。

紙目

紙目は、用紙に含まれる繊維の方向を指します。紙目には、用紙の縦方向に伸びる縦目と、用紙の横方向に伸びる横目があります。

60 〜 256 g/m^2（16 〜 68 ポンド）の用紙の場合は、縦目の用紙をお勧めします。

繊維含有率

最高品質のゼログラフィ用紙は、100% の化学処理済みパルプ木材から作られています。この含有率により、用紙の安定度が高まるとともに、給紙時の問題が減少し、印刷品質が向上します。コットンなどの繊維を含む用紙は、用紙の処理に悪影響を及ぼすことがあります。

用紙を選択する

適切な用紙を使用すると、紙づまりを防ぎ、問題のない印刷を行うことができます。

紙づまりと印刷品質の低下を防ぐには

- 必ず新しく損傷のない用紙を使用する。
- 用紙をセットする前に、用紙の推奨印刷可能面を確認する。通常、この情報は用紙のパッケージに記載されています。
- 手で切った用紙は使用しない。
- 大きさ、種類、重さが異なる用紙を 1 つのトレイにセットしない。これらを混在させると紙づまりが発生します。
- 電子写真印刷用に特に設計されていない限り、コーティングされた用紙を使用しない。

プレプリント用紙とレターヘッド紙を選択する

- 重さが 60 ～ 256 g/m^2（16 ～ 68 ポンド）の縦目用紙を使用する。
- オフセットリトグラフ印刷または写真版印刷処理を使用して印刷されたフォームおよびレターヘッド紙に限定して使用する。
- 表面のきめが粗い用紙やざらつきが大きい用紙は避ける。
- トナーの樹脂に影響されないインクを使用する。酸性インクや油性インクは通常、この要件を満たしています。ラテックスインクは、この要件を満たしていない可能性があります。
- 使用を検討しているプレプリント用紙やレターヘッド紙を大量に購入する前に、その用紙にサンプルを印刷する。この印刷結果から、プレプリント用紙やレターヘッド紙でインクが印刷品質に影響するかどうかを判断します。
- 疑わしい場合は、用紙の供給元に問い合わせる。

再生紙やその他の事務用紙を使用する

環境問題意識を持つ企業として、Lexmark はレーザー（電子写真）プリンタ向けに特別に製造された再生紙の使用をサポートしています。

Lexmark は、世界の市場にあるカットサイズのコピー用再生紙を継続的にテストしています。ただし、どのような再生用紙でもスムーズに給紙されるとは断言できません。この科学的テストは、厳格かつ統制的に実施されています。次のようなさまざまな要素が個別にも全体としても考慮されています。

- 使用後の廃棄物の量（Lexmark は最大 100% の使用後の廃棄物の内容をテストします。）
- 温度および湿度条件（チャンバー試験は世界中の気候をシミュレートしています。）
- 含水率（ビジネス用紙は 4–5% の低い含水率でなければなりません。）
- 耐屈曲性と適切な硬さはプリンタへの最適な給紙を意味します。
- 厚さ（トレイにセットできる用紙の量に影響します）
- 面の粗さ（シェフィールド単位で測定され、印刷の透明度とトナーが用紙に溶ける度合いに影響します）
- 面の摩擦（シートを仕分ける際の容易さを決定します）
- 粒子と形成（用紙の丸まり方に影響し、プリンタ内を移動するときの用紙の動作方法の仕組みにも影響します）
- 明るさと粗さ（外観）

再生紙はかつてないほど改善されていますが、用紙に含まれる再生済み材料の量は異物を制御する度合いに影響します。また、再生紙は環境を配慮した方法で印刷するための良い方法ですが、完全ではありません。多くの場合、着色剤や「糊」などの添加物からインクを取り除き、処理するために必要な電力は、通常の用紙生産よりも炭素排出量を増加させます。ただし、再生紙を使用することで、全体的な資源管理方法を改善できます。

Lexmark は製品のライフサイクル評価に基づいて、用紙の一般的な責任ある使用に取り組んでいます。環境に対するプリンタの影響をより深く理解するために、Lexmark はさまざまなライフサイクル評価を実施し、装置のライフサイクル（設計から廃棄まで）を通して排出される二酸化炭素の主な要因は用紙（最大 80%）であることが判明しました。これは、用紙の製造工程で電力消費が多いためです。

このため、Lexmark は用紙の影響を最低限に抑えるために、お客様やパートナー企業に情報を提供しようとしています。再生紙の使用は 1 つの方法です。過剰な用紙の使用や不必要な用紙の使用をなくすことはもう 1 つの方法です。Lexmark は十分な機能を提供し、お客様が印刷やコピーの無駄を最低限に抑えられるように支援します。さらに、Lexmark は持続可能な森林管理に対して責任ある行動を実施しているサプライヤ企業から用紙を購入することを推奨しています。

Lexmark は特定の用途向けの推奨製品リストを用意していますが、特定のサプライヤ企業を推薦していません。ただし、次の用紙選択ガイドラインでは、印刷の環境への影響を減らすことができます。

1. 用紙の使用量を最低限に抑えます。
2. 木質繊維の素性に注意して選択します。森林管理協議会（FSC）や森林認証プログラム（PEFC）などの認証を取得しているサプライヤ企業から購入します。これらの認証は、用紙メーカーが環境的および社会的に責任のある森林管理と森林再生に取り組んでいる林業者が提供する木質パルプを使用していることを保証します。
3. 印刷のニーズに合った最適な用紙を選択します。標準の 75 または 80 g/m^2 認証済み用紙、軽量用紙、または再生紙です。

使用できない用紙の例

テスト結果では、次の用紙タイプはレーザープリンタの使用においてリスクとなることが示されています。

- ノーカーボン紙とも呼ばれる、カーボン紙なしでコピーの作成に使用される化学処理済みの用紙
- プリンタを汚染する可能性のある化学薬品を使用したプレプリント用紙
- プリンタフューザの温度の影響を受ける可能性のあるプレプリント用紙
- 光学式文字認識（OCR）フォームなど、±2.3 mm（±0.9 インチ）よりも高い精度でページの印刷位置を正確に位置合わせする必要があるプレプリント用紙場合によっては、ソフトウェアアプリケーションで位置合わせを調整することで、このようなフォームにも正常に印刷できます。
- コーティングされた用紙（消去可能ボンド）、合成紙、感熱紙
- 縁がぎざぎざな用紙、表面のきめが粗い用紙、ざらつきのある用紙、カールした用紙
- EN12281:2002（欧州試験）に準拠していない再生紙
- 重量が 60 g/m^2（16 ポンド）未満の用紙
- マルチパートフォームまたはマルチパートドキュメント

Lexmark の詳細については、**www.lexmark.com** をご覧ください。一般的な持続可能性関連情報は、**環境持続可能性リンク**を参照してください。

用紙の保管

紙づまりを防いで印刷品質を安定させるため、用紙の保管に関する以下のガイドラインに従ってください。

- 最良の印刷結果を得るため、温度 21℃(70°F)、相対湿度 40% の場所に用紙を保管してください。ほとんどのラベルメーカーは、温度が 18 ～ 24℃(65 ～ 75°F)で、相対湿度が 40 ～ 60% で印刷することを推奨しています。
- 用紙をダンボール箱に入れ、台の上か棚など、床より高い場所で保管してください。
- 梱包された用紙は平らな場所に保管してください。
- 梱包された用紙の上には何も置かないでください。
- プリンタにセットする準備ができたときにのみ、用紙をダンボール箱または包装から取り出します。ダンボール箱と包装は、用紙を清潔で乾燥した平らな状態にしておくのに役立ちます。

サポートされている用紙サイズ、タイプ、および重量

以下の表に、標準およびオプションの給紙源と、サポートされる用紙のサイズ、タイプ、および重さを示します。

メモ: 表に記載されていない用紙サイズの場合は、表のサイズから、最も近い大きい方のサイズを選択します。

プリンタでサポートされている用紙サイズ

用紙サイズ	寸法	標準の 500 枚トレイ(トレイ 1)	標準の 500 枚トレイ(トレイ 2)	2 x 500 枚トレイ	2500 枚トレイ	3000 枚トレイ	多目的フィーダー 3	両面印刷
A4	210 x 297 mm (8.3 x 11.7 インチ)	✓	✓	✓	✓ 2	✓ 2	✓ 2	✓
A5	148 x 210 mm (5.8 x 8.3 インチ)	✓ 1	✓ 1	✓ 1	X	X	✓	✓
A6	105 x 148 mm (4.1 x 5.8 インチ)	X	X	X	X	X	✓ 1	✓
JIS B5	182 x 257 mm (7.2 x 10.1 インチ)	✓	✓	✓	X	X	✓	✓
レター	216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ)	✓	✓	✓	✓ 2	✓ 2	✓	✓
リーガル	216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	X	X	✓	✓
エグゼクティブ	184 x 267 mm (7.3 x 10.5 インチ)	✓	✓	✓	X	X	✓	✓
JIS B4	257 x 364 mm (10.12 x 14.33 インチ)	✓	✓	✓	X	X	✓	✓

[1] 短辺方向でのみサポートされます。

[2] 長辺方向でのみサポートされます。

[3] サイズ検知なしで用紙サイズをサポートします。

[4] 用紙サイズが幅 139.7 mm(5.5 インチ)～ 320 mm(12.6 インチ)、長さ 148 mm(5.83 インチ)～ 458 mm(18 インチ)である場合にのみサポートされます。

メモ: [バナー]は、用紙サイズが幅 296.9 mm(11.69 インチ)、長さ 1219.2 mm(48 インチ)までである場合にのみ、多目的フィーダーでサポートされます。用紙サイズは[ユニバーサル]に設定してください。

用紙サイズ	寸法	標準の 500 枚トレイ(トレイ 1)	標準の 500 枚トレイ(トレイ 2)	2 x 500 枚トレイ	2500 枚トレイ	3000 枚トレイ	多目的フィーダー [3]	両面印刷
SRA3	320 x 450 mm (12.6 x 17.7 インチ)	X	✓ [1]	X	X	X	✓ [1]	✓
A3	297 x 420 mm (11.69 x 16.54 インチ)	✓	✓	✓	X	X	✓	✓
12 x 18	305 x 457 mm(12 x 18 インチ)	X	✓ [1]	X	X	X	✓ [1]	✓
11 x 17	279.4 x 431.8 mm (11 x 17 インチ)	✓	✓	✓	X	X	✓	✓
Oficio	216 x 340 mm (8.5 x 13.4 インチ)	✓	✓	✓	X	X	✓	✓
フォリオ	216 x 330 mm (8.5 x 13 インチ)	✓	✓	✓	X	X	✓	✓
ステートメント	140 x 216 mm (5.5 x 8.5 インチ)	✓ [1]	✓ [1]	✓ [1]	X	X	✓	✓
ユニバーサル	76.2 x 76.2 mm(3 x 3 インチ)～ 320 x 1219.2 mm(12.6 x 48 インチ)	✓	✓	✓	X	X	✓	✓ [4]
7 3/4 封筒	98 x 191 mm(3.9 x 7.5 インチ)	X	X	X	X	X	✓	X
9 封筒	98 x 225 mm(3.9 x 8.9 インチ)	X	X	X	X	X	✓	X
10 封筒	105 x 241 mm (4.1 x 9.5 インチ)	X	X	X	X	X	✓	X
DL 封筒	110 x 220 mm (4.3 x 8.7 インチ)	X	X	X	X	X	✓	X
C5 封筒	162 x 229 mm(6.4 x 9 インチ)	X	X	X	X	X	✓	X
B5 封筒	176 x 250 mm (6.9 x 9.8 インチ)	X	X	X	X	X	✓	X
その他の封筒	98 x 162 mm(3.9 x 6.3 インチ)～ 176 x 250 mm (6.9 x 9.8 インチ)	X	X	X	X	X	✓	X

[1] 短辺方向でのみサポートされます。

[2] 長辺方向でのみサポートされます。

[3] サイズ検知なしで用紙サイズをサポートします。

[4] 用紙サイズが幅 139.7 mm(5.5 インチ)～ 320 mm(12.6 インチ)、長さ 148 mm(5.83 インチ)～ 458 mm(18 インチ)である場合にのみサポートされます。

メモ:[バナー]は、用紙サイズが幅 296.9 mm(11.69 インチ)、長さ 1219.2 mm(48 インチ)までである場合にのみ、多目的フィーダーでサポートされます。用紙サイズは[ユニバーサル]に設定してください。

プリンタでサポートされる用紙タイプと重量

プリンタエンジンは、重さが 60 ～ 256g/m²（16 ～ 68 ポンド）の用紙に対応しています。

メモ: ラベル、OHP フィルム、封筒、および厚紙の印刷速度は常に遅くなります。

用紙タイプ	標準の 500 枚トレイ（トレイ 1）	標準の 500 枚トレイ（トレイ 2）	2 x 500 枚トレイ	2500 枚トレイ	3000 枚トレイ	多目的フィーダー
普通紙 [1]	✓	✓	✓	✓	✓	✓
厚紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓
OHP フィルム [2]	X	X	X	X	X	✓
再生紙 [1]	✓	✓	✓	✓	✓	✓
光沢紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓
重い光沢紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ラベル	X	X	X	X	X	✓
ボンド [1]	✓	✓	✓	✓	✓	✓
封筒	X	X	X	X	X	✓
粗い封筒	X	X	X	X	X	✓
レターヘッド [1]	✓	✓	✓	✓	✓	✓
プレプリント [1]	✓	✓	✓	✓	✓	✓
カラー用紙 [1]	✓	✓	✓	✓	✓	✓
軽量紙 [1]	✓	✓	✓	✓	✓	✓
重量紙 [1]	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ラフ/コットン紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓
カスタムタイプ [1]	✓	✓	✓	✓	✓	✓

[1] この用紙では両面印刷がサポートされます。

[2] OHP フィルムがくっつかないように、最大 20 枚のバッチで印刷してください。詳細については、54 ページの「OHP フィルムを使用する場合のヒント」を参照してください。

フィニッシャーが対応している用紙のサイズ、種類、重さ

プリンタエンジンは、重さが 60 ～ 256 g/m²（16 ～ 68 ポンド）の用紙に対応しています。

メモ: フィニッシャーが取り付けられている場合、フィニッシャーを必要としない印刷でも、標準フィニッシャートレイが標準トレイになります。

サポートされている用紙サイズ

用紙サイズ	ステープルフィニッシャー	ステープル、ホールパンチフィニッシャートレイ 1	ステープル、ホールパンチフィニッシャートレイ 2	ブックレットフィニッシャー
A6	✓[3]	✓[3]	X	X
A5	✓[3]	✓[3]	✓[2]	X
JIS B5	✓	✓	✓	X
JIS B4	✓	✓	✓	✓
エグゼクティブ	✓	✓	✓	X
レター	✓	✓	✓	✓
A4	✓	✓	✓	✓
リーガル	✓	✓[4]	✓	✓
12 x 18	✓[1]	✓[3]	✓[1]	✓
11 x 17	✓	✓	✓	✓
SRA3	✓[1]	✓[3]	✓[1]	✓
A3	✓	✓	✓	✓
Oficio	✓[1]	✓[3]	✓[3]	X
フォリオ	✓[1]	✓[3]	✓[3]	X
ステートメント	✓[1]	✓[3]	✓[3]	X
ユニバーサル	✓	✓[3]	✓[1]	✓[5]

[1] フィニッシャーによって用紙が積み重ねられ、用紙がホチキスで綴られたり穴が開けられない場合にのみ、用紙がサポートされます。

[2] フィニッシャーによって用紙が積み重ねられるか、ホチキスによって綴られても、用紙に穴が開けられない場合にのみ、用紙がサポートされます。

[3] 用紙はサポートされますが、フィニッシャ—で用紙の積み重ね、ホチキス留め、穴開けは行われません。

[4] 2 ホールパンチでのみ用紙がサポートされます。

[5] 用紙サイズが 210 x 279.4 mm(8.27 x 11 インチ) ～ 320 x 457.2 mm(12.6 x 18 インチ)の場合のみ用紙がサポートされます。

サポートされている用紙タイプ

用紙タイプ	ステープルフィニッシャー	ステープル、ホールパンチフィニッシャー	ブックレットフィニッシャー
普通紙	✓	✓	✓ 5
厚紙	✓ 2	✓	X
OHP フィルム [1]	✓ 2	✓ 3	X
リサイクル	✓ 2	✓	✓ 5
光沢紙	✓ 2	✓	✓ 5
重い光沢紙	✓ 2	✓ 4	X
ラベル	✓ 2	✓ 3	X
ボンド	✓	✓	✓ 5
封筒	✓ 2	✓ 3	X
粗い封筒	✓ 2	✓ 3	X
レターヘッド	✓	✓	✓ 5
プレプリント	✓	✓	✓ 5
カラー用紙	✓	✓	✓ 5
軽量用紙	✓	✓	✓ 5
重い用紙	✓ 2	✓ 4	X
ラフ/コットン紙	✓ 2	✓	X
カスタム紙種	✓	✓	✓ 5

[1] OHP フィルムの一括印刷を最大 20 枚までに制限して、OHP フィルムがくっつかないようにします。詳細については、54 ページの「OHP フィルムを使用する場合のヒント」を参照してください。

[2] フィニッシャーによって用紙が積み重ねられ、用紙がホチキスで綴られない場合にのみ、用紙がサポートされます。

[3] フィニッシャーによって用紙が積み重ねられ、用紙がホチキスで綴られたり穴が開けられない場合にのみ、用紙がサポートされます。

[4] フィニッシャーによって穴が空けられるか、用紙が積み重ねられても、ホチキスで綴られない場合にのみ、用紙がサポートされます。

[5] フィニッシャーによって用紙がホチキスで綴られたり、折られたりする場合のみ、用紙がサポートされます。

印刷

用紙と文書を印刷する

用紙を印刷する

[用紙とお気に入り]を使用すると、よく使用する用紙や定期的に印刷するその他の情報にすばやく簡単にアクセスできます。このアプリケーションを使用する前に、まずプリンタでアプリケーションをセットアップします。詳細については、18 ページの「用紙とお気に入りをセットアップする」を参照してください。

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[**用紙とお気に入り**] >一覧から用紙を選択 >部数を入力 >その他の設定を調整

2 変更を適用します。

ドキュメントを印刷する

1 プリンタコントロールパネルから、用紙タイプとサイズを設定し、セットした用紙と一致させます。

2 次の手順で印刷ジョブを送信します。

Windows の場合

a ドキュメントが開いている状態で、[**ファイル**] > [**印刷**]の順にクリックします。

b [**プロパティ**]、[**基本設定**]、[**オプション**]、または[**セットアップ**]をクリックします。

c 必要に応じて、設定を調整します。

d [**OK**] > [**印刷**]の順にクリックします。

Macintosh の場合

a [ページ設定]ダイアログで設定をカスタマイズします。

1 ドキュメントが開いている状態で、[**ファイル**] > [**ページ設定**]の順に選択します。

2 セットしている用紙に応じて、用紙サイズを選択するか、カスタムサイズを設定します。

3 [**OK**]をクリックします。

b [印刷]ダイアログで設定をカスタマイズします。

1 ドキュメントが開いている状態で、[**ファイル**] > [**印刷**]の順に選択します。
必要に応じて、開閉用ボタンをクリックし、他のオプションを表示します。

2 必要に応じて、印刷オプションのポップアップメニューから設定を調整します。

メモ: 特定の用紙タイプを選択して印刷するには、セットしている用紙に応じて用紙タイプの設定を調整するか、適切なトレイまたはフィーダを選択します。

3 [**印刷**]をクリックします。

トナーの濃さを調整する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 >[**設定**] >[**印刷設定**] >[**印刷品質メニュー**]

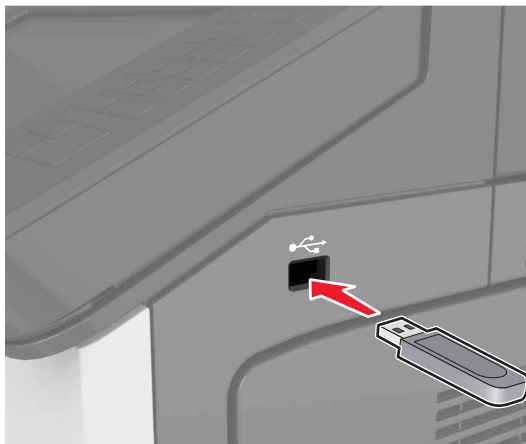
2 トナーの濃さの設定を調整して、変更内容を保存します。

フラッシュメモリまたはモバイルデバイスから印刷する

フラッシュドライブから印刷する

メモ:

- 暗号化された PDF ファイルを印刷する前に、操作パネルでファイルのパスワードを入力するように指示されます。
- ユーザーが印刷権限を持っていないファイルは、印刷できません。

1 フラッシュドライブを USB ポートに挿入します。

メモ:

- フラッシュドライブを挿入すると、フラッシュドライブアイコンがプリンタのホーム画面に表示されます。
- 紙づまりなどが発生して、プリンタがユーザーの操作を必要としている場合には、フラッシュドライブを挿入しても、フラッシュドライブは認識されません。
- フラッシュドライブを挿入したときに、プリンタで他の印刷ジョブが処理されていた場合には、プリンタディスプレイに[**ビジー**]が表示されます。他の印刷ジョブの処理が終了したら、保留ジョブのリストを確認した上で、フラッシュドライブからドキュメントを印刷します。

警告!破損の恐れあり: メモリデバイスから印刷またはデータの読み書きを行っている間は、プリンタまたはフラッシュメモリの図で示した範囲に手を触れないでください。データの損失や誤動作が発生する可能性があります。

2 操作パネルから、印刷するドキュメントをタッチします。

3 印刷する部数を指定し、印刷ジョブを送信します。

メモ:

- ドキュメントの印刷が完了するまで、USB ポートからフラッシュドライブを取り外さないでください。
- USB 初期メニュー画面を終了した後もフラッシュドライブをプリンタに挿入したままにしている場合、ホーム画面の[**保持されたジョブ**]をタッチして、フラッシュドライブからファイルを印刷します。

サポートされているフラッシュドライブとファイルタイプ

メモ:

- 高速 USB フラッシュメモリについては、フルスピード規格に対応している必要があります。低速 USB デバイスはサポートされません。
- USB フラッシュドライブで、FAT(File Allocation Table)システムをサポートしている必要があります。NTFS (New Technology File System)やその他のファイルシステムでフォーマットされているデバイスはサポートされていません。

推奨フラッシュメモリ	ファイルタイプ
• Lexar FireFly(512MB/1GB) • SanDisk Cruzer Micro(512MB/1GB) • Sony(512MB/1GB)	ドキュメント: • .pdf • .xps 画像: • .dcx • .gif • .jpeg または .jpg • .bmp • .pcx • .tiff または .tif • .png

モバイルデバイスから印刷する

アプリケーションをダウンロードするには、www.lexmark.com/mobile にアクセスしてください。

メモ: モバイル印刷アプリケーションは、モバイルデバイスメーカーでも提供されている場合があります。

秘密ジョブおよびその他の保留中のジョブを印刷する

プリンタに印刷ジョブを保持する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [**セキュリティ**] > [**コンフィデンシャル印刷**] >印刷ジョブタイプを選択

使用	目的
無効暗証番号許容回数	無効な暗証番号(PIN)を入力できる最大回数を制限します。 **メモ:** この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号(PIN)に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限	プリンタコントロールパネルから PIN を入力するまで、コンピュータに印刷ジョブを保持します。 **メモ:** PIN はコンピュータから設定されます。PIN は 0 ～ 9 の数字を使用した 4 桁です。
ジョブ期限切れの繰り返し	印刷ジョブを印刷し、プリンタのメモリに保存します。
ジョブ期限切れの確認	印刷ジョブを 1 部印刷し、残りの部数を保持します。最初の印刷が問題ないかどうかを確認できます。すべての部数が印刷されると、印刷ジョブはプリンタのメモリから自動的に削除されます。
予約印刷ジョブの有効期限	後から印刷するために印刷ジョブを保存します。 **メモ:** [保持されたジョブ]メニューから削除されるまで、印刷ジョブを保持します。

メモ:

- プリンタが他の保留ジョブを処理するために追加のメモリが必要な場合、コンフィデンシャル印刷ジョブ、確認印刷ジョブ、繰り返し印刷ジョブおよび予約印刷ジョブは削除される場合があります。
- プリンタコントロールパネルから印刷ジョブを開始するまで、プリンタのメモリに印刷ジョブを保存するように、プリンタを設定できます。
- プリンタでユーザーが開始できるすべての印刷ジョブは、保持されたジョブと呼ばれます。

2 をタッチします。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する

メモ:

- コンフィデンシャル印刷ジョブおよび確認印刷ジョブは、印刷後にメモリから自動的に削除されます。繰り返し印刷ジョブおよび予約印刷ジョブは、削除するまでプリンタのメモリに保持されます。
- コンフィデンシャル印刷ジョブでは、4 桁の暗証番号が要求されます。

Windows の場合

1 ドキュメントを開いて、[**ファイル**] >[**印刷**]の順に選択します。

2 プリンタのプロパティを開いて、[**印刷後保持**]を選択します。

3 印刷ジョブのタイプを選択して、ユーザー名を割り当てます。

4 プリンタに印刷ジョブを送信します。

5 プリンタのホーム画面から、保持されたジョブのフォルダを開いて、ジョブを解放します。

Macintosh の場合

1 ドキュメントを開いて、[**ファイル**] >[**印刷**]の順に選択します。

2 印刷オプションまたは[印刷部数と印刷ページ]ポップアップメニューから、[**ジョブ振分け**]を選択します。

3 印刷ジョブのタイプを選択して、ユーザー名を割り当てます。

4 プリンタに印刷ジョブを送信します。

5 プリンタのホーム画面から、保持されたジョブのフォルダを開いて、ジョブを解放します。

コンフィデンシャル印刷設定を修正する

メモ: この機能は、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ使用できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

   メモ:

   - [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで、プリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
   - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [**設定**] タブ > [**セキュリティ**] > [**コンフィデンシャル印刷設定**]をクリックします。

3 設定を変更します。

   - 暗証番号入力試行最大回数を設定します。ユーザーが 暗証番号の入力を試行し、特定の試行回数を超えた場合、そのユーザーのすべてのジョブが削除されます。
   - コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期間を設定します。ユーザーが指定された期間内にジョブを印刷しなかった場合、そのユーザーのすべてのジョブが削除されます。

4 変更した設定を保存します。

情報ページを印刷する

情報ページの印刷の詳細については、45 ページの「メニュー設定ページを印刷する」および 46 ページの「ネットワーク設定ページを印刷する」を参照してください。

フォントサンプルリストを印刷する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

  > [**レポート**] > [**フォント一覧を印刷**]

2 [**PCL フォント**]または[**PostScript フォント**]をタッチします。

ディレクトリリストを印刷する

ディレクトリリストには、フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されたリソースが表示されます。

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

> [**レポート**] > [**ディレクトリ印刷**]

印刷ジョブをキャンセルする

プリンタコントロールパネルから印刷ジョブをキャンセルする

1 プリンタコントロールパネルから、[**ジョブをキャンセル**]をタッチするか、キーボードの を押します。

2 キャンセルする印刷ジョブをタッチし、[**選択したジョブを削除**]をタッチします。

  メモ: キーパッドの を押し、[**再開**]を押すと、ホーム画面に戻ります。

コンピュータから印刷ジョブをキャンセルする

Windows の場合

1 プリンタフォルダを開きます。

  Windows 8 の場合

  検索チャームから、`run` と入力して、次の手順を実行します。

  [**実行**] > `control printers` と入力 > [**OK**]

  Windows 7 以前の場合

  a をクリックするか、[**スタート**]をクリックして、[**実行**]をクリックします。

  b `control printers` と入力します。

  c **Enter** を押すか、[**OK**]をクリックします。

2 プリンタアイコンをダブルクリックします。

3 キャンセルする印刷ジョブを選択します。

4 [**削除**]をクリックします。

Macintosh の場合

1 アップルメニューの「システム環境設定」で、プリンタフォルダを開きます。

2 プリントキューを開いて、キャンセルするジョブを選択して削除します。

プリンタメニューを理解する

メニューリスト

用紙メニュー

標準設定給紙源
用紙サイズ/タイプ
MP を構成する
代替サイズ
用紙の粗さ
用紙セット方法
カスタムタイプ
カスタム名
カスタム排紙トレイ名
ユニバーサル設定
排紙トレイ設定

レポート

メニュー設定ページ
デバイス統計
ホチキステスト
ネットワーク設定ページ [1]
プロファイル一覧
フォント一覧を印刷
ファイルディレクトリを印刷
備品レポート
イベントログサマリ

ネットワーク/ポート

アクティブ NIC
標準ネットワーク [2]
標準 USB
パラレル [x]
シリアル [x]
SMTP セットアップ

オプションカードメニュー [3]

インストールされている DLE(ダウンロードエミュレータ)のリストが表示されます。

セキュリティ

その他のセキュリティ設定
コンフィデンシャル印刷
一時データファイルの消去
セキュリティ監査ログ
日付/時刻を設定

設定

一般設定
フラッシュドライブメニュー
印刷設定

ヘルプ

すべてのガイドを印刷
印刷品質
印刷ガイド
用紙ガイド
印刷不良ガイド
メニューマップ
情報ガイド
接続ガイド
移動ガイド
消耗品ガイド

[1] プリンタのセットアップに応じて、このメニュー項目は[ネットワーク設定]または[ネットワーク [x] 設定]として表示されます。

[2] プリンタのセットアップに応じて、このメニュー項目は[標準ネットワーク]または[ネットワーク [x]]として表示されます。

[3] このメニューは、DLE がインストールされているときのみ表示されます。

用紙メニュー

標準設定給紙源メニュー

使用	目的
標準設定給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー 手差し用紙 手差し封筒	すべての印刷ジョブのデフォルト用紙を設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[トレイ 1(標準トレイ)]に設定されています。 • メニュー設定に表示するには、[用紙メニュー]の[多目的フィーダー設定]にて[トレイ]を設定する必要があります。 • 2 つのトレイにサイズとタイプが同じ用紙がセットされており、セットされている用紙のサイズとタイプが[用紙サイズ]と[用紙タイプ]の設定と一致している場合、これらのトレイが自動的にリンクされます。このとき、これらのトレイのいずれかが空になっても、リンクされているもう片方のトレイを使って印刷ジョブが続行されます。

用紙サイズ/タイプメニュー

使用	目的
トレイ [x]サイズ A4 A5 A6 JIS-B5 JIS-B4 レター リーガル 12 x 18 11 x 17 SRA3 A3 エグゼクティブ Oficio(メキシコ) フォリオ ステートメント ユニバーサル	各トレイにセットした用紙のサイズを指定します。 **メモ**: • 米国向けの工場出荷時設定は レターになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 • 同じサイズと種類の用紙を 2 つのトレイにセットし、トレイの設定を同じにすると、これらのトレイは自動的にリンクされます。多目的フィーダーもリンクすることができます。一方のトレイが空になると、リンクされているトレイを使用して印刷ジョブが続行されます。
メモ: 取り付けられたトレイとフィーダーのみがメニューに表示されます。	

使用	目的
トレイ [x]タイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 光沢紙 重い光沢紙 ラベル ボンド紙 封筒 粗い封筒 レターヘッド紙 プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタムタイプ [x]	各トレイにセットした用紙の種類を指定します。 **メモ**: • トレイ 1 のデフォルト設定は普通紙です。カスタム タイプ [x]は、その他のすべてのトレイの出荷時デフォルト設定です。 • ユーザーが定義した名前がある場合は、[カスタムタイプ [x]]の代わりにその名前が表示されます。 • このメニューを使用して、自動トレイリンクを設定します。
多目的フィーダーサイズ A4 A5 A6 JIS-B5 JIS-B4 レター リーガル 12 x 18 11 x 17 SRA3 A3 エグゼクティブ Oficio(メキシコ) フォリオ ステートメント ユニバーサル	多目的フィーダーにセットした用紙のサイズを指定します。 **メモ**: • 米国向けの工場出荷時設定は レターになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 • メニューに MP フィーダーサイズを表示するには、[用紙メニュー]で、[多目的フィーダー設定]を[カセット]に設定します。 • 多目的フィーダーでは、用紙のサイズが自動で検知されません。用紙のサイズを設定する必要があります。
メモ: 取り付けられたトレイとフィーダーのみがメニューに表示されます。	

使用	目的
多目的フィーダータイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 光沢紙 重い光沢紙 ラベル ボンド紙 封筒 粗い封筒 レターヘッド紙 プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタムタイプ [x]	多目的フィーダーにセットした用紙タイプを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[普通紙]に設定されています。 • メニューに多目的フィーダーの種類を表示するには、[用紙メニュー]で、[多目的フィーダータイプ]を[カセット]に設定します。
手差し用紙サイズ A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio(メキシコ) JIS B4 A3 11 x 17 フォリオ ステートメント ユニバーサル SRA3 12 x 18	手差しでセットされた用紙のサイズを指定します。 **メモ**: 米国向けの工場出荷時設定は レターになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。
メモ: 取り付けられたトレイとフィーダーのみがメニューに表示されます。	

使用	目的
手差し用紙用紙タイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル ボンド紙 レターヘッド紙 プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタムタイプ [x]	手差しでセットする用紙の種類を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[普通紙]に設定されています。 • メニューに手差し用紙の種類を表示するには、[用紙メニュー]で、[多目的フィーダー設定]を[手差し]に設定します。
手差し封筒サイズ 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 DL 封筒 C5 封筒 B5 封筒 その他封筒	手差しでセットする封筒のサイズを指定します。 **メモ**: 米国向けの工場出荷時設定は、10 封筒 になっています。グローバル向けの工場出荷時設定は DL 封筒になっています。
手差し封筒タイプ 封筒 粗い封筒 カスタムタイプ [x]	手差しでセットする封筒の種類を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は封筒に設定されています。
メモ: 取り付けられたトレイとフィーダーのみがメニューに表示されます。	

多目的フィーダ設定メニュー

項目	目的
多目的フィーダ設定 トレイ 手差し 第一候補	多目的フィーダが給紙源として選択される条件を設定します。 **メモ**: • 出荷時標準設定は[トレイ]です。[トレイ]では、多目的フィーダが自動給紙源として設定されます。 • [手差し]では、多目的フィーダは手差し給紙の印刷ジョブ専用に設定されます。 • [第一候補]では、多目的フィーダが標準の給紙源として設定されます。

代替サイズメニュー

使用	目的
代替サイズ オフ ステートメント/A5 レター/A4 11 x 17/A3 一覧のすべて	要求したサイズの用紙を使用できない場合に代替で使用する用紙のサイズを指定します。 **メモ**: • 出荷時の標準設定は[一覧のすべて]です。使用可能な代替サイズの用紙がすべて使用されます。 • サイズの代替を設定すると、[**用紙を変更**]を表示せずに印刷ジョブを続けることができます。

用紙表面粗さメニュー

項目	目的
普通紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした普通紙の相対的な粗さを指定します。 **メモ**: 出荷時標準設定は[普通]です。
カード用紙の表面粗さ 滑らか 普通 粗い	セットしたカード用紙の相対的な粗さを指定します。 **メモ**: • 出荷時標準設定は[普通]です。 • このオプションは、カード用紙がサポートされている場合のみ表示されます。
OHP フィルムの粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした OHP フィルムの相対的な粗さを指定します。 **メモ**: 出荷時標準設定は[普通]です。
再生紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした再生紙の相対的な粗さを指定します。 **メモ**: 出荷時標準設定は[普通]です。
ラベル紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットしたラベル紙の相対的な粗さを指定します。 **メモ**: 出荷時標準設定は[普通]です。
ボンド紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットしたボンド紙の相対的な粗さを指定します。 **メモ**: 出荷時標準設定は[粗い]です。
封筒の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした封筒の相対的な粗さを指定します。 **メモ**: 出荷時標準設定は[普通]です。
ラフ紙封筒の粗さ 粗い	セットした封筒の相対的な粗さを指定します。

項目	目的
レターヘッド紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットしたレターヘッド紙の相対的な粗さを指定します。 **メモ**：出荷時標準設定は[普通]です。
プレプリント紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットしたプレプリント紙の相対的な粗さを指定します。 **メモ**：出荷時標準設定は[普通]です。
カラー用紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットしたカラー用紙の相対的な粗さを指定します。 **メモ**：出荷時標準設定は[普通]です。
軽量紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした用紙の相対的な粗さを指定します。 **メモ**：出荷時標準設定は[普通]です。
重量紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした用紙の相対的な粗さを指定します。 **メモ**：出荷時標準設定は[普通]です。
ラフ紙/コットン紙の粗さ 粗い	セットしたコットン紙の相対的な粗さを指定します。
カスタムタイプ [x]の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットしたカスタムタイプ用紙の相対的な粗さを指定します。 **メモ**： • 出荷時標準設定は[普通]です。 • これらのオプションは、カスタムタイプの種類がサポートされている場合のみ表示されます。

用紙セット方法メニュー

使用	目的
厚紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[厚紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
再生紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[再生紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
光沢紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[光沢紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
メモ： • 工場出荷時は用紙セット方法メニューのすべてのオプションが[オフ]に設定されています。 • [両面]を選択すると、お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷プロパティ]または[印刷]ダイアログで片面印刷を選択しない限り、すべての印刷ジョブで両面印刷が標準になります。	

使用	目的
重い光沢紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[重い光沢紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
ラベル紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[ラベル]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
ボンド紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[ボンド紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
レターヘッド紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[レターヘッド紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
プレプリント紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[プレプリント紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
色付き紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[色付き紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
軽量紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[軽量紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
重量紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[重量紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
ラフ/コットン紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[ラフ/コットン紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。
カスタム [x] セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[カスタムタイプ [x]]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うか指定します。 **メモ**:[カスタムタイプ [x]セット中]は、カスタムタイプがサポートされているときのみ表示されます。

メモ:

- 工場出荷時は用紙セット方法メニューのすべてのオプションが[オフ]に設定されています。
- [両面]を選択すると、お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷プロパティ]または[印刷]ダイアログで片面印刷を選択しない限り、すべての印刷ジョブで両面印刷が標準になります。

カスタムタイプメニュー

使用	目的
カスタムタイプ [x] 用紙 厚紙 OHP フィルム ラフ/コットン紙 ラベル 封筒	工場出荷時に標準で用意されている[カスタムタイプ名]、または内蔵 Web サーバー(EWS)や MarkVision™ Professional にてユーザーが定義した[カスタム名]に、普通紙や特殊用紙を割り当てます。 **メモ**: • 工場出荷時は[用紙]に設定されています。 • 選択したトレイやフィーダーから印刷する場合は、ユーザ定義の用紙がその給紙源でサポートされている必要があります。
再生紙 用紙 厚紙 OHP フィルム ラフ/コットン紙 ラベル 封筒	他のメニューで[再生紙]が選択されているときに、用紙タイプを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[用紙]に設定されています。 • 選択したトレイやフィーダーから印刷する場合は、ユーザ定義の用紙がその給紙源でサポートされている必要があります。

カスタム名メニュー

使用	目的
カスタム名 [x]	用紙タイプのカスタム名を指定します。プリンタメニューの[カスタムタイプ [x]]に表示される名前は、ここで指定した名前に置き換えられます。

カスタム排紙トレイ名メニュー

使用	目的
標準排紙トレイ	標準排紙トレイのカスタム名を指定します。
排紙トレイ[x]	排紙トレイ [x]のカスタム名を指定します。

ユニバーサル設定メニュー

使用	目的
測定単位 インチ ミリメートル	測定単位を指定します。 **メモ**: • 米国向けの工場出荷時設定は[インチ]になっています。 • その他の国の工場出荷時設定は[ミリメートル]になっています。
縦方向の幅 3.54 ~ 48 インチ 89.9 ~ 1219 mm	縦方向の幅を設定します。 **メモ**: • 指定した横の長さが最大値を超えている場合、許容される最大の横の長さが使用されます。 • 米国向けの工場出荷時設定は 12 インチになっています。この設定は 0.01 インチ単位で変更できます。 • 米国以外の出荷時標準設定は[305 mm]です。この設定は 1 mm 単位で変更できます。

使用	目的
縦方向の高さ 5.5 ～ 48 インチ 139.7 ～ 1219 mm	縦方向の高さを設定します。 **メモ**: • 指定した縦の長さが最大値を超えている場合、許容される最大の縦の長さが使用されます。 • 米国向けの工場出荷時設定は 17 インチになっています。この設定は 0.01 インチ単位で変更できます。 • その他の国の工場出荷時設定は 432 mm になっています。この設定は 1 mm 単位で変更できます。
用紙取り込み方向 短辺 長辺	用紙のセット方向が決まっていない場合に、給紙方向を指定します。 **メモ**: • 出荷時の標準設定は[短辺]です。 • [長辺]は、トレイでサポートされる最大幅よりも用紙の最大長辺が短い場合にのみ表示されます。

排紙トレイ設定メニュー

使用	目的
排紙トレイ 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x]*	標準排紙トレイを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[標準排紙トレイ]に設定されています。
排紙トレイの設定 メールボックス リンク リンクオプション タイプ割り当て	排紙トレイの設定オプションを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[メールボックス]に設定されています。この設定では、各排紙トレイを個別のメールボックスとして処理します。 • リンクはすべての使用可能な排紙トレイを大きい 1 つの排紙トレイとして設定します。 • リンクオプションは、標準排紙トレイ以外のすべての排紙トレイをリンクします。オプションの排紙トレイが 2 つ以上取り付けられている場合にのみ表示されます。 • タイプ割り当ては各用紙タイプを排紙トレイまたはリンクされた排紙トレイセットに割り当てます。
オーバーフロー排紙トレイ 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x]*	指定された排紙トレイが満杯のときの代替排紙トレイを設定します。 **メモ**: • このメニューは、オプションの排紙トレイが取り付けられている場合にのみ表示されます。 • 工場出荷時は[標準排紙トレイ]に設定されています。
* 適切な排紙トレイが取り付けられている場合、[x] は 1 ～ 4 の任意の数にできます。複数の排紙トレイに同じ名前が割り当てられている場合、その名前は 1 回しか排紙トレイ一覧に表示されません。	

使用	目的
タイプ/排紙トレイの割り当て 普通紙排紙トレイ 厚紙排紙トレイ OHP フィルム排紙トレイ 再生紙排紙トレイ 光沢紙排紙トレイ 重い光沢紙排紙トレイ ラベル排紙トレイ ボンド排紙トレイ 封筒排紙トレイ 粗い封筒排紙トレイ レターヘッド紙排紙トレイ プリプリント紙排紙トレイ カラー紙排紙トレイ 軽い用紙排紙トレイ 重い用紙排紙トレイ ラフ/コットン紙排紙トレイ カスタム [x] 排紙トレイ	サポートされる用紙タイプの排紙トレイを選択します。 各タイプで、次のオプションを選択します。 無効 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x]* **メモ**: 工場出荷時は[無効]に設定されています。
* 適切な排紙トレイが取り付けられている場合、[x] は 1 ～ 4 の任意の数にできます。複数の排紙トレイに同じ名前が割り当てられている場合、その名前は 1 回しか排紙トレイ一覧に表示されません。	

レポートメニュー

レポートメニュー

使用	目的
メニュー設定ページ	トレイにセットされている用紙、搭載メモリ、総ページカウント、アラーム設定、時間切れ設定、操作パネルの言語、TCP/IP アドレス、消耗品の状況、ネットワーク接続の状況などの各種情報のレポートを印刷します。
デバイス統計	プリンタの統計情報（消耗品の情報や印刷済みページの詳細情報など）に関するレポートを印刷します。
ホチキステスト	ホチキスフィニッシャーの正常動作を確認するためのレポートを印刷します。 **メモ**: このメニュー項目は、サポートされているホチキスフィニッシャーが取り付けられている場合のみ表示されます。
ネットワーク設定ページ	ネットワークプリンタ設定（TCP/IP アドレス情報など）に関するレポートを印刷します。 **メモ**: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ（またはプリントサーバーに接続されているプリンタ）でのみ表示されます。
ネットワーク [x] 設定ページ	ネットワークプリンタ設定（TCP/IP アドレス情報など）に関するレポートを印刷します。 **メモ**: • このメニュー項目は、複数のネットワークオプションが実装されているプリンタでのみ表示されます。 • このメニュー項目は、ネットワークプリンタ（またはプリントサーバーに接続されているプリンタ）でのみ表示されます。

使用	目的
プロファイル一覧	プリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。 **メモ**：このメニュー項目は LDSS が有効化されている場合のみ表示されます。
フォント一覧を印刷 PCL フォント PostScript フォント	現在プリンタで設定されているプリンタ言語で使用可能なすべてのフォントのレポートを印刷します。 **メモ**：PCL および PostScript エミュレーションでは、別のリストがあります。
ファイルディレクトリを印刷	オプションのフラッシュメモリカードまたはプリンタのハードディスクに保存されているすべてのリソースの一覧を印刷します。 **メモ**： • ［ジョブバッファサイズ］は 100% に設定してください。 • オプションのフラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクが適切に取り付けられて正常に動作していることを確認します。 • このメニュー項目は、オプションのフラッシュドライブまたはハードディスクがインストールされているときにのみ表示されます。
備品レポート	シリアル番号や機種名などのプリンタ資産情報を含むレポートを印刷します。
イベントログサマリ	ログに記録された全イベントの概要を含むレポートを印刷します。

ネットワーク/ポートメニュー

アクティブ NIC メニュー

使用	目的
アクティブ NIC 自動 ［利用可能なネットワークカード一覧］	プリンタをネットワークに接続できます。 **メモ**： • 工場出荷時は［自動］に設定されています。 • このメニュー項目は、オプションのネットワークアダプタがインストールされている場合にのみ表示されます。

標準ネットワークまたはネットワーク ［x］ メニュー

メモ：このメニューにはアクティブなポートのみ表示されます。

使用	目的
省電力型イーサネット 有効 無効	プリンタがイーサネットネットワークからデータを受信しない場合、電力消費を節約します。 **メモ**：出荷時の標準設定は［有効化］です。
PCL SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 **メモ**： • 工場出荷時は［オン］に設定されています。 • PCL SmartSwitch が無効な場合、プリンタは受信データを確認せず、［設定］メニューで指定された標準言語が使用されます。

使用	目的
PS SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オン]に設定されています。 • PS SmartSwitch が無効な場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定された標準言語が使用されます。
NPA モード オフ 自動	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。 • 操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが自動的に再起動します。
ネットワークバッファ 自動 3KB ～ [許容最大サイズ]	ネットワーク入力バッファのサイズを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。 • 許容最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他のリンクバッファのサイズ、および[リソース保存]が[オン]か[オフ]かによって異なります。 • ネットワークバッファの最大サイズを増やすには、パラレル通信やシリアル通信、USB バッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 • 操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが自動的に再起動します。
ジョブバッファ中 オフ オン 自動	印刷前に一時的に印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存します。このメニューは、フォーマット済みのディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • 操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが自動的に再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 **メモ**: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
標準ネットワークまたはネットワーク [x]設定 レポート ネットワークカード TCP/IP IPv6 ワイヤレス AppleTalk	プリンタのネットワーク設定を表示/設定します。 **メモ**: [ワイヤレス]のメニューは、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されているときのみ表示されます。

レポートメニュー

メニューにアクセスするには、以下のいずれかの順に選択します。

- ［**ネットワーク/ポート**］>［**標準ネットワーク**］>［**標準ネットワーク設定**］>［**レポート**］
- ［**ネットワーク/ポート**］>［**ネットワーク [x]**］>［**ネットワーク [x] 設定**］>［**レポート**］

項目	目的
設定ページを印刷	ネットワークプリンタ設定（TCP/IP アドレスなど）に関するレポートを印刷します。

ネットワークカード メニュー

メニューにアクセスするには、次のいずれかのメニューを選択します。:

- ［**ネットワーク/ポート**］>［**標準ネットワーク**］>［**標準ネットワーク設定**］>［**ネットワークカード**］
- ［**ネットワーク/ポート**］>［**ネットワーク [x]**］>［**ネットワーク [x] 設定**］>［**ネットワークカード**］

使用	目的
カード状態の表示 接続 切断	ワイヤレスネットワークアダプターの接続状態を表示します。
カード速度の表示	アクティブなネットワークアダプターの速度を表示します。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを表示します。
ジョブタイムアウト 0, 10–225 秒	ネットワーク印刷ジョブのキャンセルがかかる時間の範囲を設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[90 秒]に設定されています。 • 0 を設定することによりタイムアウトを無効にします。 • 値が 1 から 9 の場合は、**無効** が画面に表示され、値は保存されません。
バナー ページ オフ オン	プリンターにバナーページを印刷することを許可します。 **メモ**: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

TCP/IP メニュー

メニューにアクセスするには、次のいずれかのメニューを選択します。

- ［**ネットワーク/ポート**］ >［**標準ネットワーク**］ >［**標準ネットワーク設定**］ >［**TCP/IP**］
- ［**ネットワーク/ポート**］ >［**ネットワーク [x]**］ >［**ネットワーク [x] 設定**］ >［**TCP/IP**］

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ使用できます。

使用	目的
ホスト名を設定	現在の TCP/IP ホスト名を設定します。 **メモ**: これらの設定は内蔵 Web サーバーからのみ変更することができます。

使用	目的
IP アドレス	現在の TCP/IP アドレスを表示または変更します。 **メモ**: IP アドレスを手動で設定すると、[DHCP を有効化] および [自動 IP を有効化] が[オフ]になります。またこのとき、BOOTP と RARP をサポートするシステムでは、[BOOTP を有効化] および [RARP を有効化] も [オフ]になります。
ネットマスク	現在の TCP/IP ネットマスクを表示または変更します。
ゲートウェイ	現在の TCP/IP ゲートウェイを表示または変更します。
DHCP を有効化 オン オフ	DHCP アドレスの割り当てとパラメータの設定を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
RARP を有効化 オン オフ	RARP アドレスの割り当て設定を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
BOOTP を有効化 オン オフ	BOOTP アドレスの割り当て設定を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
自動 IP を有効化 はい いいえ	ゼロ構成ネットワーク設定を有効にします。 **メモ**: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
FTP/TFTP を有効化 はい いいえ	内蔵の FTP サーバを有効にします。これにより、FTP を使ってファイルをプリンタに送信することができます。 **メモ**: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
HTTP サーバーを有効化 はい いいえ	内蔵 Web サーバーを有効にします。有効にすると、プリンタは Web ブラウザを使用してリモートで監視および管理できます。 **メモ**: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
WINS サーバーアドレス	現在の WINS サーバーアドレスを表示または変更します。
DDNS を有効化 はい いいえ	現在の DDNS 設定を表示または変更します。 **メモ**: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
mDNS を有効化 はい いいえ	現在の mDNS 設定を表示または変更します。 **メモ**: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
DNS サーバーアドレス	現在の DNS サーバーアドレスを表示または変更します。
バックアップ DNS サーバーアドレス	バックアップ DNS サーバーアドレスを表示または変更します。
バックアップ DNS サーバーアドレス 2	
バックアップ DNS サーバーアドレス 3	
HTTPS を有効化 はい いいえ	現在の HTTPS 設定を表示または変更します。 **メモ**: 工場出荷時は[はい]に設定されています。

IPv6 メニュー

メニューにアクセスするには、次のメニューを選択します。

- **[ネットワーク/ポート]メニュー** > [**標準ネットワーク**] > [**標準ネットワーク設定**] > [**Ipv6**]
- [**ネットワーク/ポート**]**メニュー** > [**ネットワーク [x]**] > [**ネットワーク [x] 設定**] > [**Ipv6**]

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ使用できます。

使用	目的
IPv6 を有効化 オン オフ	プリンタの IPv6 を有効にします。 **メモ**: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
自動構成 オン オフ	ネットワークアダプタが、ルーターにより自動設定された IPv6 アドレスを受け入れるか指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
ホスト名を設定	ホスト名を設定します。 **メモ**: これらの設定は内蔵 Web サーバーからのみ変更することができます。
アドレスを表示	
ルーターアドレスを表示	
DHCPv6 を有効化 オン オフ	プリンタの DHCPv6 を有効にします。 **メモ**: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

ワイヤレスメニュー

メモ: このメニューは、ワイヤレスネットワークに接続されているプリンタまたはワイヤレスネットワークアダプタが内蔵されているプリンタ機種でのみ表示されます。

メニューを表示するには、次の手順を実行します。

[**ネットワーク/ポート**] >[**ネットワーク [x]**] >[**ネットワーク [x] 設定**] >[**ワイヤレス**]

使用	目的
Wi-Fi Protected Setup プッシュボタン方式を開始する PIN 方式を開始する	ワイヤレスネットワークを確立し、ネットワークセキュリティを有効にします。 **メモ**: • [プッシュボタン方式を開始する]では、プリンタとアクセスポイント(ワイヤレスルーター)の両方が指定された時間内に押下されると、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されます。 • [PIN 方式を開始する]では、プリンタの PIN がアクセスポイントのワイヤレス設定に入力されると、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されます。
WPS 自動検出を有効化/無効化 有効 無効	WPS のアクセスポイントが使用する接続方法([プッシュボタン方式を開始する]または[PIN 方式を開始する])を自動的に検出します。 **メモ**: 工場出荷時は[無効]に設定されています。
ネットワークモード BSS タイプ インフラストラクチャ アドホック	ネットワークモードを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[インフラストラクチャ]に設定されています。これにより、プリンタはアクセスポイントを使用して、ネットワークにアクセスできます。 • [アドホック]では、プリンタとコンピュータ間で直接ワイヤレス接続が構成されます。

使用	目的
互換性 802.11b/g 802.11b/g/n	ワイヤレスネットワークのワイヤレス規格を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[802.11b/g/n]に設定されています。
ネットワークを選択	プリンタが使用できるネットワークを選択します。
信号品質を表示	ワイヤレス接続の品質を表示します。
セキュリティモードを表示	ワイヤレスネットワークの暗号化方式を表示します。

AppleTalk メニュー

メニューにアクセスするには、次のいずれかのメニューを選択します。

- ［**ネットワーク/ポート**］>［**標準ネットワーク**］>［**標準ネットワークの設定**］>［**AppleTalk**］
- ［**ネットワーク/ポート**］>［**ネットワーク[x]**］>［**ネットワーク [x] 設定**］>［**AppleTalk**］

使用	目的
有効 はい いいえ	AppleTalk サポートを有効または無効にします。 **メモ**: 工場出荷時は[いいえ]に設定されています。
名前を表示	割り当てられた AppleTalk 名を表示します。 **メモ**: AppleTalk 名は、内蔵 Web サーバーからのみ変更できます。
アドレスを表示	割り当てられた AppleTalk アドレスを表示します。 **メモ**: AppleTalk アドレスは、内蔵 Web サーバーからのみ変更できます。
ゾーンを設定 [ネットワークで使用可能なゾーンの一覧]	ネットワークで使用可能な AppleTalk ゾーンの一覧です。 **メモ**: 工場出荷時はネットワークの標準ゾーンに設定されています。

標準 USB メニュー

使用	目的
PCL SmartSwitch オン オフ	USB ポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オン]に設定されています。 • [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PS SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PostScript エミュレーションが使用されます。また、[PS SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定)]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン オフ	USB ポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オン]に設定されています。 • [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PCL SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PCL エミュレーションが使用されます。また、[PCL SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。

使用	目的
NPA モード オン オフ 自動	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。[自動]に設定すると、プリンタはデータを確認し、形式を判定してから、適切な方法で処理します。 • プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが自動的に再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
USB バッファ 無効 自動 3KB ～［許容される最大サイズ］	USB 入力バッファのサイズを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。 • [無効]はジョブバッファリングをオフにします。プリンタのハードディスクのバッファに格納されているすべてのジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 • USB バッファサイズ値は 1 KB 単位で変更できます。 • 許容される最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他のリンクバッファのサイズ、および［リソース保存］が[オン］か［オフ］かによって異なります。 • USB バッファの最大サイズを増やすには、パラレル通信やシリアル通信、ネットワークバッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 • プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが自動的に再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
ジョブバッファリング オフ オン 自動	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • [オン]を選択すると、プリンタのハードディスクに印刷ジョブがバッファされます。 • 他の入力ポートからのデータ処理がビジーのときのみ、印刷ジョブが自動的にバッファされます。 • プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。 • [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。 • [オフ]を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。
ENA アドレス yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバーのネットワークアドレス情報を設定します。 **メモ**: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。
ENA ネットマスク yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバーのネットマスクを設定します。 **メモ**: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。
ENA ゲートウェイ yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバーのゲートウェイを設定します。 **メモ**: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。

パラレル [x] メニュー

メモ: このメニューは、オプションのパラレルカードがインストールされている場合にのみ表示されます。

使用	目的
PCL SmartSwitch オン オフ	シリアルポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オン]に設定されています。 • [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PS SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PostScript エミュレーションが使用されます。また、[PS SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン オフ	シリアルポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オン]に設定されています。 • [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PCL SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PCL エミュレーションが使用されます。また、[PCL SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
NPA モード オン オフ 自動	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。 • プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
パラレルバッファ 無効 自動 3KB ～ [許容される最大サイズ]	パラレル入力バッファのサイズを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。 • [無効]はジョブバッファリングをオフにします。プリンタのハードディスクのバッファに格納されているすべての印刷ジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 • パラレルバッファサイズ設定は 1 KB 単位で変更できます。 • 許容される最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他のリンクバッファのサイズ、および [リソース保存] が[オン] か [オフ] かによって異なります。 • パラレルバッファの最大サイズを増やすには、USB 通信やシリアル通信、ネットワークバッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 • プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
ジョブバッファリング オフ オン 自動	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • [オン]を選択すると、プリンタのハードディスクに印刷ジョブがバッファされます。 • 他の入力ポートからのデータ処理がビジーのときのみ、印刷ジョブが自動的にバッファされます。 • プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。

使用	目的
詳細状態 オン オフ	パラレルポート経由の双方向通信を有効にします。 **メモ**: • 工場出荷時は[オン]に設定されています。 • [オフ]を選択すると、パラレルポートのネゴシエーションが無効になります。
プロトコル 標準 Fastbytes	パラレルポートのプロトコルを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[Fastbytes]に設定されています。Fastbytes プロトコルは、現在普及しているほとんどのパラレルポートと互換性があります(このプロトコルを選択することを推奨します)。 • パラレルポートの通信に問題がある場合は[標準]が問題の解決を試みます。
初期化要求を許可 オン オフ	コンピュータから送信されたプリンタハードウェア初期化要求を許可するかどうかを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • コンピュータは、パラレルポートの Init 信号をアクティブにすることで、プリンタの初期化を要求します。多くのコンピュータは、起動のたびに Init 信号をアクティブにします。
パラレルモード 2 オン オフ	ストローブ信号の立ち上がりエッジまたは立ち下がりエッジでデータをサンプルするかどうかを設定します。 **メモ**: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。 • [オフ]を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。 • [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。
ENA アドレス yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバーのネットワークアドレス情報を設定します。 **メモ**: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。
ENA ネットマスク yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバーのネットマスクを設定します。 **メモ**: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。
ENA ゲートウェイ yyy.yyy.yyy.yyy	外部プリントサーバーのゲートウェイを設定します。 **メモ**: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。

シリアル [x] メニュー

メモ: このメニューは、オプションのシリアルカードがインストールされている場合にのみ表示されます。

使用	目的
PCL SmartSwitch オン オフ	シリアルポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オン]に設定されています。 • [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PS SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PostScript エミュレーションが使用されます。また、[PS SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン オフ	シリアルポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オン]に設定されています。 • [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PCL SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PCL エミュレーションが使用されます。また、[PCL SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
NPA モード オン オフ 自動	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。[自動]に設定すると、プリンタはデータを確認し、形式を判定してから、適切な方法で処理します。 • [オン]に設定されている場合、プリンタは NPA 処理を実行します。データが NPA 形式ではない場合、不良データとして拒否されます。 • [オフ]に設定した場合、NPA 処理を実行しません。 • プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
シリアルバッファ 無効 自動 3K ～ [許容される最大サイズ]	シリアル入力バッファのサイズを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。 • [無効]はジョブバッファリングをオフにします。ディスクのバッファに格納されているすべてのジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 • シリアルバッファサイズ設定は 1 KB 単位で変更できます。 • 許容される最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他のリンクバッファのサイズ、および [リソース保存] が[オン] か [オフ] かによって異なります。 • シリアルバッファの最大サイズを増やすには、パラレル通信やシリアル通信、ネットワークバッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 • プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。

使用	目的
ジョブバッファリング オフ オン 自動	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。印刷ジョブは、プリンタのハードディスクにバッファされません。 • [オン]を選択すると、プリンタのハードディスクに印刷ジョブがバッファされます。 • 他の入力ポートからのデータ処理がビジーのときのみ、印刷ジョブが自動的にバッファされます。 • プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
プロトコル DTR DTR/DSR XON/XOFF XON/XOFF/DTR XONXOFF/DTRDSR	シリアルポートのハードウェアおよびソフトウェアハンドシェイク設定を選択します。 **メモ**: • 工場出荷時は[DTR]に設定されています。 • [DTR/DSR]はハードウェアハンドシェイク設定です。 • [XON/XOFF]はソフトウェアハンドシェイク設定です。 • [XON/XOFF/DTR]と[XON/XOFF/DTR/DSR]は、ハードウェアハンドシェイク設定とソフトウェアハンドシェイク設定の組み合わせです。
連続 XON 送信 オン オフ	プリンタが印刷可能なことをコンピュータに通知するかどうかを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • このメニュー項目は、[シリアルプロトコル] が[XON/XOFF]に設定されているときのみ表示されます。
ボー 1200 2400 4800 9600 19200 38400 57600 115200 138200 172800 230400 345600	シリアルポートのデータ受信速度を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は 9600 に設定されています。 • 138200、172800、230400、345600 のボーレートは、[標準シリアル]メニューにのみ表示されます。これらの設定は、[シリアルオプション 1]、[シリアルオプション 2]、[シリアルオプション 3]のメニューには表示されません。
データビット 7 8	各転送フレームのデータビット数を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は 8 に設定されています。
パリティ 偶数 奇数 なし 無視	シリアル入出力データフレームのパリティを設定します。 **メモ**: 工場出荷時は[なし]に設定されています。

使用	目的
DSR 使用 オン オフ	プリンタが DSR 信号を使用するかどうかを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • 多くのシリアルケーブルでは、DSR 信号を使ってハンドシェイクを行います。シリアルポートにて DSR を使用すると、コンピュータから送られたデータを、シリアルケーブル内で発生した電気的ノイズと区別することができます。この電気的ノイズは、印刷の文字化けを引き起こす恐れがあります。印刷の文字化けを防ぐために、[DSR 使用]を [オン]に設定してください。

SMTP セットアップメニュー

使用	目的
一次 SMTP ゲートウェイ	SMTP サーバーゲートウェイとポート情報を指定します。 **メモ**: 25 はデフォルト SMTP ゲートウェイポートです。
一次 SMTP ゲートウェイポート	
二次 SMTP ゲートウェイ	
二次 SMTP ゲートウェイポート	
SMTP タイムアウト 5-30	サーバーが E メールの送信試行を停止するまでの秒数を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は 30 秒に設定されています。
返信アドレス	プリンタから送信される E メールの返信アドレスを指定します(最大 128 文字)。
SSL を使用 無効 交渉 必須	プリンタが SMTP サーバーに接続する際、セキュリティ強化のために SSL を使用するかどうかを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[無効]に設定されています。 • [交渉]を選択した場合、SSL を使用するかどうかは SMTP サーバーが決定します。
SMTP サーバー認証 認証なし ログイン/プレーンテキスト CRAM-MD5 Digest-MD5 NTLM Kerberos 5	E メールへのスキャンの利用権限を審査するためのユーザー認証タイプを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[認証なし]に設定されています。

使用	目的
デバイスから送信される E メール なし デバイスの SMTP 証明書を使用	SMTP サーバーと通信する際に、どの証明書を使用するかを指定します。一部の SMTP サーバーでは、E メールを送信するために認証資格情報が必要です。 **メモ**: • [デバイスから送信される E メール] および [ユーザーから送信される E メール]の工場出荷時設定は[なし]になっています。 • [デバイスの SMTP 証明書を使用]を選択した場合、デバイスのユーザー ID とパスワードを使用して SMTP サーバーにログインします。
ユーザーから送信される E メール* なし デバイスの SMTP 証明書を使用 セッションのユーザー ID とパスワードを使用 セッションの E メールアドレス とパスワードを使用 ユーザーに確認	
デバイスのユーザー ID	
デバイスのパスワード	
Kerberos 5 レルム	
NTLM ドメイン	

セキュリティメニュー

セキュリティ設定の編集メニュー

使用	目的
バックアップパスワードの編集 バックアップパスワードを使用 オフ オン パスワード	バックアップパスワードを作成します。 **メモ**: • [バックアップパスワードを使用]の出荷時の標準設定は[オフ]です。 • このメニュー項目は、バックアップパスワードが存在するときのみ表示されます。
ビルディングブロックを編集 内部アカウント NTLM 簡単な Kerberos 設定 Kerberos の設定 Active Directory LDAP LDAP+GSSAPI パスワード 暗証番号	[内部アカウント]、[NTLM]、[簡単な Kerberos 設定]、[Kerberos 設定]、[Active Directory]、[LDAP]、[パスワード]、[暗証番号]の設定を編集します。
セキュリティテンプレートを編集 [使用可能なテンプレート一覧]	セキュリティテンプレートを追加/編集します。

使用	目的
アクセス制御を編集 管理メニュー 機能アクセス アプリの設定 管理 ソリューション デバイスのジョブをキャンセル	プリンタメニュー、ファームウェア更新、保留ジョブなどへのアクセスを制御します。

その他のセキュリティ設定メニュー

使用	目的
ログイン制限 ログイン失敗許容回数 ログイン失敗許容時間 ロックアウト時間 パネルログインのタイムアウト リモートログインのタイムアウト	すべてのユーザーがロックアウトされる前に、プリンタコントロールパネルからログイン失敗できる上限回数(または上限時間)を指定します。 **メモ**: • [ログイン失敗許容回数]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限回数を指定します。1 ~ 10 回を選択できます。出荷時の設定は 3 です。 • [ログイン失敗許容時間]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限時間を指定します。1 ~ 60 分を選択できます。出荷時の設定は 5 分です。 • [ロックアウト時間]では、ログイン失敗可能な許容回数を超えたときに、ユーザーをロックアウトする時間を指定します。1 ~ 60 分を選択できます。出荷時の設定は 5 分です。1 分に設定されている場合は、ロックアウト時間が適用されません。 • [パネルログインのタイムアウト]では、[ホーム] 画面にて操作されない時間がどのくらい続いたときに、ユーザーが自動的にログオフされるかを指定します。1 ~ 900 秒を選択できます。出荷時の設定は 30 秒です。 • [リモートログインのタイムアウト]では、リモートインターフェイスにて操作されない時間がどのくらい続いたときに、ユーザーが自動的にログオフされるかを指定します。1 ~ 120 分を選択できます。出荷時の設定は 10 分です。
最小暗証番号 1 ~ 16	暗証番号(PIN)の最小桁数を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は 4 に設定されています。

コンフィデンシャル印刷メニュー

使用	目的
無効暗証番号許容回数 オフ 2 ~ 10	無効な暗証番号(PIN)を入力できる最大回数を制限します。 **メモ**: • このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。 • この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号(PIN)に対する印刷ジョブが削除されます。
メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。	

使用	目的
コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限 オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタに保存される期間を制限します。 **メモ**: • コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタのメモリまたはハードディスクにあるときに有効期限の設定が変更された場合、それらの印刷ジョブの有効期限は新しい設定値に変更されません。 • プリンタの電源がオフになると、プリンタのメモリにあったコンフィデンシャル印刷ジョブはすべて削除されます。
ジョブ期限切れの繰り返し オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	印刷ジョブがプリンタに保存される期間を制限します。
ジョブ期限切れの確認 オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	ベリファイ(確認)が必要な印刷ジョブがプリンタに保存される期間を制限します。
予約印刷ジョブの有効期限 オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	後で印刷する予約印刷ジョブがプリンタに保存される期間を制限します。
メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。	

一時データファイルを消去メニュー

[一時データファイルを消去]では、ファイルシステムで現在使用されていないプリンタハードディスクの印刷ジョブデータのみを削除します。ダウンロードしたフォント、マクロ、保留ジョブなどのプリンタハードディスクのすべての恒久データは保持されます。

メモ: このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。

使用	目的
消去モード 自動	ディスク消去モードを指定します。
自動消去方法 シングルパス マルチパス	過去の印刷ジョブで使用されたすべてのディスクスペースにマークを付けます。そのスペースが消去されるまでファイルシステムが再利用できません。 **メモ**: • 工場出荷時は[シングルパス]に設定されています。 • 自動消去を選択した場合のみ、一定時間プリンタをオフにすることなくディスク消去を有効にすることができます。 • 機密性の高いデータは、必ず [マルチパス]を使って消去してください。

セキュリティ監査ログメニュー

使用	目的
ログをエクスポート	権限を持ったユーザーがセキュリティログをエクスポートすることができます。 **メモ**: • プリンタコントロールパネルから監査ログをエクスポートするには、プリンタにフラッシュドライブが装着されている必要があります。 • 内蔵 Web サーバーから監査ログをエクスポートする場合、コンピュータにログをダウンロードすることができます。
ログを削除 はい いいえ	監査ログを削除するかどうかを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
ログを設定 監査を有効化 はい いいえ リモート Syslog を有効化 いいえ はい リモート Syslog ファシリティ 0-23 ログ記録するイベントの重要度 0～7	監査ログを作成するかどうか、またどのように作成するかを指定します。 **メモ**: • [監査を有効化]によって、イベントがセキュア監査ログに記録されるか、リモート Syslog に記録されるかが決定されます。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [リモート Syslog を有効化]によって、ログがリモートサーバーに送信されるかどうかが決定されます。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [リモート Syslog ファシリティ]によって、リモート Syslog サーバーにログを送信するために使用する値が決定されます。工場出荷時は 4 に設定されています。 • セキュリティ監査ログが有効な場合、各イベントの重要度が記録されます。工場出荷時は 4 に設定されています。

日付/時刻を設定メニュー

使用	目的
現在の日時	プリンタの現在の日時設定を表示します。
日付/時刻の手動設定 [日時を入力]	日時を入力します。 **メモ**: • 日時を手動で設定すると、[NTP の有効化]が[いいえ]に設定されます。 • ウィザードでは、日時を YYYY-MM-DD-HH:MM 形式 で設定できます。
タイムゾーン [時間帯のリスト]	タイムゾーンを選択します。 **メモ**: 工場出荷時は GMT に設定されています。
DST を自動的に順守 オン オフ	この設定では、[タイムゾーン]で設定したタイムゾーンの夏時間が適用されます。 **メモ**: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
NTP の有効化 オン オフ	ネットワークタイムプロトコル(NTP)を有効にします。NTP を有効にすると、ネットワーク上にある機器の時計を同期させることができます。 **メモ**: • 工場出荷時は[オン]に設定されています。 • 日時を手動で設定すると、この設定は[オフ]になります。

設定メニュー

一般設定

一般設定メニュー

使用	目的
表示言語 英語 フランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 デンマーク語 ノルウェー語 オランダ語 スウェーデン語 ポルトガル語 フィンランド語 ロシア語 ポーランド語 ギリシャ語 ハンガリー語 トルコ語 チェコ語 簡体中国語 繁体中国語 韓国語 日本語	プリンタディスプレイに表示されるテキストの言語を設定します。 **メモ**: プリンタによっては利用できない言語があります。このような言語を表示するには、特殊なハードウェアを設置しなければならない場合があります。
エコモード オフ 電力 電力/用紙 用紙	電力や用紙、特殊用紙の使用量を最小にします。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。この設定では、プリンタが工場出荷時の設定にリセットされます。 • [電力]を選択すると、プリンタの消費電力が最小になります。パフォーマンスは落ちますが、印刷品質は落ちません。 • [電力/用紙]を選択すると、プリンタの消費電力と用紙/特殊用紙の使用量が最小になります。 • [用紙]を選択すると、印刷ジョブに必要な用紙/特殊用紙の使用量が最小になります。パフォーマンスは落ちますが、印刷品質は落ちません。

使用	目的
静音モード オフ オン	プリンタの騒音を低減します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。この設定では、プリンタ仕様のパフォーマンスが優先されます。 • [オン]を選択すると、プリンタの騒音が可能な限り抑えられます。この設定は、文字や線画を印刷するのに最適です。 • 色を多く使うドキュメントを印刷する場合は、最適な印刷結果を得るために[静音モード]を[オフ]に設定してください。 • プリンタドライバで[写真]を選択すると、静音モードが無効になります。この設定にすると、最高の印刷速度でさらに高品質な印刷結果が得られます。
初期設定を実行 はい いいえ	プリンタでセットアップウィザードを実行します。 **メモ**: 工場出荷時は[はい]に設定されています。セットアップウィザードを完了すると、標準設定が[いいえ]になります。
キーボード キーボードタイプ 英語 フランス語 カナダフランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 ギリシャ語 デンマーク語 ノルウェー語 オランダ語 スウェーデン語 フィンランド語 ポルトガル語 ロシア語 ポーランド語 スイスドイツ語 スイスフランス語 韓国語 ハンガリー語 トルコ語 チェコ語 簡体中国語 繁体中国語 日本語 カスタムキー [x]	プリンタキーボードの言語とカスタムキーボード情報を指定します。追加のタブを使用すると、キーボードからアクセントマークや記号にアクセスできます。

使用	目的
用紙サイズ 米国 メートル法	用紙サイズの測定方法を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[米国]に設定されています。 • 用紙サイズの初期設定は、初期設定ウィザードで選択した国や地域によって決まります。 • この設定を変更すると、各給紙源の[用紙サイズ/タイプ]メニューの設定が標準設定になります。
表示する情報 左側 右側 カスタムテキスト [x]	ホーム画面の左上と右上に表示する情報を指定します。 左メニューと右メニューに表示する情報は、以下のオプションから選択します。 なし IP アドレス ホスト名 担当者名 設置場所 日付/時刻 mDNS/DDNS サービス名 ゼロ構成名 カスタムテキスト [x] モデル名 **メモ**: • [IP アドレス]の工場出荷時設定は[左側]になっています。 • [日付/時刻]の工場出荷時設定は[右側]になっています。
表示する情報(続き) 黒のトナー	黒のトナーに関する表示情報をカスタマイズします。 以下のオプションから選択します。 表示タイミング 非表示 表示 表示メッセージ 標準 代替 標準 [文字入力] 代替 [文字入力] **メモ**: • [表示タイミング]の工場出荷時設定は[非表示]になっています。 • [表示メッセージ]の工場出荷時設定は[標準]になっています。

<table>
<tr><th>使用</th><th>目的</th></tr>
<tr><td>表示する情報（続き）
廃トナーボトル
紙づまり
用紙をセット
サービスエラー</td><td>［廃トナーボトル］、［紙づまり］、［用紙をセット］、［サービスエラー］のメニューに表示する情報をカスタマイズします。
以下のオプションから選択します。
表示
はい
いいえ
表示メッセージ
標準
代替
標準
［文字入力］
代替
［文字入力］
メモ:
• ［表示］の工場出荷時設定は［いいえ］になっています。
• ［表示メッセージ］の工場出荷時設定は［標準］になっています。</td></tr>
<tr><td>ホーム画面のカスタマイズ
言語を変更
保持されたジョブ検索
保持されたジョブ
USB ドライブ
プロファイルとアプリ
ブックマーク
ユーザー別ジョブ
用紙とお気に入り
背景とアイドル画面
エコ設定</td><td>操作パネルに表示されるアイコンとボタンを変更します。
各アイコンまたはボタンで、次のオプションを選択します。
表示
非表示
メモ:
• ［保持されたジョブを検索］、［保持されたジョブ］、［USB ドライブ］、［用紙とお気に入り］、［背景とアイドル画面］、［エコ設定］については、工場出荷時は［表示］に設定されています。
• ［言語を変更］、［プロファイルとアプリ］、［ブックマーク］、［ユーザー別ジョブ］については、工場出荷時は［非表示］に設定されています。</td></tr>
<tr><td>日付形式
MM-DD-YYYY
DD-MM-YYYY
YYYY-MM-DD</td><td>プリンタの日付形式を指定します。
メモ:
• MM-DD-YYYY は米国での 工場出荷時設定です。
• DD-MM-YYYY は米国以外での工場出荷時設定です。</td></tr>
<tr><td>時刻形式
12 時間形式: A.M./P.M.
24 時間形式</td><td>プリンタの時刻形式を指定します。
メモ: 12 時間形式: A.M./P.M. 工場出荷時の設定です。</td></tr>
<tr><td>画面明るさ
20 ～ 100</td><td>操作パネル画面の明るさを指定します。
メモ: 工場出荷時の設定は［100］です。</td></tr>
<tr><td>タッチスクリーンのタッチ音の設定
ボタンのフィードバック
オン
オフ
ボリューム
1 ～ 10</td><td>ボタンの音声ボリュームを設定します。
メモ:
• ［ボタンのフィードバック］の工場出荷時設定は［オン］になっています。
• ［ボリューム］の工場出荷時設定は 5 になっています。</td></tr>
</table>

使用	目的
ブックマークを表示 はい いいえ	[保持されたジョブ]エリアにブックマークを表示するかどうかを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
Web ページ更新頻度 30 ～ 300	内蔵 WEB サーバー(EWS)が Web ページを更新する間隔を秒数で指定します。 **メモ**: 工場出荷時の設定は[120]です。
担当者名	プリンタの担当者名を指定します。 **メモ**: 担当者名は内蔵 WEB サーバー(EWS)に保存されます。
設置場所	プリンタが設置してある場所を指定します。 **メモ**: 設置場所は内蔵 WEB サーバー(EWS)に保存されます。
警報 警報制御 カートリッジ警報 ホチキス警報 ホールパンチ警報	ユーザーの操作が必要なときに警報を鳴らすかどうかを設定します。 各警報タイプで、次のオプションを選択します。 オフ シングル 連続 **メモ**: • [カートリッジ警報]、[ホチキス警報]、[ホールパンチ警報]の工場出荷時設定は[オフ]になっています。 • 警報制御の工場出荷時は[シングル]に設定されています。この設定では、素早く 3 回警報が鳴ります。 • [連続]を選択すると、10 秒ごとに 3 回警報が鳴ります。
時間切れ スタンバイモード 無効 1 ～ 240	プリンタが操作されない状態が続いたとき、プリンタが低電力状態になるまでの時間を分で指定します。 **メモ**: 工場出荷時の設定は[15]です。
時間切れ スリープモード 無効 1 ～ 120	印刷ジョブが完了してからプリンタが低電力状態になるまでの時間を分で指定します。 **メモ**: • 工場出荷時の設定は[20]です。 • [無効]は、[省電力]が[オフ]に設定されている場合にのみ表示されます。 • 時間切れ時間を短くすると電力をより多く節約できますが、ウォームアップにより多くの時間がかかります。 • プリンタを常に使用する場合は、タイムアウト時間を長くしてください。タイムアウト時間を長くすると、ほとんどの状況において最低限のウォームアップ時間で印刷することができます。
時間切れ 画面オフで印刷 画面オフで印刷を許可 印刷時に画面オン	画面オフのときでも、プリンタによる印刷を許可します。 **メモ**: [画面オフで印刷を許可]の工場出荷時設定は[オフ]になっています。

使用	目的
時間切れ ハイバネート状態タイムアウト 無効 1 時間 2 時間 3 時間 6 時間 1 日 2 日 3 日 1 週間 2 週間 1 か月	プリンタがハイバネートモードに移行するまでの時間を指定します。 **メモ**: 工場出荷時の設定は[3 日]です。
時間切れ 接続時にハイバネートタイムアウト ハイバネートしない ハイバネート	アクティブなイーサネット接続が存在する場合でも、プリンタのハイバネートタイムアウトを有効にします。 **メモ**: 工場出荷時の設定は[ハイバネート]です。
時間切れ 画面タイムアウト 15 ～ 300 秒	プリンタに[レディ]と表示されるまでの時間を秒で指定します。 **メモ**: 工場出荷時は 30 秒に設定されています。
時間切れ 画面タイムアウトの延期 オン オフ	[画面タイムアウト]の時間に達したときに、ホーム画面に戻らず、指定されたジョブを続行するようにプリンタを設定します。 **メモ**: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
時間切れ 印刷タイムアウト 無効 1 ～ 255 秒	残りの印刷ジョブをキャンセルする前に、プリンタが印刷ジョブ終了メッセージの受信を待つ時間を秒で指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は 90 秒に設定されています。 • 時間切れ時間が経過すると、プリンタは途中まで印刷したページを最後まで印刷し、印刷待ちの新たな印刷ジョブがあるかどうかをチェックします。 • [印刷タイムアウト]の設定は、PCL エミュレーションを使用しているときのみ有効です。この設定は、PostScript エミュレーションによる印刷ジョブには適用されません。
時間切れ データ待ち時間 無効 15 ～ 65535 秒	印刷ジョブをキャンセルする前に、プリンタが次のデータを待つ時間を秒で指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は 40 秒に設定されています。 • [データ待ち時間]の設定は、PostScript エミュレーションを使用しているときのみ有効です。この設定は、PCL エミュレーションによる印刷ジョブには適用されません。
時間切れ ジョブ保留タイムアウト 5 ～ 255 秒	リソースを利用できないために印刷できないジョブがある場合、そのジョブを保留する前に、印刷キューに格納されているジョブの印刷を続行するためのユーザーの操作を待つ時間を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は 30 秒に設定されています。 • このメニューは、フォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。

使用	目的
エラー回復 自動再起動 アイドル時に再起動 常に再起動 再起動しない	エラー発生時にプリンタを再起動するように設定します。 **メモ**: 出荷時の設定は、[常に再起動]です。
エラー回復 最大自動再起動 1 ～ 20	プリンタが実行可能な自動再起動回数を指定します。 **メモ**: 出荷時の標準設定は[2]です。
印刷回復 自動続行 無効 5 ～ 255	一定時間内に問題が解決されなかった場合に、オフライン状態から自動的に復帰して印刷を再開します。 **メモ**: 工場出荷時は[無効]に設定されています。
印刷回復 紙づまり回復 オン オフ 自動	紙づまりが発生したページを再印刷するかどうかを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。この設定では、印刷ジョブを保留するのに必要なメモリが他の印刷ジョブで必要とならない場合に限り、紙づまりが発生したページが再印刷されます。 • [オン]を選択すると、紙づまりが発生したページが常に再印刷されます。 • [オフ]を選択すると、紙づまりが発生したページは再印刷されません。
印刷回復 紙づまりアシスト オン オフ	紙づまりを自動的にチェックするようにプリンタを設定します。 **メモ**: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
印刷回復 ページ保護 オフ オン	印刷されていない可能性のあるページを正常に印刷できます。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。この設定では、ページ全体を印刷するのに十分なメモリがない場合、ページが途中まで印刷されます。 • [オン]を選択した場合、ページ全体が処理されて、そのページが完全に印刷されます。
[スリープ]ボタンを押す 何もしない スリープ ハイバネート	プリンタがアイドル状態のときに[スリープ]ボタンを押した場合に、プリンタがどのように動作するかを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[スリープ]に設定されています。 • [スリープ]または[ハイバネート]を選択すると、プリンタが低電力設定で動作します。 • プリンタがスリープモードになると、ディスプレイの表示が暗くなり、[スリープ]ボタンが黄色に変わります。タッチスクリーンのいずれかの場所、または操作パネルのボタンを押すと、プリンタがスリープモードから復帰します。 • プリンタがハイバネートモードになると、ディスプレイの表示が完全に消えて、[スリープ]ボタンが黄色の点滅表示になります。

使用	目的
[スリープ]ボタンを押し続ける 何もしない スリープ ハイバネート	プリンタがアイドル状態のときに[スリープ]ボタンを 3 秒以上押した場合に、プリンタがどのように動作するかを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時の設定は、[何もしない]です。 • [スリープ]または[ハイバネート]を選択すると、プリンタが低電力設定で動作します。 • プリンタがスリープモードになると、ディスプレイの表示が暗くなり、[スリープ]ボタンが黄色に変わります。タッチスクリーンのいずれかの場所、または操作パネルのボタンを押すと、プリンタがスリープモードから復帰します。
出荷時標準設定 復元しない 復元する	プリンタの設定を工場出荷時設定に戻します。 **メモ**: • 工場出荷時の設定は、[復元しない]です。この設定では、ユーザー定義設定が保持されます。 • [復元する]を選択すると、[ネットワーク/ポート]メニューの設定を除き、プリンタのすべての設定が工場出荷時設定に戻ります。RAM に保存されているダウンロードデータはすべて削除されます。フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されているダウンロードデータには影響しません。
構成パッケージのエクスポート エクスポート	プリンタ設定ファイルをフラッシュドライブにエクスポートします。

フラッシュメモリ

印刷設定メニュー

使用	目的
部数 1 ～ 999	デフォルト部数を設定します。 **メモ**: 出荷時の標準設定は[1]です。
給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー 手差し用紙	デフォルト用紙を設定します。 **メモ**: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
丁合印刷 (1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)	複数の部数を印刷するときの印刷ジョブのページをスタックします。 **メモ**: 出荷時の標準設定は[(1,2,3) (1,2,3)]です。
印刷面(両面印刷) 片面 両面	両面または片面を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[片面]に設定されています。
ステープル オフ オン	印刷物をホチキスで留めるかどうかを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • [オン]を選択すると、印刷物をホチキスで留めます。 • このメニューは、ステープルフィニッシャーが取り付けられている場合のみ表示されます。

使用	目的
ホールパンチ オフ オン	綴じるための穴を印刷物に開けるかどうかを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • このメニューは、ステープル、ホールパンチフィニッシャーが取り付けられている場合のみ表示されます。
ホールパンチモード 2 穴 3 穴 4 穴	印刷物に開ける穴の数を指定します。 **メモ**: • 3 穴は、米国での 工場出荷時の設定です。米国以外での工場出荷時の設定は 4 穴です。 • このメニューは、ステープル、ホールパンチフィニッシャーが取り付けられている場合のみ表示されます。
両面印刷の綴じ方 長辺 短辺	両面印刷ページの綴じ方と印刷方法を定義します。 **メモ**: • [長辺]を選択すると、ページの長辺に沿って綴じるように(縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように)配置されます。これは工場出荷時の設定です。 • [短辺]を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように(縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように)配置されます。
用紙の節約の向き 自動 横長 縦長	複数ドキュメントの向きを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[自動]に設定されています。 • この設定がジョブに影響するのは、同じメニューの[用紙の節約]設定の値が[オフ]に設定されていない場合です。
用紙の節約 オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページイメージを用紙の片面に印刷します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • ここで選択する値は、用紙の 1 面当たりに印刷されるページイメージの数を表します。
N アップの枠 なし 実線	N-Up(片面に複数ページ割り付け)を使用する場合に、各ページイメージに枠線を印刷します。 **メモ**: • 工場出荷時は[なし]に設定されています。 • この設定がジョブに影響するのは、同じメニューの[用紙の節約]設定の値が[オフ]に設定されていない場合です。
N アップ配列 横方向(左から) 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	N-Up(片面に複数ページ割り付け)を使用する場合に、複数ページイメージの位置を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は横に設定されています。 • 位置は、ページの画像数および向きが縦か横かどうかによって異なります。 • この設定がジョブに影響するのは、同じメニューの[用紙の節約]設定の値が[オフ]に設定されていない場合です。

使用	目的
セパレータ紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	ブランクセパレータシートを印刷するかどうかを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • [各部の間]は、[丁合印刷]が[(1,2,3) (1,2,3)]に設定されている場合に印刷ジョブの各部の間に白紙を挿入します。[丁合印刷]が[(1,1,1) (2,2,2)]に設定されている場合、1 ページ目の束の後、2 ページ目の束の後のように、印刷した各ページ番号の束ごとに白紙が挿入されます。 • [各ジョブの間]を選択すると、各ジョブの間に白紙が挿入されます。 • [各ページの間]を選択すると、各ページの間に白紙が挿入されます。この設定は、OHP フィルムに印刷する場合や、ドキュメントにメモ用の空白ページを挿入する場合に便利です。
セパレータ紙給紙源 トレイ [x] 手差しフィーダー 多目的フィーダー	セパレータ紙の給紙源を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
空白ページ 印刷しない 印刷する	印刷ジョブで空白ページを挿入するかどうかを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[印刷しない]に設定されています。

印刷設定

セットアップメニュー

使用	目的
プリンタ言語 PCL エミュレーション PS エミュレーション	標準のプリンタ言語を設定します。 **メモ**: • 出荷時標準設定は[PCL エミュレーション]です。 • PostScript エミュレーションでは、印刷ジョブの処理に PostScript インタープリタを使用します。 • PCL エミュレーションは PCL インタープリターを使用して印刷ジョブを処理します。 • あるプリンタ言語を標準設定として設定しても、ソフトウェアプログラムから別のプリンタ言語を使用する印刷ジョブを送信できます。
待機中のジョブ オン オフ	プリンタオプションやカスタム設定で指定したリソースを利用できないために待機中の印刷ジョブを、印刷キューから削除します。これらの印刷ジョブは独立した印刷キューに格納されているため、他の印刷ジョブは通常どおり実行されます。利用できなかった情報やオプションが利用できるようになると、印刷キューに格納されていた待機中のジョブが印刷されます。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • このメニューは、書き込み可能なハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。これにより、プリンタの電源がオフになっても、キューに格納されている印刷ジョブが消えることはありません。

使用	目的
印刷領域 普通 用紙全体	論理的および物理的に印刷可能な領域を設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[普通]に設定されています。[普通]の設定で定義された印刷不可能領域に印刷しようとすると、印刷領域の境界で画像がクリップされます。 • [用紙全体]を選択すると、[普通]の設定で定義された印刷不可能領域に画像を移動することができます。ただし、[普通]の設定で定義された境界にてその画像がクリップされます。この設定は、PCL 5e インタープリターを使用して印刷するページにのみ適用されます。PCL XL インタープリターまたは PostScript インタープリターを使用して印刷するページには適用されません。
ダウンロード先 RAM フラッシュメモリ ディスク	ダウンロードデータの保存場所を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[RAM]に設定されています。この設定では、ダウンロードデータが RAM に一時保存されます。 • フラッシュメモリまたはハードディスクに保存する場合、ダウンロードデータは恒久的に保存されます。この場合、プリンタの電源がオフになっても、ダウンロードデータはフラッシュメモリやハードディスクに残ります。 • このメニュー項目は、オプションのフラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクがインストールされているときにのみ表示されます。
リソース保存 オン オフ	プリンタの使用可能なメモリ容量を超えるメモリを必要とする印刷ジョブを受信した場合の、RAM に保存されているフォントやマクロなどの一時的なダウンロードデータの処理方法を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。[オフ]に設定すると、メモリが必要になるまでダウンロードデータが保持されます。ただし、印刷ジョブを処理するためにダウンロードデータが削除されます。 • [オン]を選択すると、言語を変更したりプリンタをリセットしたりしても、ダウンロードデータが保持されます。メモリが不足すると、「**メモリが満杯です**[38])」が表示されます。ただし、ダウンロードデータは削除されません。
[全て印刷]の順序 アルファベット順 古い順 新しい順	[すべて印刷]が選択されたとき、保留またはコンフィデンシャル印刷ジョブをどの順序で印刷するかを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[アルファベット順]に設定されています。

仕上げメニュー

使用	目的
印刷面(両面印刷) 片面 両面	すべての印刷ジョブの標準設定として両面印刷を使用するかどうかを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[片面]に設定されています。 • プリンタソフトウェアから両面印刷を設定できます。
両面印刷の綴じ方 長辺 短辺	両面印刷ページの綴じ方と印刷方法を定義します。 **メモ**: • 工場出荷時は[長辺]に設定されています。この設定では、ページの長辺に沿って綴じるように(縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように)配置されます。 • [短辺]を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように(縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように)配置されます。

使用	目的
部数 1 ～ 999	印刷ジョブごとにデフォルト部数を設定します。 **メモ**: 出荷時の標準設定は[1]です。
空白ページ 印刷しない 印刷する	印刷ジョブで空白ページを挿入するかどうかを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[印刷しない]に設定されています。
丁合印刷 (1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)	複数の部数を印刷するときの印刷ジョブのページをスタックします。 **メモ**: 工場出荷時は[(1,1,1) (2,2,2)]に設定されています。
セパレータ紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	ブランク区切りシートを印刷するかを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • [各部の間]を選択し、[丁合印刷]が[(1,1,1) (2,2,2)]に設定されている場合は、各部の間に白紙が挿入されます。[丁合印刷]が[(1,1,1) (2,2,2)]に設定されている場合は、各ページ番号の束ごとに白紙が挿入されます(1 ページ目の束の後、2 ページ目の束の後、など)。 • [各ジョブの間]を選択すると、各ジョブの間に白紙が挿入されます。 • [各ページの間]を選択すると、各ページの間に白紙が挿入されます。この設定は、OHP フィルムを使用する場合や、メモ用のページとして白紙を挿入する場合に便利です。
セパレータ紙給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー	セパレータ紙の給紙源を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[トレイ 1(標準トレイ]に設定されています。 • [多目的フィーダー]をメニュー設定として表示するには、[用紙]メニューで[多目的フィーダー設定]を[カセット]に設定する必要があります。
用紙の節約 オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページを 1 枚の用紙の片面に印刷します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • ここで選択する値は、用紙の 1 面当たりに印刷されるページイメージの数を表します。
N アップ配列 横方向(左から) 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	[用紙の節約]を使用するときに、複数のページの画像の位置を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は横に設定されています。 • 位置は、ページの画像数および向きが縦か横かどうかによって異なります。
N アップ方向 自動 横長 縦長	複数ドキュメントの向きを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[自動]に設定されています。縦と横を選択します。
N アップ枠 なし 実線	[用紙の節約]を使用する場合に枠線を印刷します。 **メモ**: 工場出荷時は[なし]に設定されています。

使用	目的
ホチキスジョブ 自動 裏 両面 正面 オフ	印刷物をホチキスで留めるかどうかを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • このメニューは、ステープルフィニッシャーが取り付けられている場合のみ表示されます。
ホチキステストの実行	ホチキスフィニッシャーの正常動作を確認するためのレポートを印刷します。 **メモ**: このメニューは、ホチキスフィニッシャーが取り付けられている場合のみ表示されます。
ホールパンチ オン オフ	バインダやフォルダにページをまとめるための穴を印刷物に開けるかどうかを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • このメニューは、ホチキス、ホールパンチフィニッシャーが取り付けられている場合のみ表示されます。
ホールパンチモード 2 穴 3 穴 4 穴	バインダやフォルダにページをまとめるための穴を印刷物にいくつ開けるかを指定します。 **メモ**: このメニューは、ホチキス、ホールパンチフィニッシャーが取り付けられている場合のみ表示されます。
オフセットページ なし 各部の間 各ジョブの間	特定のインスタントのオフセットページ **メモ**: • 工場出荷時は[なし]に設定されています。 • [各部の間]を選択し、[丁合印刷]が[(1,1,1) (2,2,2)]に設定されている場合は、各部の間に白紙が挿入されます。[丁合印刷]が[(1,1,1) (2,2,2)]に設定されている場合は、各ページ番号の束ごとに白紙が挿入されます(1 ページ目の束の後、2 ページ目の束の後、など)。 • 印刷する部数に関係なく、[各ジョブの間]は、印刷ジョブ全体で、同じオフセット位置です。 • このメニューは、ステープルフィニッシャーが取り付けられている場合のみ表示されます。

印刷品質メニュー

使用	目的
印刷解像度 300 dpi 600 dpi 1200 DPI 1200 Image Q 2400 Image Q	印刷出力の解像度をドット/インチ(dpi)で指定します。 **メモ**: 出荷時の標準設定は[600 dpi]です。
高画素化 オフ フォント 水平 垂直 両方向	特定領域のピクセル数を増やして鮮明度を高めることで、画像を縦または横方向に拡大したり、フォントを見やすくしたりできます。 **メモ**: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

使用	目的
トナーの濃さ 1 ～ 10	出力を薄く(または濃く)します。 **メモ**: • 出荷時の標準設定は[8]です。 • 値を小さくすると、トナーを節約することができます。
細かい線を強調 オン オフ	建築図面や地図、電気回路図、フローチャートなどに適した印刷モードを設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • このオプションはプリンタソフトウェアから設定できます。Windows の場合は、[**ファイル**] >[**印刷**]をクリックし、[**プロパティ**]、[**設定**]、[**オプション**]、または[**セットアップ**]をクリックします。Macintosh の場合は、[**ファイル**] >[**プリント**]と選択し、[プリント]ダイアログおよびコンテキストメニューで設定を調整してください。 • 内蔵 WEB サーバー(EWS) から[細かい線を強調]を設定するには、Web ブラウザのアドレスフィールドに、ネットワークプリンタの IP アドレスを入力します。
グレー補正 自動 オフ	イメージに適用されるコントラスト補正を自動的に調整します。 **メモ**: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
明度 -6 ～ 6	明るくするか暗くして、印刷出力を調節します。出力を明るくすると、トナーを節約できます。 **メモ**: 出荷時の標準設定は[0]です。
コントラスト 0 ～ 5	印刷物のコントラストを調整します。 **メモ**: 出荷時の標準設定は[0]です。

ジョブアカウントメニュー

メモ: このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。

使用	目的
ジョブアカウントのログ オフ オン	プリンタが受信した印刷ジョブのログを作成するかどうかを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ジョブアカウント情報のユーティリティ	ログファイルを印刷して削除(またはフラッシュドライブにエクスポート)します。
ジョブアカウントのログ回数 毎日 毎週 毎月	ログファイルの作成頻度を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[毎月]に設定されています。
最後に行うログ操作 なし 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 現在のログを送信 現在のログを送信して削除	ログ頻度しきい値が終了したときに、プリンタがどのように動作するかを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[なし]に設定されています。
ログがほとんど満杯レベル オフ 1 ～ 99	プリンタがログ操作がほとんど満杯レベルを実行する、ログファイルの最大サイズを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は 5 に設定されています。

使用	目的
ログ操作がほとんど満杯レベル なし 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログを送信 現在のログを送信して削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 すべてのログを削除 現在のログ以外すべて削除	ハードディスクがほぼ満杯になったときのプリンタの動作を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[なし]に設定されています。 • このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ログ操作がほとんど満杯レベル]にて指定します。
ログ操作が満杯 なし 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログを送信して削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 すべてのログを削除 現在のログ以外すべて削除	ディスク使用量が上限(100 MB)に達したときのプリンタの動作を指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[なし]に設定されています。
ログの送信先 URL	ジョブアカウント情報のログをどこに送信するかを指定します。
E メールログ	ジョブアカウント情報のログを送信する E メールアドレスを指定します。
ログファイルプレフィックス	ログファイル名として使用するプレフィックスを指定します。 **メモ**: [TCP/IP]メニューで現在設定されているホスト名が、ログファイルの標準のプレフィックスとして使用されます。

ユーティリティメニュー

使用	目的
保留中のジョブを削除 秘密 保持 復元できません すべて	プリンタのハードディスクから秘密ジョブおよび保持されたジョブを削除します。 **メモ**: • 選択した設定は、プリンタ内にある印刷ジョブにのみ影響します。ブックマーク、フラッシュメモリの印刷ジョブ、他の種類の保留中のジョブには影響しません。 • [復元されていない]を選択すると、プリンタのハードディスクまたはメモリから復元されていない印刷ジョブおよび保留中のジョブはすべて削除されます。

使用	目的
フラッシュのフォーマット はい いいえ	フラッシュメモリをフォーマットします。 **警告!破損の恐れあり**: フラッシュメモリをフォーマット中は、プリンタの電源を切らないでください。 **メモ**: • [はい]を選択すると、フラッシュメモリに保存されているデータはすべて削除されます。 • [いいえ]を選択すると、フォーマットリクエストがキャンセルされます。 • フラッシュメモリとは、プリンタに取り付けられたフラッシュメモリカードのことです。 • オプションのフラッシュメモリカードは、絶対に読み取り/書き込み保護または書き込み保護しないでください。 • このメニュー項目は、正常なフラッシュメモリカードが取り付けられている場合のみ表示されます。
ディスク上のダウンロードを削除 今すぐ削除 削除しない	プリンタハードディスクから、すべての保持ジョブ、バッファされているジョブ、常駐ジョブを含め、ダウンロードを削除します。 **メモ**: • [今すぐ削除]を選択すると、プリンタからダウンロードが削除され、削除後、ディスプレイは元の画面に戻るように設定されます。 • [削除しない]を選択すると、削除後にプリンタが元の画面に戻るように設定されます。
16 進トレースの有効化	印刷ジョブで発生した問題の原因を分離できます。 **メモ**: • 16 進トレースを有効にすると、プリンタに送信されたデータはすべて 16 進数とキャラクタ文字で印刷されます。また、制御コードは実行されません。 • 16 進トレースを終了するか無効にするには、プリンタの電源をオフにするか、プリンタをリセットします。
印刷比率の推定 オフ オン	ページ当たりのトナー使用率推定値を出力します。この推定値は、各印刷ジョブの最後に追加ページとして別途印刷されます。 **メモ**: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

XPS メニュー

項目	目的
エラーページ印刷 オフ オン	XML マークアップエラーを含め、エラーに関する情報を含むページを印刷します。 **メモ**: 出荷時標準設定は[オフ]です。

PDF メニュー

項目	目的
用紙にあわせて印刷 はい いいえ	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。 **メモ**: 出荷時標準設定は[いいえ]です。
注釈 印刷しない 印刷する	PDF 内の注釈を印刷します。 **メモ**: 出荷時標準設定は[印刷しない]です。

PostScript メニュー

使用	目的
PS エラーを印刷 オン オフ	PostScript のエラー情報を含むページを印刷します。 **メモ**: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
PS スタートアップモード オン オフ	SysStart ファイルを無効にします。 **メモ**: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
フォントの優先順位 常駐 フラッシュ/ディスク	フォントの検索順序を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[常駐]に設定されています。 • このメニュー項目は、フォーマット済みのフラッシュメモリオプションカード(またはフォーマット済みのハードディスク)がプリンタに実装されており、それらが正常に動作しているときのみ表示されます。 • フラッシュメモリオプションカードまたはハードディスクが、読み取り専用でない(または書き込みプロテクトやパスワードプロテクトされていない)ことを確認してください。 • [ジョブバッファサイズ]は 100% に設定しないでください。

PCL メニュー

使用	目的
フォントソース 常駐 ディスク ダウンロード フラッシュメモリ すべて	[フォント名]メニューで使用されるフォント名を指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[常駐]に設定されています。[常駐]は、RAM にダウンロードされた出荷時の標準フォントを示します。 • [フラッシュ]および[ディスク]設定は、そのオプションのすべての常駐フォントです。 • フラッシュオプションは正しくフォーマットする必要があります。また、読み書き保護、書き込み保護、またはパスワード保護されていてはなりません。 • [ダウンロード]は RAM でダウンロードされたフォントです。 • [すべて]はすべてのフォントで使用できます。
フォント名 Courier 10	指定フォントとフォントが保存されるオプションを示します。 **メモ**: 工場出荷時は Courier 10 に設定されています。Courier 10 はフォント名、フォント ID、およびプリンタの保存場所です。フォントソース略語の R は常駐です。F はフラッシュ、K はディスク、D はダウンロードです。
シンボルセット 10U PC-8 12U PC-850	各フォント名のシンボルセットを指定します。 **メモ**: • 10U PC-8 は米国向けの工場出荷時設定です。12U PC-850 はグローバル向けの工場出荷時設定です。 • シンボルセットは英数字、句読点、および特殊記号の組み合わせです。シンボルセットは、科学的な文章内の数学記号など、異なる言語またはプログラムをサポートします。サポートされたシンボルのみが表示されます。

使用	目的
PCL 設定 ポイントサイズ 1.00-1008.00	調整可能印刷フォントのポイントサイズを変更します。 **メモ**: • 工場出荷時は 12 に設定されています。 • ポイントサイズは文字の高さです。1 ポイントは約 0.014 インチです。 • ポイントは 0.25 刻みで増減できます。
PCL 設定 ピッチ 0.08 ～ 100	調整可能フォントのフォントピッチを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は 10 に設定されています。 • ピッチはインチ当たりの固定スペース文字(cpi)を参照します。 • ピッチは 0.01 cpi 刻みで増減できます。 • 調整不可フォントの場合、ピッチは表示されますが、変更できません。
PCL 設定 用紙の向き 縦長 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[縦長]に設定されています。この設定では、文字や画像はページの短辺と並行に印刷されます。 • [横長]を選択すると、文字や画像はページの長辺と並行に印刷されます。
PCL 設定 1 ページ当たりの行数 1～255	1 ページ当たりの印刷行数を指定します。 **メモ**: • 米国向けの工場出荷時設定は 60 になっています。その他の国の工場出荷時設定は 64 になっています。 • 行間のスペースは、[1 ページ当たりの行数] や [用紙サイズ]、[用紙の向き]の設定に基づいて、プリンタにより設定されます。[1 ページ当たりの行数]を設定する前に、[用紙サイズ] や [用紙の向き]を適切に設定してください。
PCL 設定 A4 サイズの幅 198 mm 203 mm	A4 用紙の印刷設定を行います。 **メモ**: • 工場出荷時は 198 mm に設定されています。 • [203 mm]を選択すると、ピッチが 10 の文字を 1 行当たり 80 文字印刷することができます。
PCL 設定 LF 後自動 CR オン オフ	ラインフィード(LF)制御コマンドの後にキャリッジリターン(CR)制御コマンドを自動実行するかどうかを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
PCL 設定 CR 後自動 LF オン オフ	キャリッジリターン(CR)制御コマンドの後にラインフィード(LF)制御コマンドを自動実行するかどうかを指定します。 **メモ**: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

使用	目的
トレイ番号変更 多目的フィーダー割り当て オフ なし 0-199 トレイ [x] 割り当て オフ なし 0-199 手差し用紙割り当て オフ なし 0-199 手差し封筒割り当て オフ なし 0-199	プリンタのソフトウェアやプログラムが、トレイやフィーダーに標準とは異なる給紙源を割り当てる場合、それらのソフトウェアやプログラムを使って正しく印刷できるように設定します。 **メモ**: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • [なし]では、[給紙源選択] コマンドは無視されます。このオプションは、PCL 5 インタープリターにて選択されている場合のみ表示されます。 • トレイ番号として 0 ～ 199 の番号を割り当てることができます。
トレイ番号変更 出荷時標準設定を表示 MPF 標準設定 = 8 T1 標準設定 = 1 T2 標準設定 = 4 T3 標準設定 = 5 T4 標準設定 = 20 T5 標準設定 = 21 封筒標準設定 = 6 手差し標準設定 = 2 手差封筒標準設定 = 3	トレイやフィーダーの工場出荷時設定を表示します。
トレイ番号変更 標準設定に戻す はい いいえ	トレイやフィーダーの設定を、すべて工場出荷時設定に戻します。

HTML メニュー

使用		目的
フォント名 Albertus MT Antique Olive Apple Chancery Arial MT Avant Garde Bodoni Bookman Chicago Clarendon Cooper Black Copperplate Coronet Courier Eurostile Garamond Geneva Gill Sans Goudy Helvetica Hoefler Text Intl CG Times Intl Courier Intl Univers	Joanna MT Letter Gothic Lubalin Graph Marigold MonaLisa Recut Monaco New CenturySbk New York Optima Oxford Palatino StempelGaramond Taffy Times TimesNewRoman Univers Zapf Chancery NewSansMTJA NewSansMTCS NewSansMTCT NewSansMTKO	HTML ドキュメントの標準フォントを設定します。 **メモ**: フォントを指定しない HTML ドキュメントには、Times フォントが使用されます。

使用	目的
フォントサイズ 1 ～ 255 pt	HTML ドキュメントの標準フォントサイズを設定します。 **メモ**: • 出荷時の標準設定は[12 pt]です。 • フォントサイズは、1 ポイント単位で増加できます。
拡大縮小 1 ～ 400%	HTML ドキュメントの標準フォントを拡大縮小します。 **メモ**: • 出荷時の標準設定は「100%」です。 • 拡大/縮小率は、1% 単位で増加できます。
用紙の向き 縦長 横長	HTML ドキュメントのページの用紙の向きを設定します。 **メモ**: 工場出荷時は[縦長]に設定されています。
余白 8 ～ 255 mm	HTML ドキュメントのページ余白を設定します。 **メモ**: • 出荷時の標準設定は[19 mm]です。 • 余白は、1 mm 単位で増加できます。

使用	目的
背景 印刷しない 印刷する	HTML ドキュメントの背景を印刷するかどうかを指定します。 **メモ**: 出荷時の標準設定は[印刷]です。

イメージメニュー

項目	目的
自動調整 オン オフ	最適な用紙サイズ、拡大/縮小率、用紙の向きを選択します。 **メモ**: 出荷時標準設定は[オン]です。この設定は、一部のイメージの拡大/縮小率および用紙の向きの設定を上書きします。
反転 オン オフ	モノクロ 2 階調のイメージを反転します。 **メモ**: • 出荷時標準設定は[オフ]です。 • この設定は、GIF または JPEG イメージには適用されません。
倍率変更 左上隅の固定 最適なフォント選択 中央の固定 高さ/幅の調整 高さの調整 幅の調整	選択した用紙サイズに合わせてイメージを拡大/縮小します。 **メモ**: • 出荷時標準設定は[最適なフォント選択]です。 • [自動調整]を[オン]に設定すると、[倍率変更]は自動的に[最適に調整]に設定されます。
用紙の向き 縦長 横長 縦長反転 横長反転	イメージの印刷方向を設定します。 **メモ**: 出荷時標準設定は[縦長]です。

ヘルプメニュー

メニュー項目	説明
すべてのガイドを印刷	すべてのガイドを印刷します。
印刷品質	印刷品質の問題を解決する方法を説明します。
印刷ガイド	用紙およびその他の特殊用紙のセット方法を説明します。
用紙ガイド	トレイとフィーダーでサポートされている用紙サイズの一覧です。
印刷不良ガイド	印刷不良が繰り返し発生する場合の一般的な原因をまとめた情報と、印刷品質を調整する目的で使用できる設定の一覧が表示されます。
メニューマップ	操作パネルのメニューと設定の一覧が表示されます。
情報ガイド	さらに詳しい情報の入手先に関する情報を提供します。
接続ガイド	プリンタをローカル接続(USB)またはネットワーク接続する方法を説明します。
移動ガイド	プリンタを安全に移動する手順を説明します。
消耗品ガイド	消耗品を注文する場合に必要な情報を表示します。

コストの削減と環境の保護

Lexmark は環境の持続可能性に取り組み、環境への影響を減らすように継続的にプリンタを改良しています。環境を考慮して設計し、梱包材を減らししながら、回収およびリサイクルプログラムを実施しています。詳細については、次を参照してください。

- 通知事項の章
- 環境維持に関する Lexmark の Web サイト（**www.lexmark.com/environment**）
- Lexmark のリサイクルプログラム（**www.lexmark.com/recycle**）

特定のプリンタ設定またはタスクを選択することで、プリンタの影響をさらに抑えることができる場合があります。本章では、環境への利点を大きくする可能性のある設定およびタスクについて概要を説明します。

用紙とトナーの節約

研究報告が示すように、プリンタの二酸化炭素排出量の 80% は、印刷で使用される用紙に由来しています。再生紙を使用するとともに、以下で推奨している用紙の両面に印刷する方法や 1 枚の用紙に複数ページを印刷する方法を利用することで、二酸化炭素排出量を大幅に削減できます。

再生紙を使用する

Lexmark は環境問題意識を持つ企業として、レーザープリンタ向けに特別に生産された事務用再生紙の使用を推奨しています。お使いのプリンタで使用できる再生紙に関する詳細は、56 ページの「再生紙やその他の事務用紙を使用する」 をご覧ください。

消耗品を節約する

用紙の両面に印刷する

お使いのプリンタ機種が両面印刷に対応している場合、用紙の両面に印刷にするかどうかを選択できます。

メモ:

- 両面印刷は、プリンタドライバの標準設定です。
- サポートされている製品および国を網羅した一覧については、**http://support.lexmark.com** で入手できます。

1 枚の用紙に複数ページを印刷する

印刷ジョブで複数ページ印刷（N アップ）を選択することで、1 枚の用紙の片面に、複数ページのドキュメントから連続するページを最大で 16 ページ印刷できます。

下書きの段階で誤りがないかチェックする

ドキュメントを複数部印刷またはコピーする前に、以下の手順を実行します。

- プレビュー機能を使用して、印刷前にドキュメントがどのように印刷されるか確認します。
- ドキュメントを 1 部だけ印刷し、内容や形式に誤りがないかどうかを確認します。

紙づまりを防止する

紙づまりを防ぐため、用紙の選択とセットは正しく行います。詳細については、157 ページの「紙づまりを防ぐ」を参照してください。

省電力

ハイバネートモードを使用する

ハイバネートモードは、消費電力が著しく低い省電力モードです。

メモ:

- 標準設定では、3 日間動作しなければ、プリンタはハイバネートモードに移行します。
- 印刷ジョブを送信する前に、必ずプリンタをハイバネートモードから復帰させてください。ハードリセットまたは[スリープ]ボタンの長押しによって、プリンタがハイバネートモードから復帰します。
- プリンタがハイバネートモードの場合、内蔵 Web サーバーは無効です。

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [**設定**] > [**一般設定**]

2 [**スリープボタンを押す**]または[**スリープボタンを押し続ける**]をタッチします。

3 [**ハイバネート**] > をタッチします。

エコモードを使用する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

 メモ:

 - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [**設定**] > [**一般設定**] > [**エコモード**]**をクリック** > 設定を選択

使用	目的
オフ	エコモード関連の設定をすべて出荷時の設定にリセットします。この設定では、プリンタの仕様に沿ったパフォーマンスが得られます。
電力	消費電力を減らします。特にプリンタがアイドル状態のときに効果的です。 • プリンタエンジンのモーターは、印刷準備が完了するまで動作しません。1 ページ目が印刷されるまで、少し時間がかかることがあります。 • 動作しない状態が 1 分続くと、プリンタはスリープモードに移行します。
電力/用紙	電力モードと用紙モードに関連する設定をすべて使用します。
普通紙	• 自動両面印刷機能を有効にします。 • ログ印刷機能をオフにします。

3 [**送信**]をクリックします。

スリープモードを調整する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 >[**設定**] >[**一般設定**] >[**タイムアウト**] >[**スリープモード**]

2 [スリープモード]フィールドで、プリンタがスリープモードに移行するまでのアイドル時間(分)を選択します。

3 変更を適用します。

プリンタディスプレイの明るさを調整する

電力を節約したい場合やディスプレイの表示が読みにくい場合は、ディスプレイの明るさの設定を調整できます。

内蔵 Web サーバーを使用する場合

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のようなピリオドで区切られた 4 つの数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、Web ページを正しく読み込むために、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2 [**設定**] > [**一般設定**]をクリックします。

3 [画面の明るさ]フィールドに、設定するディスプレイの明るさ(%)を入力します。

4 [**送信**]をクリックします。

リサイクル

Lexmark は、リサイクルを目的とする回収プログラムや環境関連の先進的な取り組みを進めています。詳細については、次を参照してください。

- 通知事項の章
- 環境維持に関する Lexmark の Web サイト(**www.lexmark.com/environment**)
- Lexmark のリサイクルプログラム(**www.lexmark.com/recycle**)

Lexmark 製品をリサイクルする

リサイクルを目的として Lexmark 製品を返却するには、以下の手順に従ってください

1 **www.lexmark.com/recycle** にアクセスします。

2 リサイクル製品の種類を見つけて、お住まいの国または地域をリストから選択します。

3 画面の指示に従います。

メモ: Lexmark の回収プログラムの対象に含まれていないプリンタの消耗品やハードウェアは、お客様の最寄りのリサイクルセンターでリサイクルできる場合があります。最寄りのリサイクルセンターに問い合わせて、受け入れ可能な品目を確認してください。

Lexmark 製品の梱包材をリサイクルする

Lexmark は梱包材を最小限に抑えるよう絶えず努力しています。より少ない梱包材により、Lexmark プリンタは最も効率的で、かつ環境に配慮した方法で輸送され、梱包材の廃棄量の削減に貢献しています。これらの努力は、温室効果ガスのより少ない排出、省エネルギー、天然資源の節約をもたらします。

Lexmark のダンボール箱は、再生利用する施設がある地域ではすべてリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark の梱包材に使用されている発泡スチロールは、再生利用する施設がある地域ではリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark にカートリッジを返却する際には、配達時に梱包されていたダンボール箱を再利用できます。Lexmark はダンボール箱をリサイクルします。

再利用やリサイクルを目的として Lexmark カートリッジを返却する

Lexmark カートリッジ回収プログラムでは、再利用やリサイクルを目的として、お客様が Lexmark に使用済みカートリッジを返却するプロセスを簡素化して無料化することで、年間に数百万個ものカートリッジが廃棄されることなく転用されています。Lexmark に返却された使用済みカートリッジは必ずリサイクル用に再利用されるか、別の製品に転用されます。カートリッジの返却に使用されたダンボール箱もリサイクルされます。

再利用またはリサイクルを目的として Lexmark カートリッジを返却するには、プリンタまたはカートリッジに同梱されている説明書に従い、料金元払いの発送用ラベルを使用してください。また、以下の方法もあります。

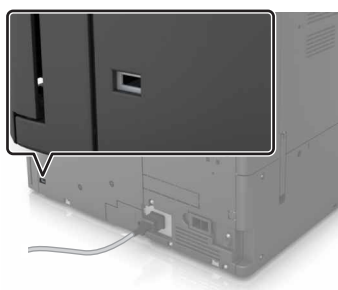
1 **www.lexmark.com/recycle** にアクセスします。

2 [トナーカートリッジ] セクションから、お住まいの国または地域を選択します。

3 画面の指示に従います。

プリンタを保護する

セキュリティロック機能を使用する

プリンタにはセキュリティロック機能が搭載されています。大半のノート型パソコンと互換性のあるロックを取り付けると、プリンタはロックされた状態になります。ロック状態の場合、コントローラボードのシールドとコントローラボードを取り外すことはできません。プリンタの該当する場所にセキュリティロックを取り付けてください。

揮発性に関する記述

本機には、デバイスおよびネットワーク設定、ならびにユーザーデータを格納できるさまざまなタイプのメモリが搭載されています。

メモリのタイプ	説明
揮発性メモリ	本機では、単純な印刷・コピージョブ時にユーザーのデータを一時的にバッファに格納する標準的なランダムアクセスメモリ（RAM）を使用しています。
不揮発性メモリ	本機には、2 つの形態の不揮発性メモリが使用されています。EEPROM および NAND（フラッシュメモリ）の 2 つの形態の不揮発性メモリが使用されています。両タイプ共、オペレーティングシステムやデバイスの設定、ネットワーク情報、スキャナやブックマークの設定、内蔵ソリューションの保存に使用されます。
ハードディスクメモリ	一部のデバイスには、ハードディスクドライブが搭載されています。プリンタのハードディスクは、各デバイス固有の機能に対応するように設計されています。これにより、複雑な印刷ジョブでバッファに保存されたユーザーデータ、用紙データ、フォントデータを保持できます。

次の状況では、取り付けられたプリンタメモリの内容を消去してください。

- プリンタの稼働を中止する
- プリンタのハードドライブを交換する
- プリンタを別の部門または場所に移動する
- 外部の業者によりプリンタが修理される
- プリンタが修理のために社外に搬送される
- プリンタが別の会社に売却される

ハードドライブの廃棄

メモ: すべてのプリンタにハードディスクが搭載されているわけではありません。

高セキュリティ環境では、プリンタまたはそのハードディスクが社外に搬出された際にプリンタハードディスクに保存されている機密データに不正にアクセスされることがないように、さらなる措置を講じることが必要になります。

- **消磁** – 磁場を使用してハードドライブをフラッシュし、保存されているデータを消去する
- **破砕** – ハードディスクを物理的に圧縮して構成部品を破壊し、読み取りを不可能にする
- **裁断** – ハードディスクが小さな金属片になるまで物理的に切断する

メモ: 大部分のデータは電子的に消去できますが、すべてのデータの完全な消去を保証する唯一の方法は、各記憶装置を完全に破壊することです。

揮発性メモリを消去する

プリンタに搭載されている揮発性メモリ(RAM)で情報を保持するには、電源供給が必要です。プリンタの電源を切るだけで、バッファに格納されているデータを消去できます。

不揮発性メモリを消去する

以下の手順に従って、個々の設定、デバイスおよびネットワークの設定、セキュリティ設定、埋め込みソリューションを消去します。

1 プリンタの電源を切ります。

2 操作パネルで、**2** と **6** を押しながらプリンタの電源を入れます。進行状況バーの画面が表示されたら、ボタンを放します。

3 [構成設定メニュー]から、次のメニューを選択します。

[**出荷時標準設定に復元**] > [**プリンタのメモリを消去**] > [**はい**]

この処理の実行中、プリンタは複数回再起動します。

4 [**戻る**]をタッチして、[構成設定メニュー]を終了します。

メモ: プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタハードディスクメモリを消去する

1 プリンタの電源を切ります。

2 操作パネルで、**2** と **6** を押しながらプリンタの電源を入れます。進行状況バーの画面が表示されたら、ボタンを放します。

3 [構成設定メニュー]から、次のメニューを選択します。

[**出荷時標準設定に復元**] > [**ハードディスクを消去**] > ハードディスクメモリの消去方法を選択 > [**はい**]

メモ: このプロセスには、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

4 [**戻る**]をタッチして、[構成設定メニュー]を終了します。

メモ: プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタハードディスクの暗号化を設定する

ハードディスクの暗号化を有効にすると、プリンタまたはハードディスクの盗難の際に機密データの喪失を防ぐことができます。

メモ: すべてのプリンタにハードディスクが搭載されているわけではありません。

1 プリンタの電源を切ります。

2 操作パネルで、**2** と **6** を押しながらプリンタの電源を入れます。進行状況バーの画面が表示されたら、ボタンを放します。

3 [**ディスク暗号化**] > [**有効**]をタッチします。

メモ: ディスク暗号化を有効にすると、ハードディスクの内容が消去されます。

4 ディスクの消去を開始するには、**[はい]**を押します。

メモ:

- 暗号化処理中はプリンタの電源を切らないでください。データの損失につながることがあります。
- ディスク暗号化には、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。
- ステータスバーにはディスクワイプタスクの進行状況が表示されます。ディスクが暗号化されると、プリンタは[有効化/無効化]画面に戻ります。

5 [**戻る**]をタッチして、[構成設定メニュー]を終了します。

メモ: プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタのセキュリティに関する情報を参照する

高いセキュリティが求められる環境では、プリンタに保存されている機密情報が未承認のユーザーによってアクセスされることがないようにするため、追加の手順を行う必要がある場合があります。詳細については、**Lexmark security Web page** に移動するか、内蔵 Web サーバー - セキュリティ: 『管理者ガイド』を参照してください。**http://support.lexmark.com** で入手できます。

プリンタのメンテナンス

警告!破損の恐れあり: 最適なプリンタのパフォーマンスを維持できない場合や、部品や消耗品を交換できない場合は、プリンタの損傷が生じるおそれがあります。

プリンタ部品の清掃

プリンタを清掃する

メモ: この作業は場合によって数か月ごとに実施する必要があります。

警告!破損の恐れあり: 不適切な取り扱いによるプリンタへの損傷は保証の対象外です。

1. プリンタの電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜いたことを確認します。

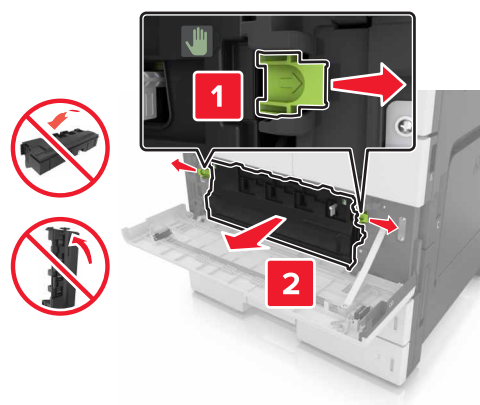
   危険!感電の恐れあり: 感電の危険を避けるため、プリンタの外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。

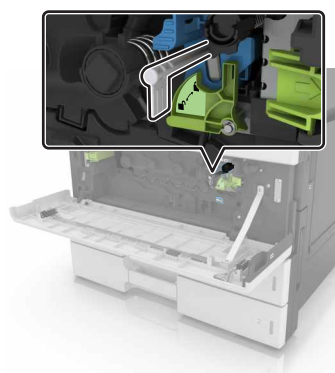
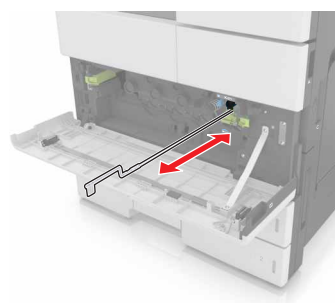
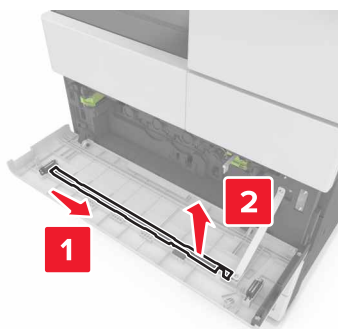
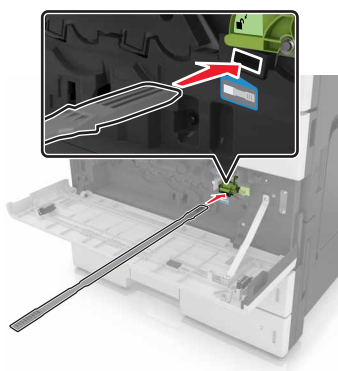
2. 標準排紙トレイと多目的フィーダーから用紙を取り除きます。
3. 柔らかいブラシまたは掃除機を使用して、プリンタの周囲のほこり、糸くず、紙片を除去します。
4. 清潔で糸くずの出ない布を水で湿らせ、プリンタの表面を拭きます。

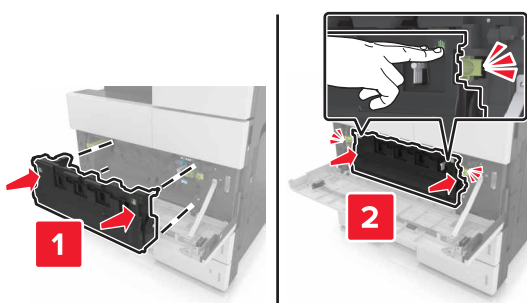
   警告!破損の恐れあり: 家庭用の洗剤や溶剤を使わないでください。プリンタの外装に傷が付くことがあります。

5. 新しい印刷ジョブを送信する前に、プリンタのすべての部分が乾いていることを確認してください。

チャージャーおよびプリントヘッドレンズを清掃する

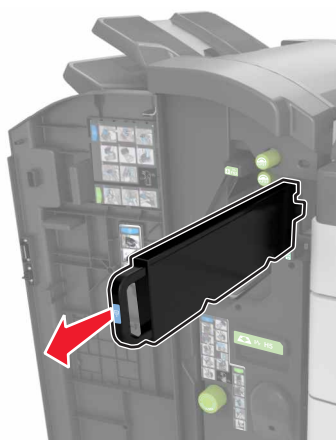
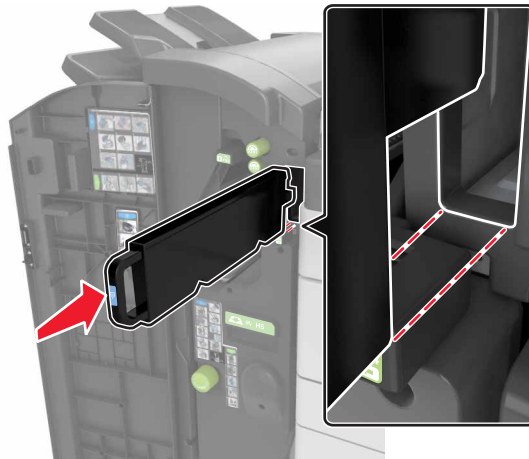
1. 正面下部のドアを開きます。

2 廃トナーボトルを取り外します。

3 白いタブを探します。

4 タブが停止するまで引き、ゆっくりと元の位置に戻します。3 回繰り返します。

5 印刷ヘッドワイパーを取り外します。

6 停止するまでワイパーを穴に挿入して、引き出します。3 回繰り返します。

7 ワイパーを穴に戻します。

8 廃トナーボトルを取り付けなおします。

9 正面下部のドアを閉じます。

ホールパンチボックスを空にする

1 ドア H を開きます。

2 ホールパンチボックスを取り外して空にします。

3 ホールパンチボックスを再び取り付けます。

4 ドア H を閉じます。

部品と消耗品の状況を確認する

消耗品の交換が必要な場合、またはメンテナンスが必要な場合は、プリンタディスプレイにメッセージが表示されます。

プリンタコントロールパネルから部品と消耗品の状況を確認する

[ホーム]画面から、**[状況/消耗品]** > **[消耗品を表示]**をタッチします。

内蔵 Web サーバーから部品と消耗品の状況を確認する

メモ: コンピュータとプリンタが同じネットワークに接続していることを確認します。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 **[デバイス状況]** > [**詳細**]の順にクリックします。

残りのインクで印刷できるおよそのページ数

残りのインクで印刷できるおよそのページ数は、プリンタの最新の印刷履歴に基づいて計算されます。その正確性は、実際のドキュメントの内容、印刷品質の設定、およびその他のプリンタ設定など、多数の要素によって大きく変わります。

残りのインクで印刷できるおよそのページ数は、実際のインク消費量がこれまでの消費量よりも多い場合に少なくなることがあります。この推定値に基づいて消耗品を購入または交換する前に、正確性が変動することを考慮してください。プリンタで十分な印刷履歴が取得されるまでは、国際標準化機構* のテスト方法およびページ内容に基づいて消耗品の消費量を予測します。

* ブラックカートリッジで連続印刷した場合の平均値です。公表値は ISO/IEC 19752 に準拠しています。

消耗品を注文する

米国内で部品や消耗品を注文する場合は、お住まいの地域の Lexmark 認定消耗品販売店について、1-800-539-6275 までお電話でお問い合わせください。その他の国または地域の場合、Web サイト（**www.lexmark.com**）にアクセスするか、プリンタの販売店にお問い合わせください。

Lexmark の純正部品と消耗品を使用する

Lexmark プリンタは純正の Lexmark 消耗品と部品を使用したときに最高の効果を発揮するように設計されています。他社の消耗品または部品を使用すると、プリンタおよびイメージングコンポーネントの性能、信頼性、寿命に影響するおそれがあります。他社の消耗品や部品を使用すると、保証範囲に影響する可能性があります。他社の消耗品や部品を使用したことに起因する損傷には、保証が適用されません。すべての寿命インジケータは、Lexmark 消耗品と部品に対して機能するように設計されていますが、他社の消耗品や部品を使用した場合は予期しない結果が生じる可能性があります。意図された耐用期間後もイメージングコンポーネントを使用し続けると、Lexmark プリンタまたは関連するコンポーネントに損傷を引き起こすおそれがあります。

トナーカートリッジを注文する

メモ:

- 推定カートリッジ出力は、ISO/IEC 19752 規格に基づいています。
- 極端に低い印刷比率で長時間印刷すると、実際の印刷数に悪影響を与える可能性があります。

部品名	部品番号
大容量トナーカートリッジ	54G0H00

感光体ユニットを注文する

極端に低い印刷比率で長時間印刷すると、トナーがなくなる前に感光体ユニットが損傷する原因になります。

項目	部品番号
感光体	54G0P00

廃トナーボトルを注文する

項目	部品番号
廃トナーボトル	54G0W00

ステープルカートリッジを注文する

項目	部品番号
ステープルカートリッジ	25A0013

300 K 保守キットを注文する

メモ: 保守キットに含まれている部品を交換するには、各部品に付属の説明書類を参照してください。

項目	部品番号
保守キット	40X9669

部品と消耗品を保管する

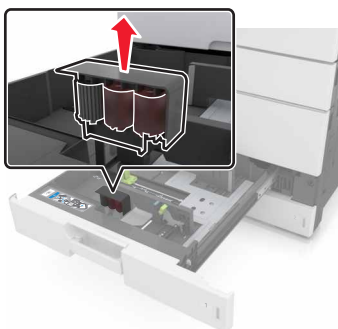
消耗品の保管

プリンタの消耗品は、清潔で涼しい場所に保管する必要があります。また、使用するまでは梱包から出さずに正しい面を上にして保管してください。

以下の環境は避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- 気温が 35℃(95°F)以上の場所
- 湿度が 80% 以上の場所
- 潮風の当たる場所
- 有害ガスが当たる場所
- ほこりの多い場所

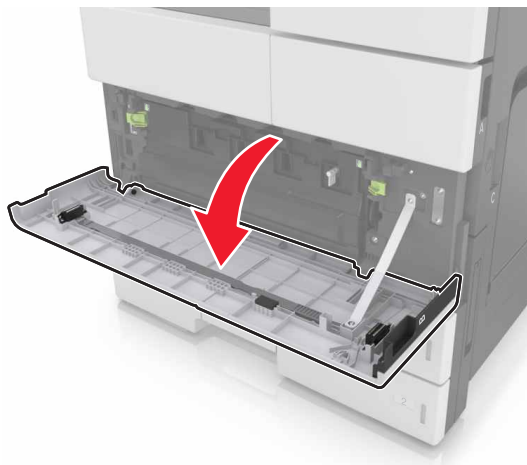
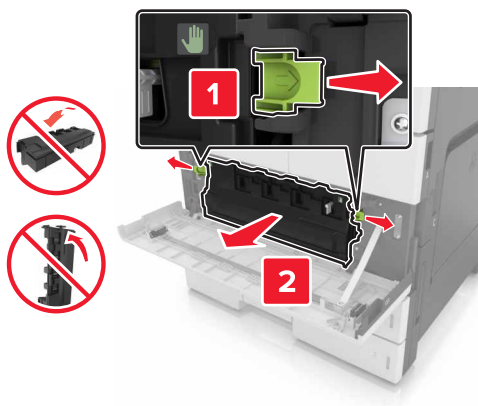
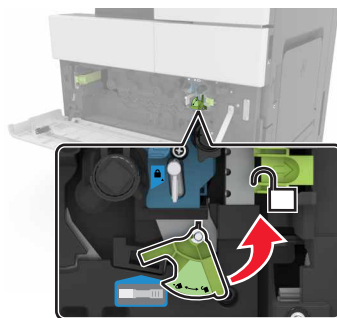
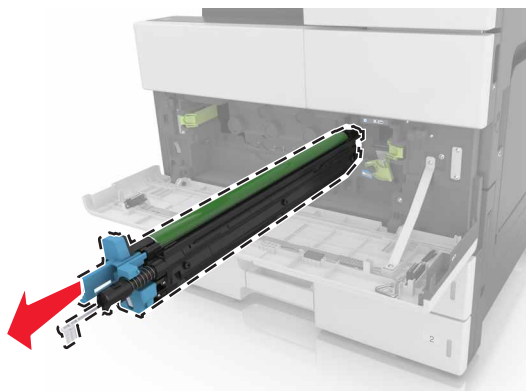
ローラーを保管する

プリンタには交換ローラーが付属しており、標準トレイ内のコンパートメントに保管されています。新しいローラーを購入したら、必ずトレイ内のコンパートメントに保管してください。

メモ: 部品や消耗品の適切な廃棄については、120 ページの「リサイクル」を参照してください。

消耗品を交換する

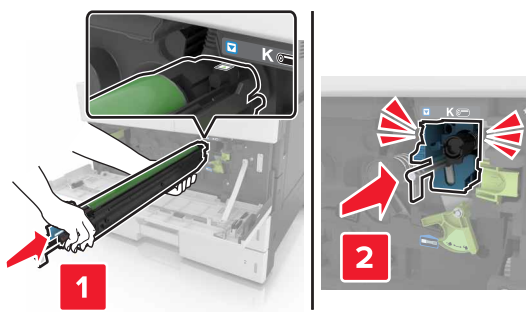
廃トナーボトルからトナーが漏れないように、向きを変えないようにしてください。

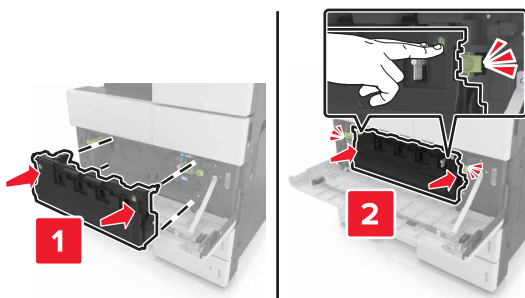
感光体ユニットを交換する

1 正面下部のドアを開きます。

2 廃トナーボトルを取り外します。

3 感光体ユニットのロックを解除します。

4 感光体ユニットを取り外します。

5 新しい感光体ユニットを梱包から取り出します。

警告！破損の恐れあり: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

警告！破損の恐れあり: 感光体ドラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。

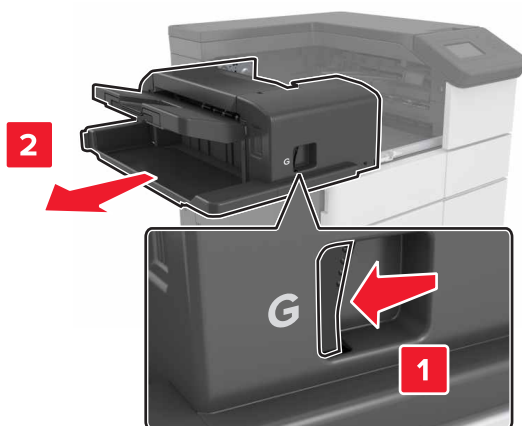
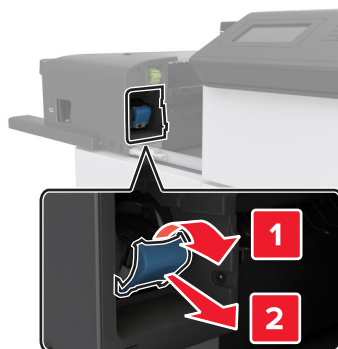
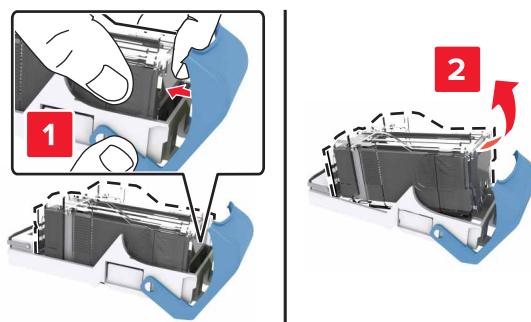
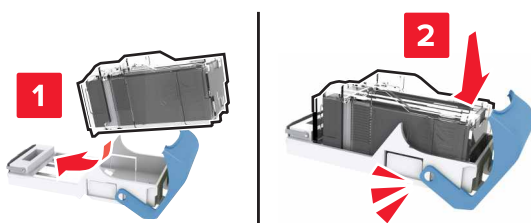
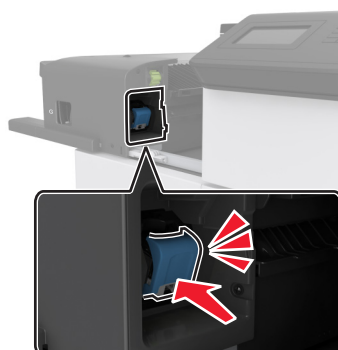
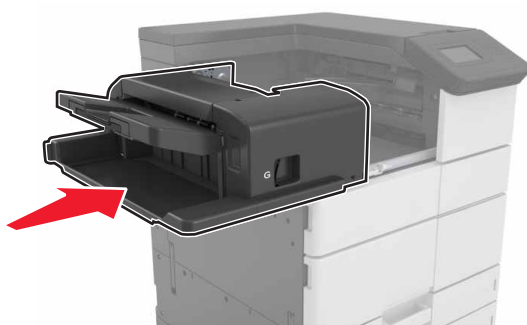
6 感光体ユニットを取り付けます。

7 感光体ユニットをロックします。

8 廃トナーボトルを取り付けなおします。

9 正面下部のドアを閉じます。

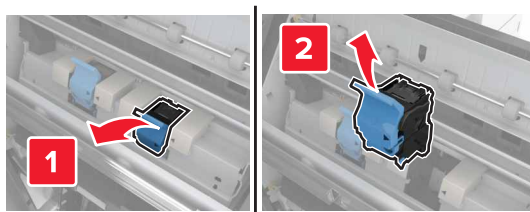
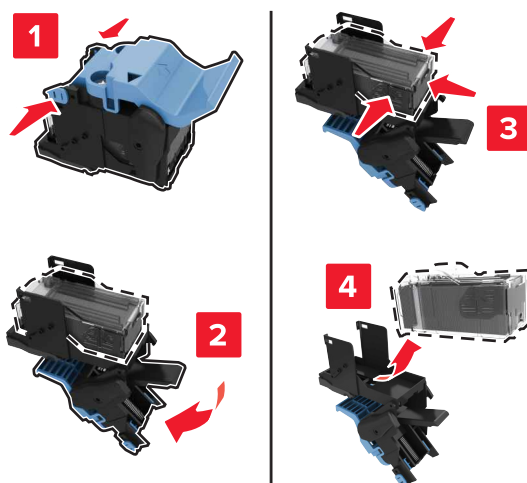
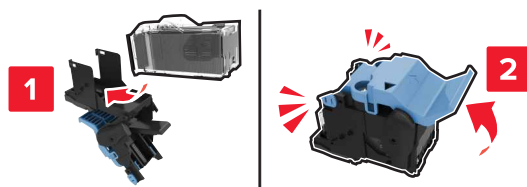
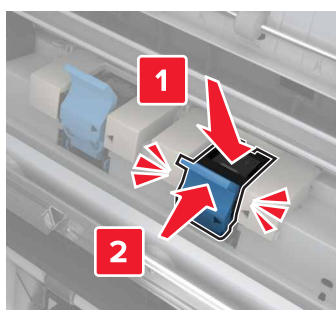
ステープルカートリッジを交換する

ステープルフィニッシャーのステープルカートリッジを交換する

メモ: ステープルフィニッシャーは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。

1 ステープルフィニッシャーのラッチを押して、フィニッシャーを左側にスライドさせます。

2 ステープルカートリッジホルダーを取り外します。

3 空のステープルカートリッジをカートリッジホルダーから取り外します。

4 新しいカートリッジをカートリッジホルダーに差し込みます。

5 所定の位置でカチッという音がするまで、カートリッジホルダーをフィニッシャーに押し込みます。

6 フィニッシャーを元の位置にスライドさせます。

ブックレットフィニッシャーのステープルカートリッジを交換する

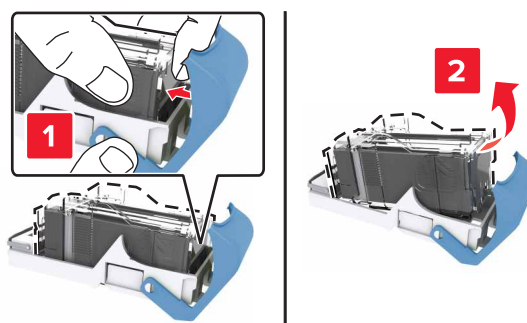
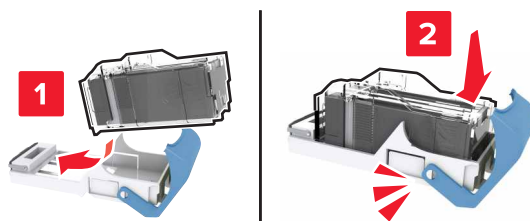
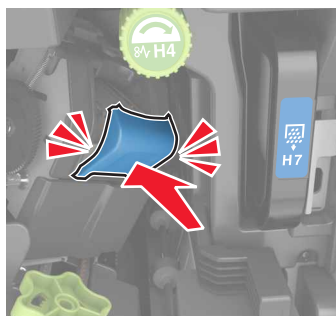
1 ドア H を開き、ブックレットメーカーを引き出します。

2 ステープルカートリッジホルダーを取り外します。

3 空のステープルカートリッジをカートリッジホルダーから取り外します。

4 新しいカートリッジをカートリッジホルダーに差し込みます。

5 所定の位置でカチッという音がするまで、カートリッジホルダーをブックレットメーカーに押し込みます。

6 ブックレットメーカーを元の位置に戻し、ドアを閉じます。

ステープル、ホールパンチフィニッシャーのステープルカートリッジを交換する

1 ドア H を開きます。

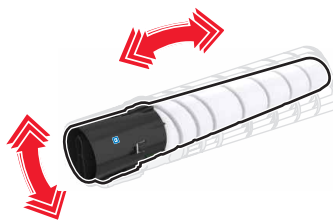
2 ステープルカートリッジホルダーを取り外します。

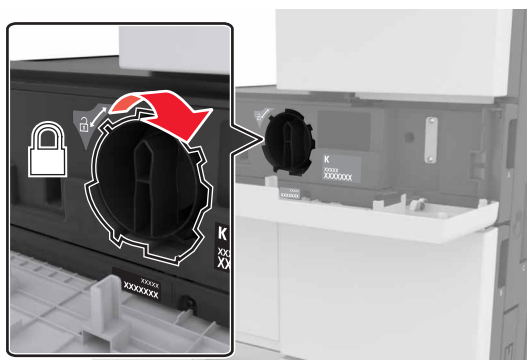
3 空のステープルカートリッジをカートリッジホルダーから取り外します。

4 新しいカートリッジをカートリッジホルダーに差し込みます。

5 所定の位置でカチッという音がするまで、カートリッジホルダーをフィニッシャーに押し込みます。

6 ドア H を閉じます。

トナーカートリッジを交換する

1 上部の前面ドアを開きます。

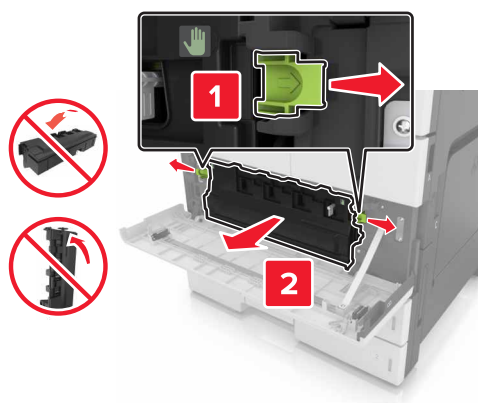
2 トナーカートリッジを反時計回りに回して、引き出します。

3 新しいトナーカートリッジを梱包から取り出し、梱包材を取り外します。カートリッジをよく振って、トナーの偏りをなくします。

4 トナーカートリッジをプリンタに挿入します。

5 カートリッジを右方向に回して固定します。

6 上部の前面ドアを閉じます。

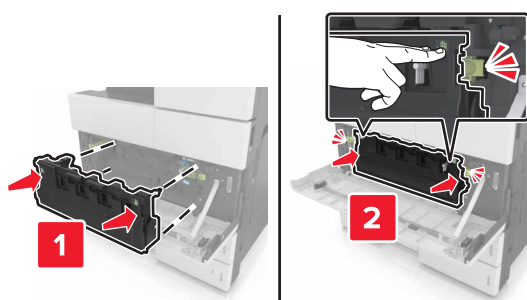
7 チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。詳細については、125 ページの「チャージャーおよびプリントヘッドレンズを清掃する」を参照してください。

廃トナーボトルを交換する

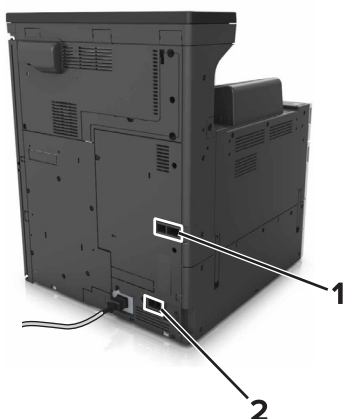
1 正面下部のドアを開きます。

2 廃トナーボトルを取り外します。

3 チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。詳細については、125 ページの「チャージャーおよびプリントヘッドレンズを清掃する」の手順 3 ～ 7 を参照してください。

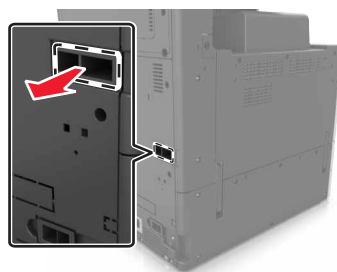
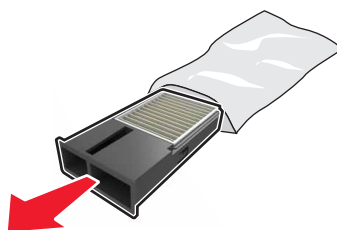
4 新しい廃トナーボトルの梱包を取り外します。

5 新しい廃トナーボトルを「カチッ」と音がするまでプリンタに挿入します。

6 正面下部のドアを閉じます。

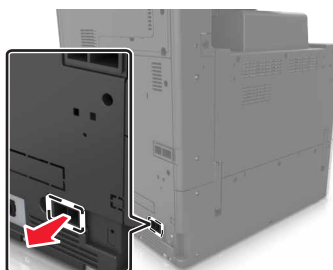
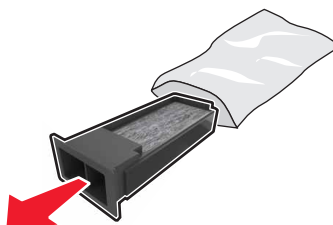
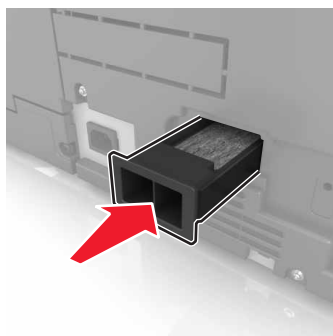
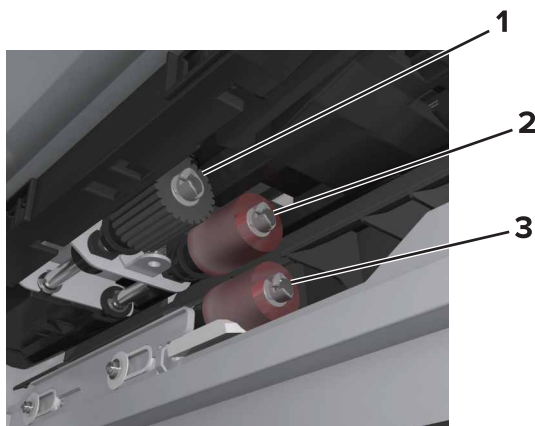
300K メンテナンスキットを交換する

排気フィルタとオゾンフィルタを交換する

1	排気フィルタ
2	オゾンフィルタ

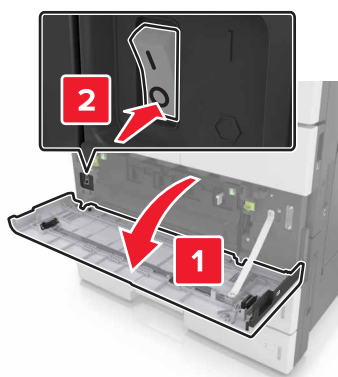
排気フィルタを交換する

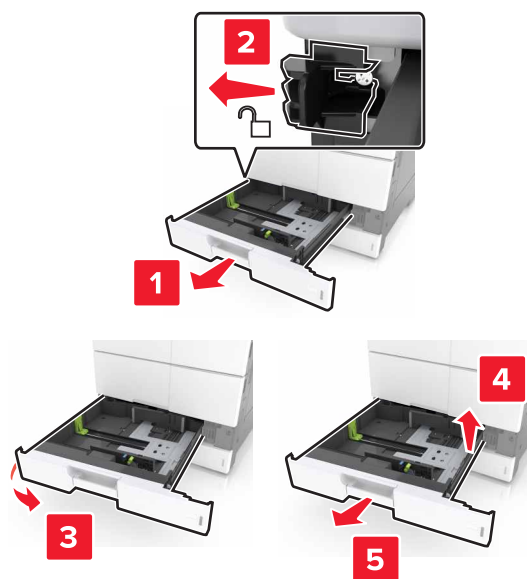
1 排気フィルタを引き出します。

2 新しい排気フィルタを梱包から取り出します。

3 新しいフィルタを挿入します。

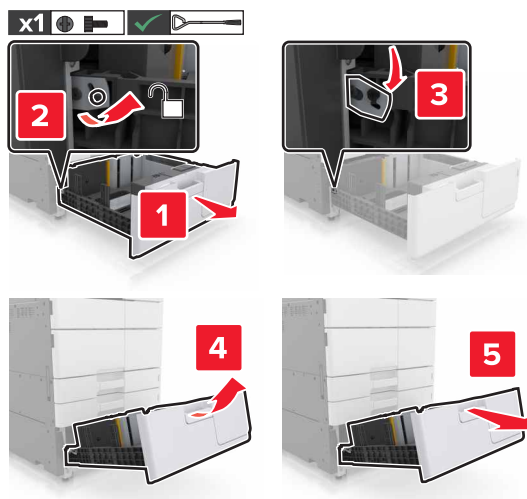
オゾンフィルタを交換する

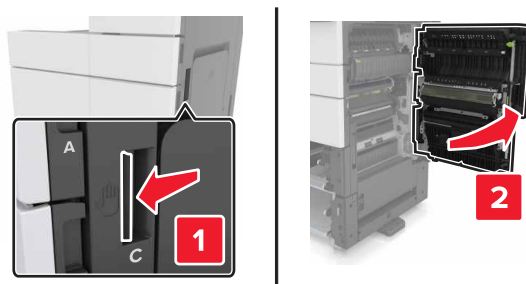
1 オゾンフィルタを引き出します。

2 新しいオゾンフィルタを梱包から取り出します。

3 新しいフィルタを挿入します。

ピックローラー、給紙ローラー、セパレータを交換する

1	ピックローラー
2	給紙ローラー
3	セパレータ

メモ: 標準トレイ内部のコンパートメントに格納されているローラーを使用できます。詳細については、131 ページの「ローラーを保管する」を参照してください。

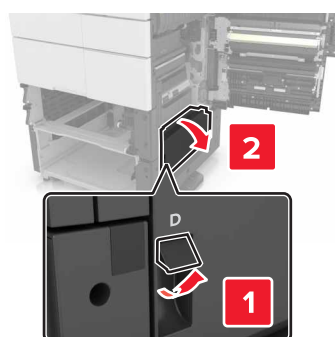
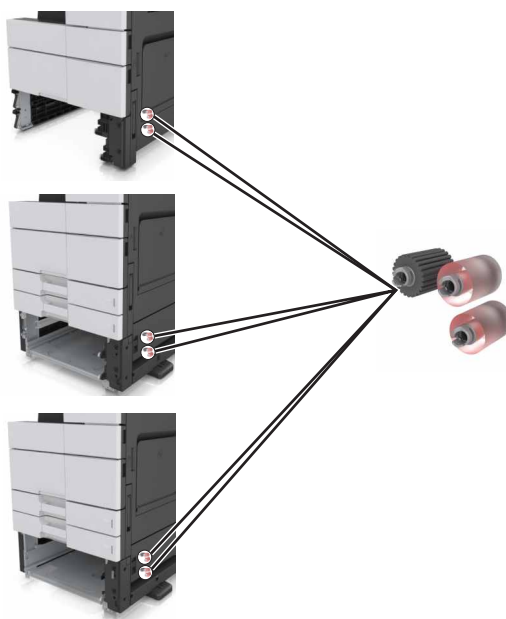
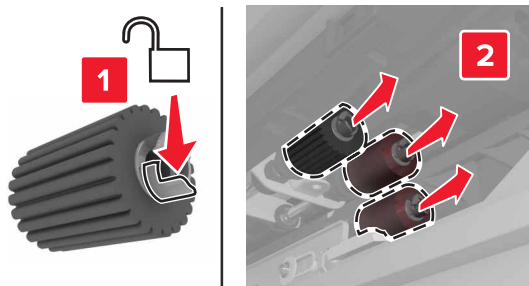
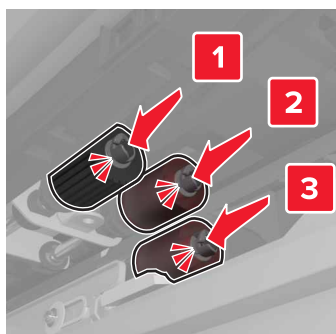
1 プリンタの電源を切ります。

2 すべてのトレイを取り外します。

- 標準トレイ

- オプション 2 x 500 枚トレイまたは 2500 枚トレイ

  メモ: オプション 2 x 500 枚トレイを取り外すには、標準トレイを取り外す手順に従います。

3 ドア C を開きます。プリンタに接続されているケーブルに当たっていないことを確認します。

メモ: 3000 枚トレイを取り付けている場合は、トレイを引き出してドアを開きます。

4 ドア D を開きます。

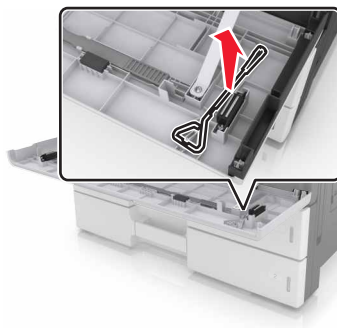
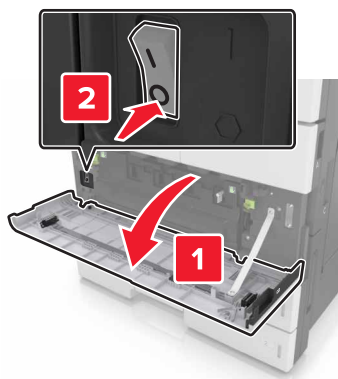
メモ:

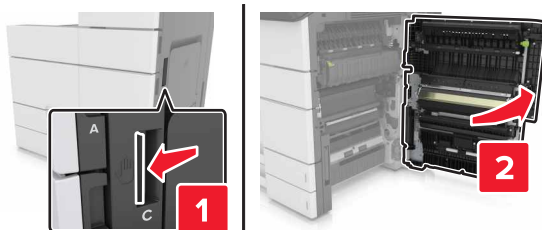
- ドア D は、オプション 2 x 500 枚トレイまたは 2500 枚トレイを取り付けている場合にのみ開くことができます。
- 3000 枚トレイを取り付けている場合は、トレイを引き出してドアを開きます。

5 ローラーを探します。

6 ローラーを取り外します。

7 所定の場所でカチッと音がするまで、新しいローラーを挿入します。

メモ: ローラーが正しい位置に挿入されていることを確認します。

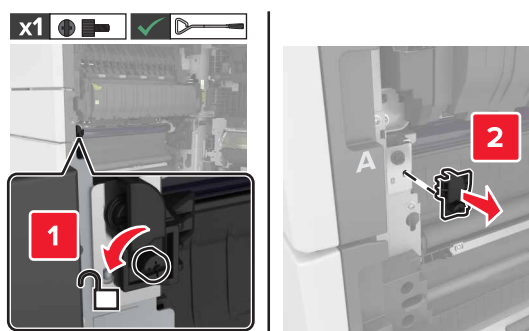
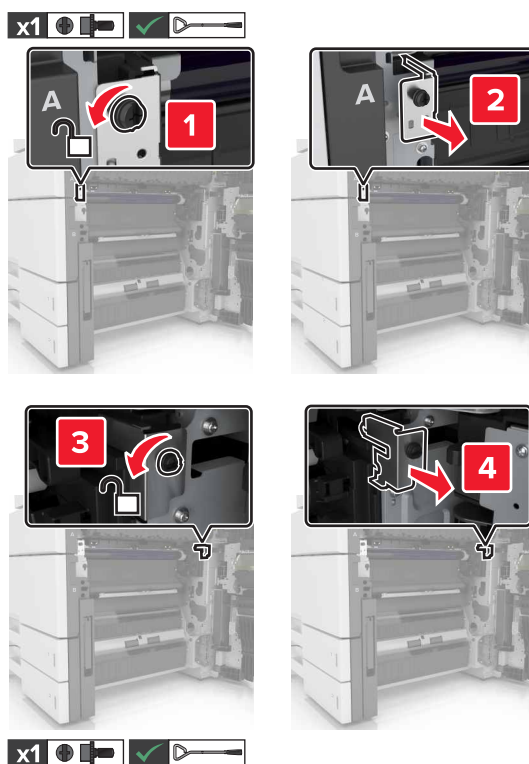
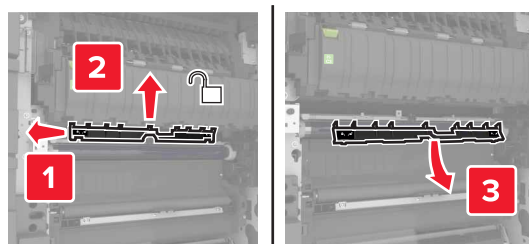
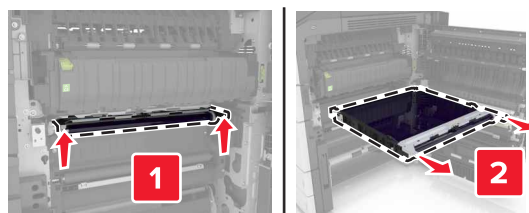
8 ドア C および D を閉じます。

9 トレイを挿入します。

転写モジュールを交換する

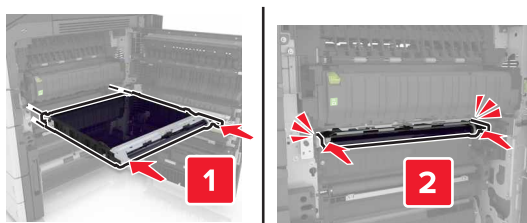
メモ: プリンタ正面下部のドア内にあるドライバを使用します。

1 プリンタの電源を切ります。

2 ドア C を開きます。プリンタに接続されているケーブルに当たっていないことを確認します。

⚠ **危険！表面は高温です**: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

メモ: 3000 枚トレイが取り付けられている場合、トレイを右側にスライドしてドアを開きます。

3 ドアのストッパーを外します。

4 転写モジュールのロックのネジを緩めます。

5 用紙ガイドを取り外します。

6 ハンドルを使用して転写モジュールを持ち上げ、完全に引き出します。

7 新しい転写モジュールを梱包から取り出します。

警告!破損の恐れあり: 転写ベルトを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

警告！破損の恐れあり: 転写ベルトには手を触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。

8 新しい転写モジュールを所定の位置でカチッという音がするまで挿入します。

9 用紙ガイドを元の位置に戻します。

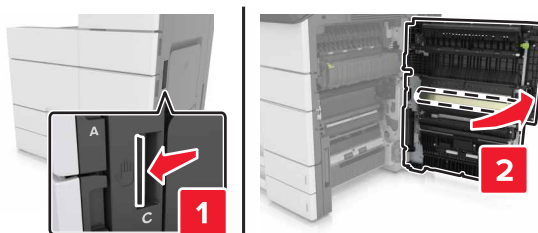
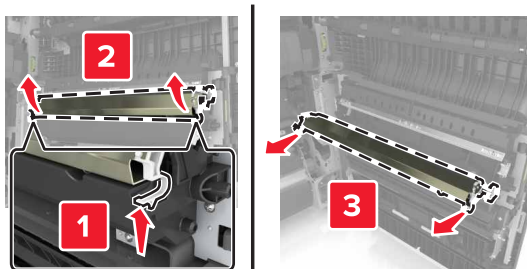
10 転写モジュールのロックのネジを締めます。

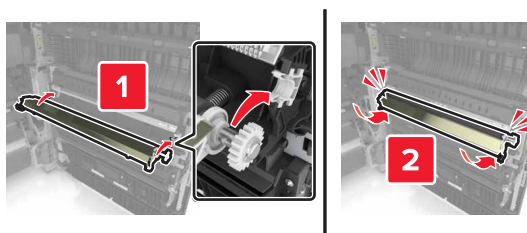
11 ドアのストッパーを再度取り付けます。

12 ドア C を閉じます。

転写ローラーを交換する

1 ドア C を開きます。プリンタに接続されているケーブルに当たっていないことを確認します。

メモ: 3000 枚トレイが取り付けられている場合、トレイを右側にスライドしてドアを開きます。

2 転写ローラーを引き出します。

3 新しい転写ローラーを梱包から取り出します。

4 新しい転写ローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。

5 ドア C を閉じます。

保守カウンタをリセットする

1 プリンタの電源を切ります。

2 操作パネルで、**2** と **6** を押しながらプリンタの電源を入れます。進行状況バーの画面が表示されたら、ボタンを放します。

3 [構成設定メニュー]から、次のメニューを選択します。

[**保守カウンタをリセット**] > [**300K 保守キットをリセット**]

4 [**戻る**]をタッチして、[構成設定メニュー]を終了します。

メモ: プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタを移動する

⚠ **危険！ケガの恐れあり**: プリンタの重量は 18 kg（40 ポンド）以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

プリンタを移動する前に

⚠ **危険！ケガの恐れあり**: プリンタを移動する前に、ケガやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- プリンタの電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜きます。
- プリンタからコードやケーブル類をすべて外します。
- プリンタにキャスタベースがなく、オプションのトレイが装着されている場合は、このトレイを取り外します。
- プリンタの両側にある持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
- また、プリンタを下ろすときは指がプリンタの下に挟まれないように注意してください。
- プリンタの周囲に十分なスペースをとってください。
- 本製品に付属する、または製造元が代替品として認可した電源ケーブルのみを使用してください。

警告！破損の恐れあり: 不適切な移動により生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

プリンタを別の場所に移動する

プリンタやハードウェアオプションを別の場所に安全に移動するため、次の点に注意してください。

- プリンタの移動には、プリンタの底がはみ出さない大きさの台車を使用してください。
- ハードウェアオプションの移動に台車を使用する場合は、ハードウェアオプション全体を載せられる台車を使用してください。
- プリンタは直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。

プリンタの輸送

プリンタを輸送する際は、元の梱包材を使用してください。

プリンタを管理する

仮想ディスプレイを確認する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 画面の左上隅に表示される仮想ディスプレイを確認します。

仮想ディスプレイは、プリンタのコントロールパネルで動作する実際のディスプレイと同様に動作し、プリンタのメッセージを表示します。

レポートを表示する

内蔵 Web サーバーから一部のレポートを表示できます。これらのレポートは、プリンタ、ネットワーク、および消耗品の状態を評価する際に便利です。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [**レポート**]をクリックしてから、表示するレポートのタイプをクリックします。

他のプリンタに設定をコピーする

メモ: この機能は、ネットワークプリンタでのみ使用できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のようなピリオドで区切られた 4 つの数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、Web ページを正しく読み込むために、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2 [**プリンタ設定をコピー**]をクリックします。

3 言語を変更するには、ドロップダウンリストから言語を選択し、[**言語を送信するには、ここをクリック**]をクリックします。

4 [**プリンタ設定**]をクリックします。

5 適切なフィールドにソースプリンタおよび対象プリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: 対象プリンタを追加または削除する場合は、[**ターゲット IP を追加**]または[**ターゲット IP を削除**]をクリックします。

6 [**プリンタ設定をコピー**]をクリックします。

内蔵 Web サーバーから消耗品の通知を設定する

選択可能アラートを設定することで、消耗品がほぼ残り僅か、残り僅か、寿命近く、寿命になったときに、アラートを送信する方法を指定できます。

メモ: アラートを表示する消耗品残り推定量の割合は、一部の消耗品の状態に対して設定できます。

1 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。

2 [**設定**] >[**印刷設定**] >[**消耗品通知**]をクリックします。

3 ドロップダウンメニューで、次の通知オプションを選択します。

通知	説明
オフ	すべての消耗品で通常のプリンタ動作が発生します。
SNMP のみ	消耗品が所定の条件に達すると、プリンタは簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)アラートを生成します。消耗品の状態は、メニューページと状況ページに表示されます。
E メール	消耗品が所定の条件に達すると、E メールが送信されます。消耗品の状態は、メニューページと状況ページに表示されます。
警告	プリンタは警告メッセージを表示し、消耗品の状況に関する E メールを生成します。消耗品の状態に達しても、プリンタは停止しません。
継続可能停止 [1]	消耗品が所定の条件に達すると、プリンタはジョブの処理を停止します。印刷を続行するには、ユーザーがボタンを押す必要があります。
継続不能停止 [1,2]	消耗品の状態に達すると、プリンタはジョブの処理を停止します。印刷を続行するには、消耗品を交換する必要があります。
[1] 消耗品通知が有効な場合、消耗品の状態に関する E メールが送信されます。 [2] 一部の消耗品が空になると、損傷を防止するために、プリンタが停止します。	

4 [**送信**]をクリックします。

初期状態のデフォルトを復元する

参照のために現在のメニュー設定の一覧を保持したい場合は、出荷時標準設定を復元する前にメニュー設定ページを印刷します。詳細については、45 ページの「メニュー設定ページを印刷する」を参照してください。

プリンタの出荷時標準設定を復元する方法についての総合的な説明は、123 ページの「不揮発性メモリを消去する」を参照してください。

警告!破損の恐れあり: 出荷時標準設定を復元すると、ほとんどのプリンタ設定が元の出荷時の標準設定に戻ります。例外は、表示言語、カスタムサイズ、メッセージおよびネットワーク/ポート設定です。RAM に保存されているダウンロードデータはすべて削除されます。フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されているダウンロードデータには影響しません。

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 >[**設定**] >[**一般設定**] >[**出荷時標準設定**] >[**復元する**]

2 変更を適用します。

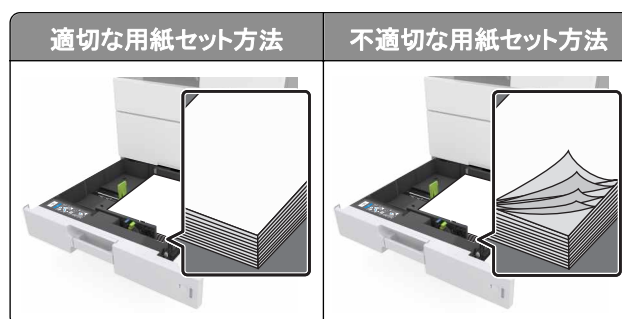
紙づまりを取り除く

注意して用紙および特殊用紙を選択し、正しくセットすることで、ほとんどの紙づまりを防止できます。紙づまりが発生した場合、本章で概説する手順に従ってください。

メモ: [紙づまり回復]は、標準設定では[自動]になっています。この設定では、印刷ジョブを保留するのに必要なメモリが他の印刷ジョブで必要とならない場合に限り、紙づまりが発生したページが再印刷されます。

紙づまりを防ぐ

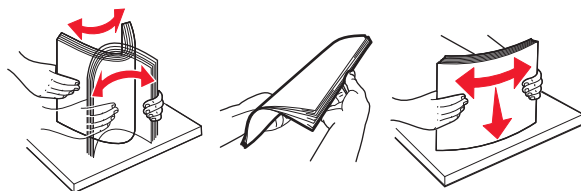
用紙を正しくセットする

- 用紙はトレイに平らに置く。

- 印刷中はトレイを取り外さない。
- 印刷中はトレイをセットしない。印刷前にトレイをセットするか、セットするよう指示が表示されるまで待ちます。
- セットする用紙の量が多すぎないようにする。用紙の高さが給紙上限マークを超えないようにしてください。
- 用紙をトレイに滑り込ませない。図のようにして用紙をセットしてください。

- トレイまたは多目的フィーダーのガイドが正しい位置にあり、用紙または封筒をきつく固定していないことを確認する。
- 用紙をセットしたらトレイをプリンタにしっかりと押し込む。

推奨された用紙を使用する

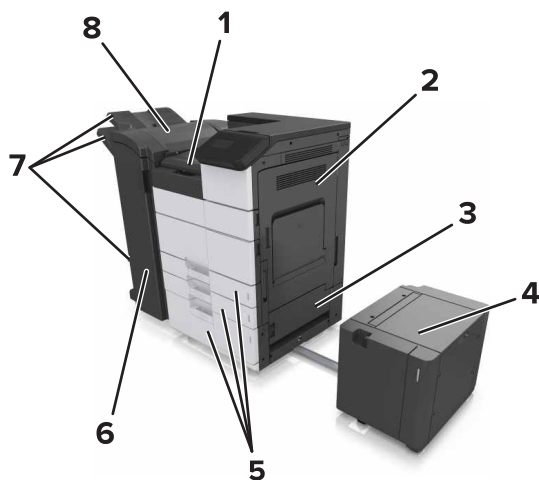
- 推奨用紙または専用紙のみを使用する。
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙はセットしない。

- ほぐしたり、パラパラめくったり、端を揃えたりしてから用紙をセットする。

- 手で切った用紙は使用しない。
- 用紙の大きさ、重さ、種類が異なる用紙を 1 つのトレイにセットしない。
- コンピュータまたはプリンタの操作パネルで、用紙の大きさと種類が正しく設定されていることを確認する。
- 製造元が推奨する方法で用紙を保管する。

紙づまりメッセージと場所を理解する

紙づまりが発生すると、プリンタのディスプレイに、紙づまりが発生した場所を示すメッセージと紙づまりを取り除く手順が表示されます。ディスプレイに示されたドア、カバー、およびトレイを開き、紙づまりを取り除きます。

メモ:

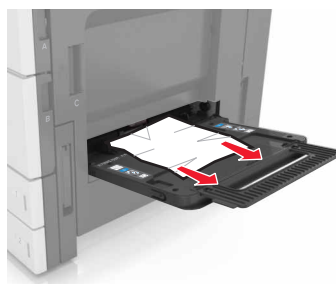
- 紙づまりアシスト機能がオンに設定されている場合、紙づまりを起こしたページが取り除かれた後、プリンタは空白ページまたは一部印刷されたページを排出します。印刷出力に空白ページがないか確認してください。
- [紙詰まり回復]が[オン]または[自動]に設定されている場合、プリンタは紙づまりが発生したページを再印刷します。ただし、[自動]に設定していると、紙づまりが発生したページは、プリンタで十分なメモリが使用可能な場合にのみ再印刷されます。

1	エリア G
2	ドア C
3	ドア D
4	ドア F
5	トレイ
6	ドア H

7	フィニッシャー排紙トレイ
8	ドア J

エリア名	操作パネルのメッセージ	対処
多目的フィーダー	[x] ページ紙づまり、つまっている用紙を多目的フィーダーから取り除きます。[200.xx]	つまっている用紙をフィーダーから取り除きます。
ドア C、トレイ	[x] ページ紙づまり、ドア C を開き、つまっている用紙をすべて取り除きます。[2yy.xx]	ドア C を開き、つまっている用紙を取り除きます。 トレイを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。
	[x] ページ紙づまり、3000 枚トレイを引き出し、ドア C を開きます。[2yy.xx]	
ドア D、トレイ	[x] ページ紙づまり、ドア D を開き、つまっている用紙をすべて取り除きます。[24y.xx]	ドア D を開き、つまっている用紙を取り除きます。 トレイを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。
	[x] ページ紙づまり、3000 枚トレイを引き出し、ドア D を開きます。[24y.xx]	
ドア C および F	[x] ページ紙づまり、3000 枚トレイを引き出し、ドア F を開きます。[24y.xx]	3000 枚トレイを引き出し、つまっている用紙をトレイの側面から取り除きます。 ドア F を開き、つまっている用紙を取り除きます。
エリア G、ドア C、J、H、フィニッシャー排紙トレイ	[x] ページ紙づまり、ドア G、H、J を開き、つまっている用紙を取り除いてください。[4yy.xx]	ドア G を開き、つまっている用紙を取り除きます。 ドア H を開き、つまっている用紙を取り除きます。
ドア C および G、フィニッシャー排紙トレイ	[x] ページ紙づまり、ラッチを押してエリア G にアクセスします。用紙を排紙トレイに残します。[40y.xx]	ホチキスフィニッシャーを左へスライドさせ、つまっている用紙を取り除きます。
エリア G、ドア C、J、H、フィニッシャー排紙トレイ	[x] ページ紙づまり、ドア H を開き、ノブ H6 を時計回りに回します。用紙を排紙トレイに残します。[426.xx–428.xx]	ドア H を開き、つまっている用紙を取り除きます。

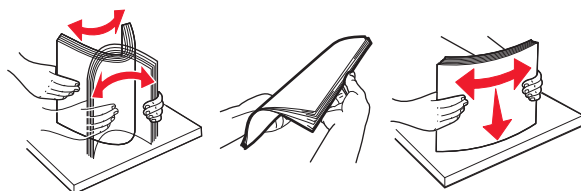
[x] ページ紙づまり、多目的フィーダーからつまった用紙を取り除いてください [200.xx]

1 多目的フィーダーからすべての用紙を取り除きます。

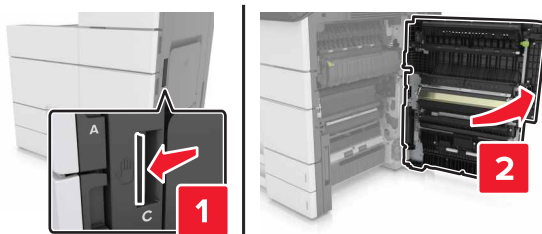
2 つまっている用紙を取り除きます。

3 ドア C を開き、紙切れを取り除きます。

メモ: ドア C がプリンタに接続されているケーブルに当たっていないことを確認します。

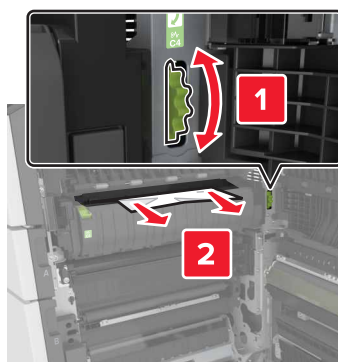
4 ドア C を閉じます。

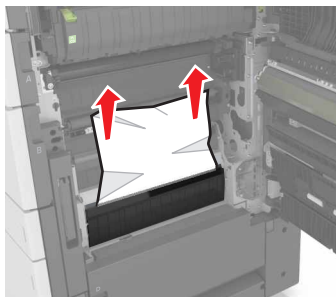
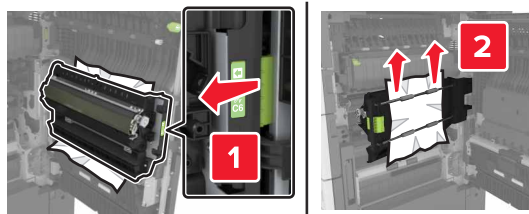
5 用紙を前後に曲げてほぐし、さばきます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端をそろえます。

6 用紙をセットし直します。

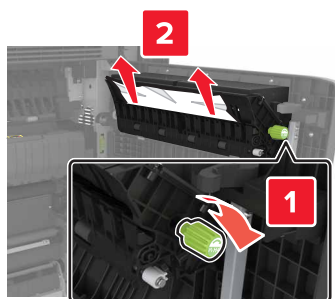
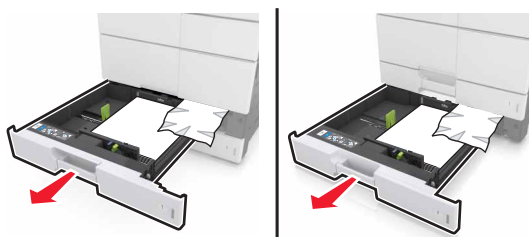
[x]ページ紙づまり。ドア C を開けて、つまった紙をすべて取り除いてください。[2yy.xx]

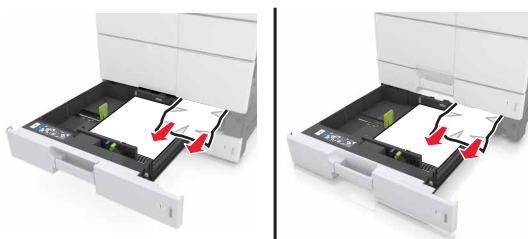
1 ドア C を開きます。プリンタに接続されているケーブルに当たっていないことを確認します。

2 つまっている用紙を次の場所から取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

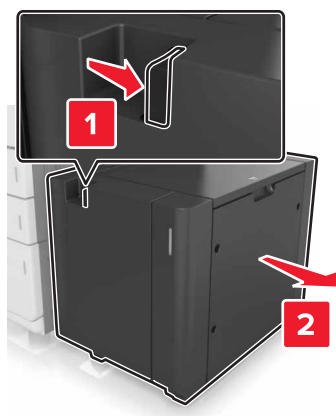
危険！表面は高温です: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

- フューザーエリア

- フューザーエリアの下部

- 両面印刷エリア

- 両面印刷エリアの上部

3 標準トレイを開き、つまっている用紙を探します。

4 つまっている用紙を取り除きます。

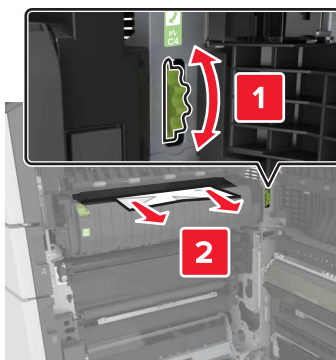
メモ： 必ずすべての紙片を取り除いてください。

5 トレイおよびドア C を閉じます。

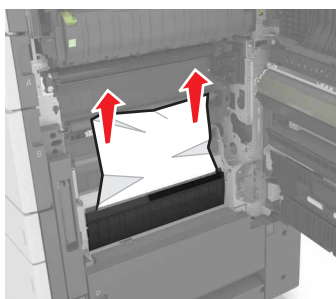
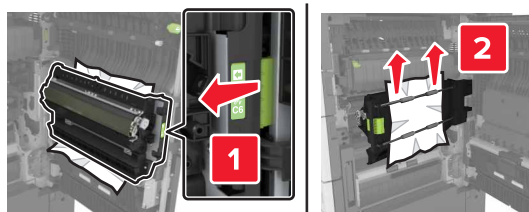
[x] ページ紙づまり、3000 枚トレイを引き出し、ドア C を開いてください。[2yy.xx]

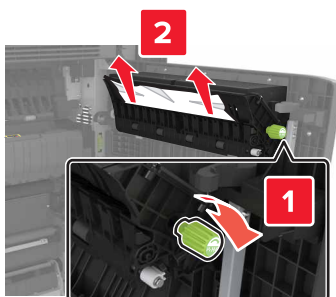
1 3000 枚トレイを引き出します。

2 ドア C を開きます。プリンタに接続されているケーブルに当たっていないことを確認します。

3 つまっている用紙を次の場所から取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

危険！表面は高温です: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

- フューザーエリア

- フューザーエリアの下部

- 両面印刷エリア

- 両面印刷エリアの上部

4 標準トレイを開き、つまっている用紙を探します。

5 つまっている用紙を取り除きます。

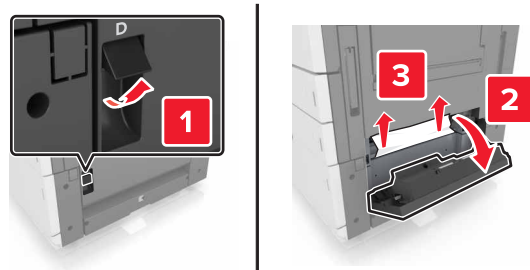
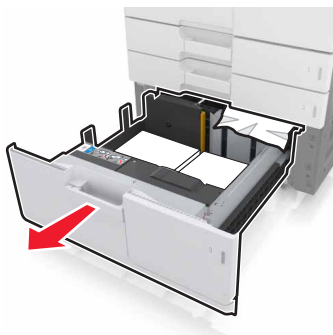
メモ： 必ずすべての紙片を取り除いてください。

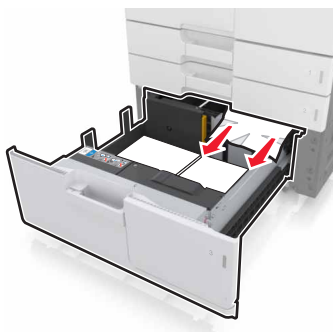
6 トレイおよびドア C を閉じます。

7 3000 枚トレイを元の位置に戻します。

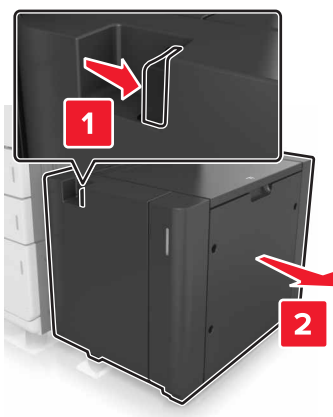
[x] ページ紙づまり、ドア D を開き、つまっている用紙をすべて取り除いてください。[24y.xx]

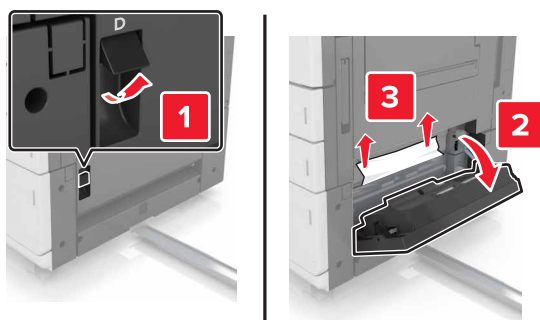
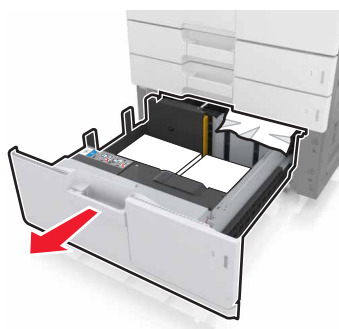
1 ドア D を開き、つまっている用紙を取り除きます。

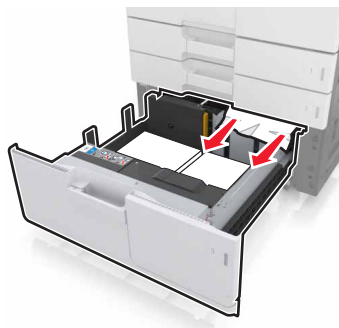
メモ： 必ずすべての紙片を取り除いてください。

2 オプショントレイを開き、つまっている用紙を探します。

3 つまっている用紙を取り除きます。

メモ： 必ずすべての紙片を取り除いてください。

4 トレイおよびドア D を閉じます。

[x] ページ紙づまり、3000 枚トレイを引き出し、ドア D を開いてください。[24y.xx]

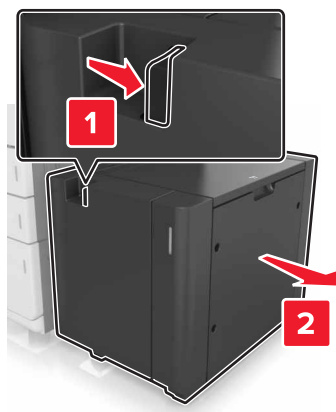
1 3000 枚トレイを引き出します。

2 ドア D を開き、つまっている用紙を取り除きます。

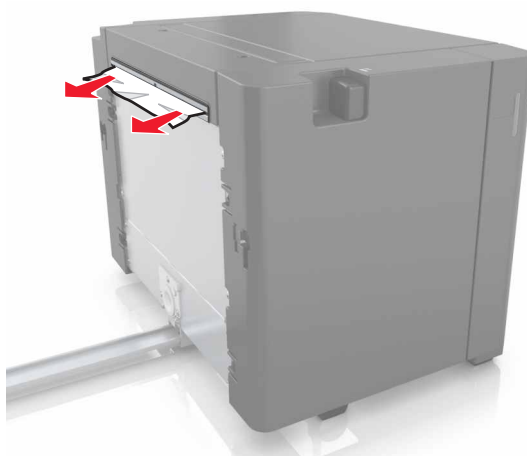
メモ： 必ずすべての紙片を取り除いてください。

3 オプショントレイを開き、つまっている用紙を探します。

4 つまっている用紙を取り除きます。

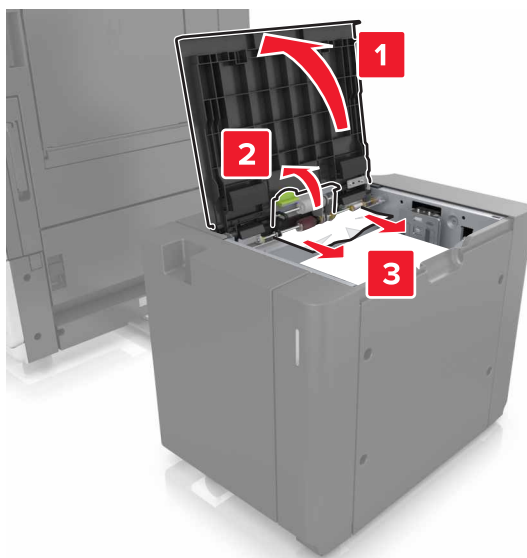
メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

5 トレイおよびドア D を閉じます。

6 3000 枚トレイを元の位置に戻します。

[x] ページ紙づまり、3000 枚トレイを引き出し、ドア F を開いてください。[24y.xx]

1 3000 枚トレイを引き出します。

2 つまっている用紙を取り除きます。

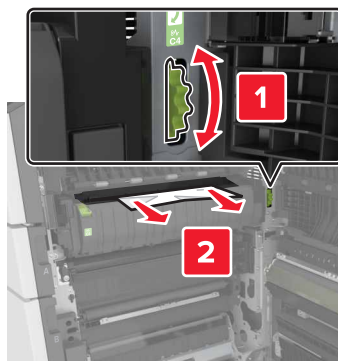
メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

3 ドア F を開き、つまっている用紙を取り除きます。

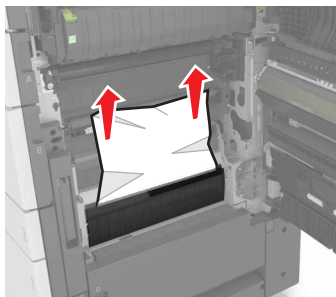
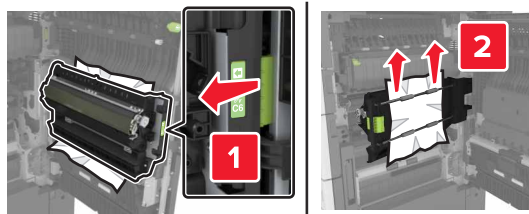
メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

4 ドア F を閉じます。

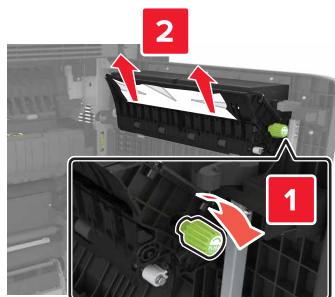
5 ドア C を開きます。プリンタに接続されているケーブルに当たっていないことを確認します。

6 つまっている用紙を次の場所から取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

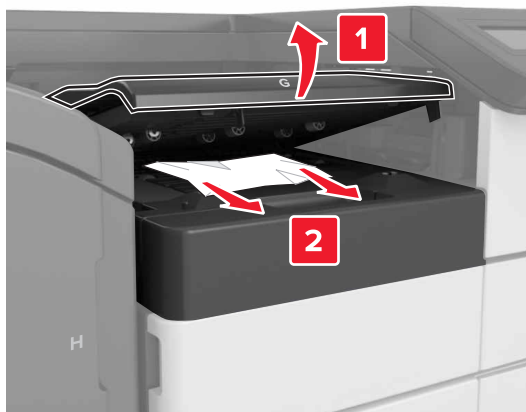
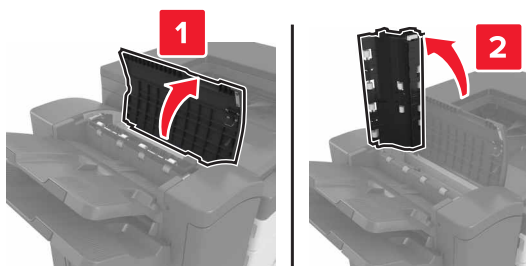
危険！表面は高温です: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

- フューザーエリア

- フューザーエリアの下部

- 両面印刷エリア

- 両面印刷エリアの上部

7 ドア C を閉じ、3000 枚トレイを元の位置に戻します。

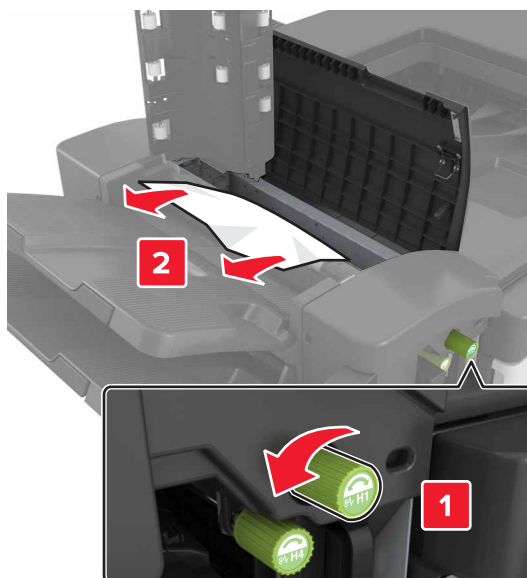
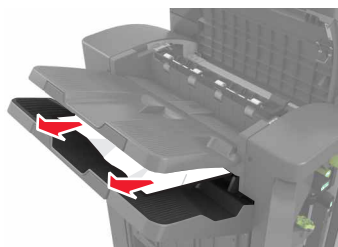
[x] ページ紙づまり、ドア G、H、J を開き、つまっている用紙を取り除いてください。用紙をトレイに残します。[4yy.xx]

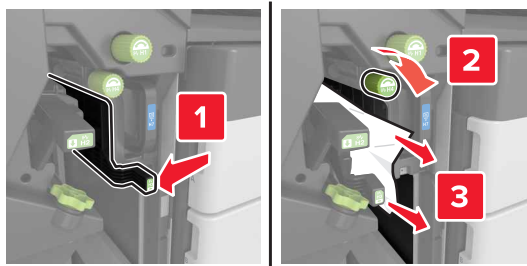
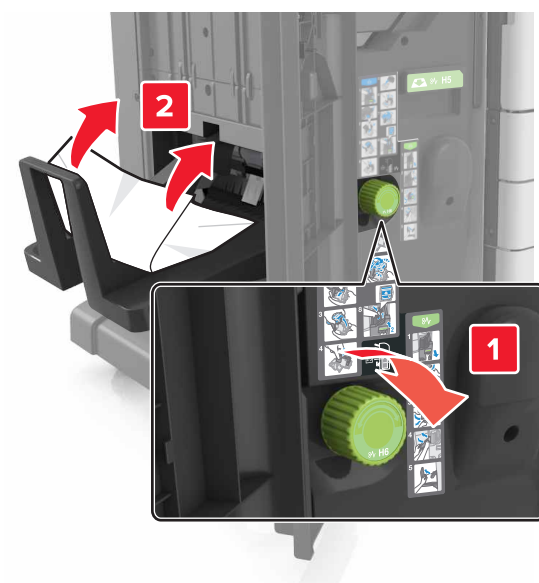
1 ドア G を開き、つまっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

2 ドア J を開き、ハンドル J1 を持ち上げ、完全に直立させます。

3 ドア H を開きます。

4 つまっている用紙を次の場所から取り除きます。

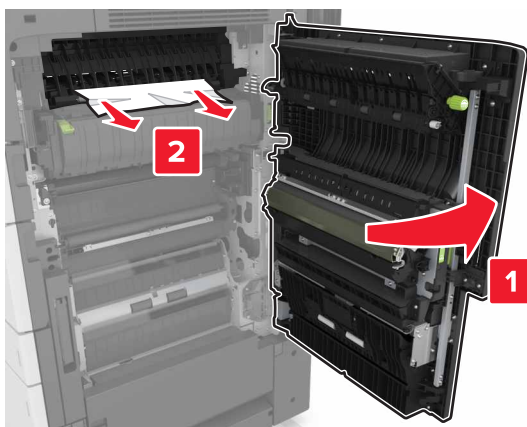
メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

- ドア J

メモ: フィニッシャー排紙トレイの間に用紙がつまっている場合は、その用紙を取り除きます。

- エリア H1 および H2

- エリア H3 および H4

- エリア H6

5 ドア H を閉じます。

6 ドア C を開き、つまっている用紙を取り除きます。

メモ: ドア C がプリンタに接続されているケーブルに当たっていないことを確認します。

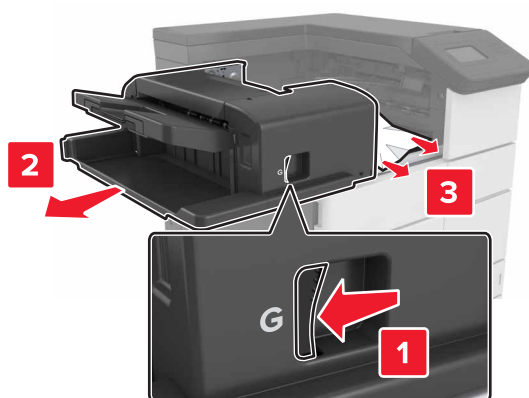
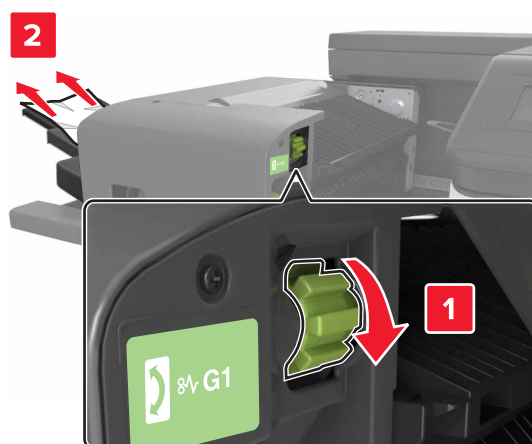
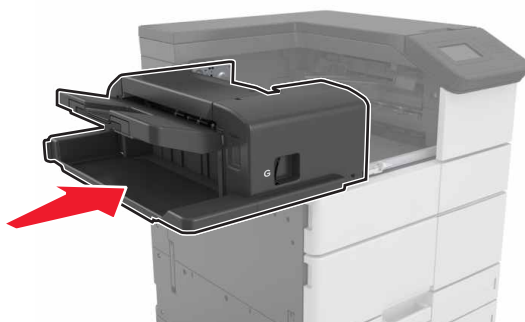
メモ:

- 必ずすべての紙片を取り除いてください。
- 3000 枚トレイが取り付けられている場合、トレイを右側にスライドしてドアを開きます。

7 ドア C を閉じます。

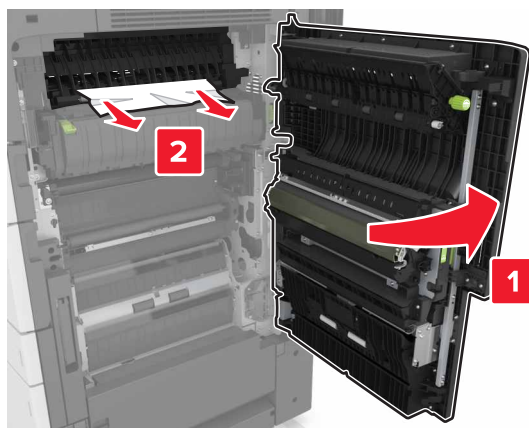
[x]ページ紙づまり、ラッチを押して、エリア G にアクセスする。用紙をトレイに残す。[40y.xx]

1 ステープルフィニッシャー排紙トレイからすべての用紙を取り除きます。

2 ラッチを押して、ステープルフィニッシャーを左にスライドさせ、つまっている用紙を取り除きます。

メモ:

- 必ずすべての紙片を取り除いてください。
- 必要に応じて、スピナーホイール G1 を下側に回して、つまっている用紙をフィニッシャートレイに送り、紙を取り除きます。

3 フィニッシャーを元の位置にスライドさせます。

4 ドア C を開き、つまっている用紙を取り除きます。

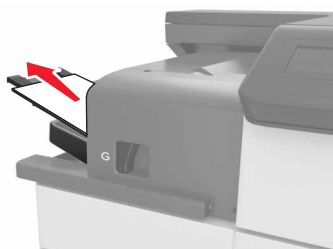
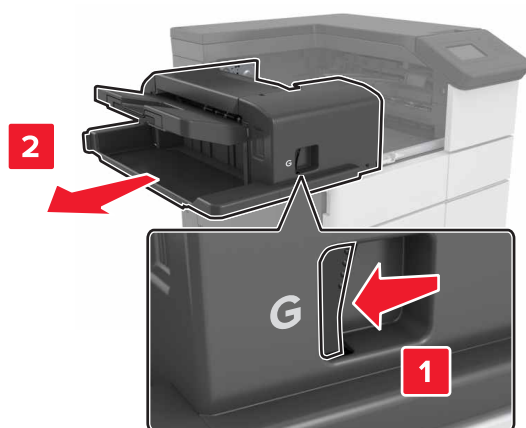
危険！表面は高温です: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

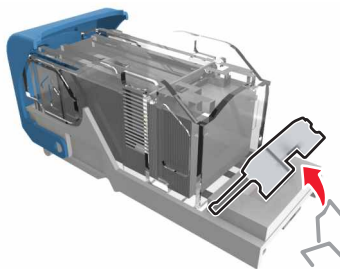
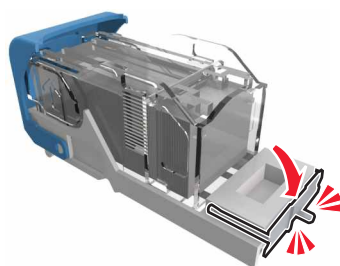
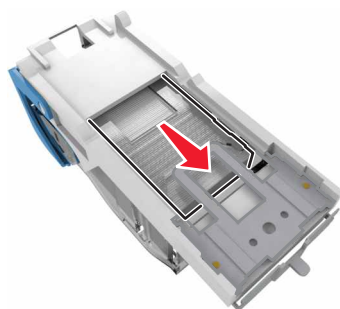
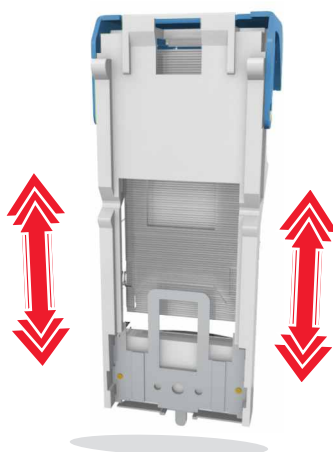
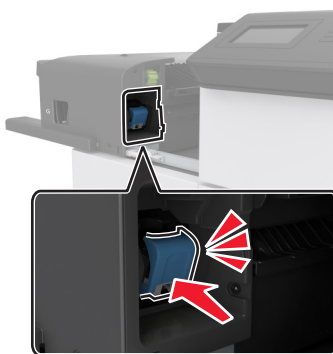
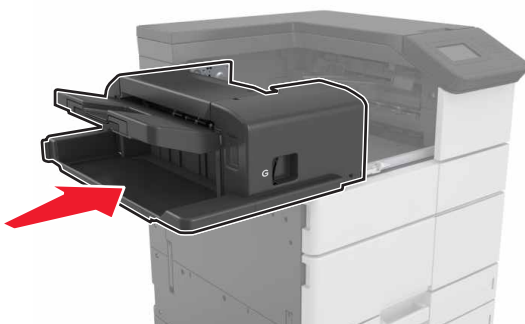
メモ:

- ドア C がプリンタに接続されているケーブルに当たっていないことを確認します。
- 必ずすべての紙片を取り除いてください。

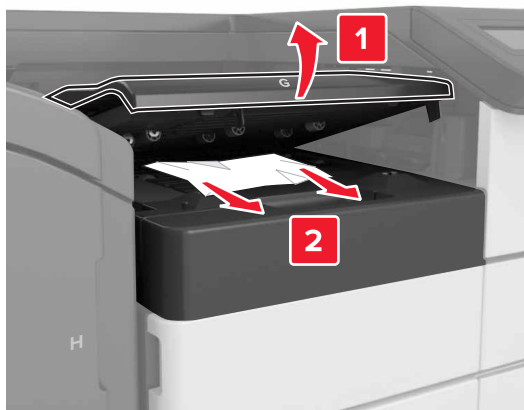
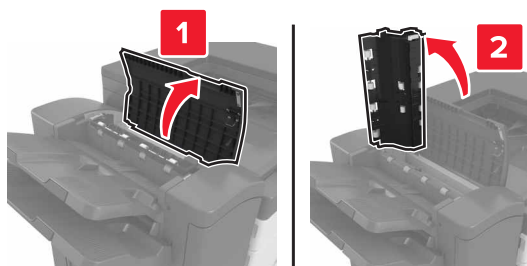
- 3000 枚トレイが取り付けられている場合、トレイを右側にスライドしてドアを開きます。

5 ドア C を閉じます。

[x] ページ紙づまり、ラッチを押してエリア G にアクセスし、つまっているホチキスの針を取り除いてください。用紙をトレイに残します。[402.93]

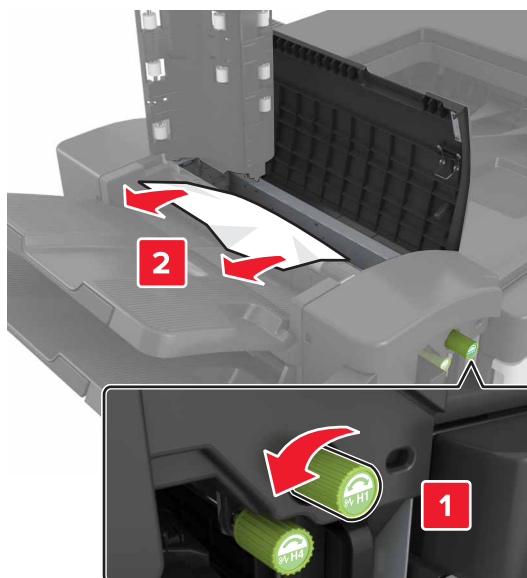
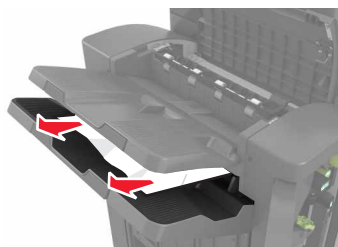
1 ステープルフィニッシャー排紙トレイからすべての用紙を取り除きます。

2 ステープルフィニッシャーのラッチを押して、フィニッシャーを左側にスライドさせます。

3 ステープルカートリッジホルダーを取り外します。

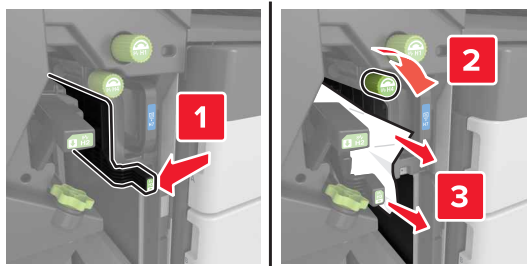
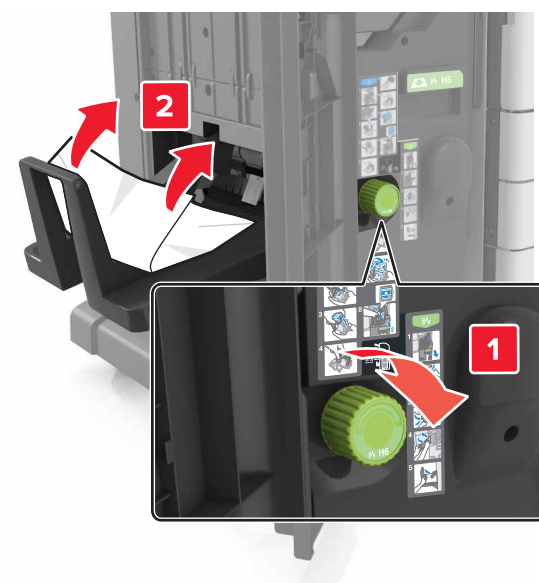
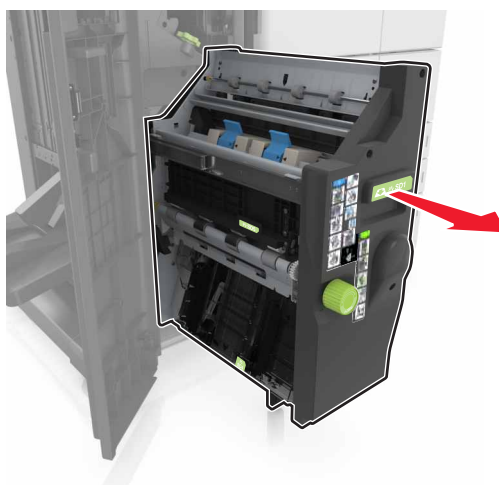
4 金属製のタブを使用してホチキスガードを持ち上げ、ゆるんだホチキスを取り除きます。

5 所定の位置でカチッという音がするまでホチキスガードを押し込みます。

6 ホチキスを金属のブラケットにはめ込みます。

メモ: ホチキスがカートリッジの背面にある場合は、カートリッジを下方向に揺すって、ホチキスを金属のブラケットの側に寄せます。

7 所定の位置でカチッという音がするまで、カートリッジホルダーをフィニッシャーに押し込みます。

8 フィニッシャーを元の位置にスライドさせます。

[x] ページ紙づまり、ドア H を開き、ノブ H6 を時計回りに回します。用紙をトレイに残します。［426.xx–428.xx］

紙づまりの場所がドア G の下の場合は、ドアを開いて用紙を取り除きます。

1 ドア J を開き、ハンドル J1 を持ち上げます。

2 ドア H を開きます。

3 つまっている用紙を次の場所から取り除きます。

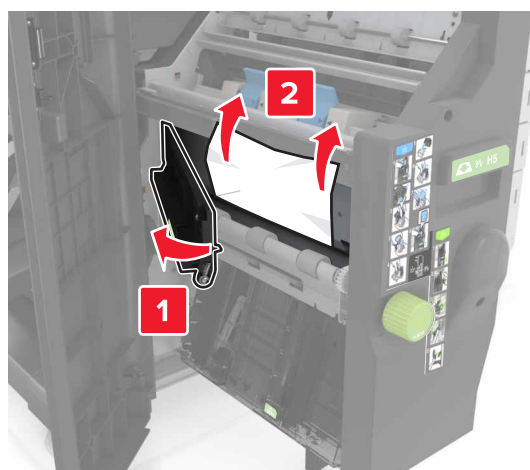
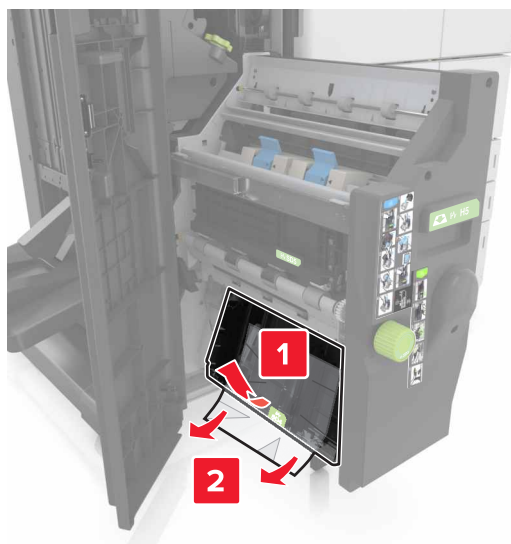
メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

- ドア J

メモ: フィニッシャー排紙トレイの間に用紙がつまっている場合は、その用紙を取り除きます。

- エリア H1 および H2

- エリア H3 および H4

- エリア H6

4 ハンドル H5 を使って、小冊子マーカーを引き出します。

5 つまっている用紙を次の場所から取り除きます。

メモ： 必ずすべての紙片を取り除いてください。

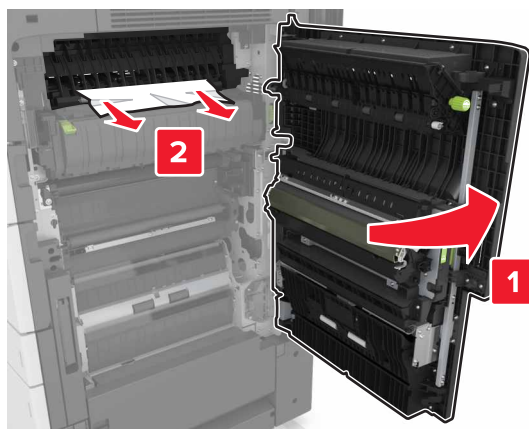
- エリア H8

- エリア H9

- エリア H10

6 小冊子マーカーを押して元の場所に戻します。

7 ドア H を閉じます。

8 ドア C を開き、つまっている用紙を取り除きます。

危険！表面は高温です: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

メモ:

- ドア C がプリンタに接続されているケーブルに当たっていないことを確認します。
- 必ずすべての紙片を取り除いてください。
- 3000 枚トレイが取り付けられている場合、トレイを右側にスライドしてドアを開きます。

9 ドア C を閉じます。

問題に対処する

プリンタメッセージを理解する

カートリッジ残り僅か［88.xx］

交換用のトナーカートリッジを注文する必要があります。必要に応じて、プリンタの操作パネルで[**続行**]を押し、メッセージを消去して印刷を続けます。

カートリッジほぼ残り僅か［88.xy］

必要に応じて、プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、メッセージを消去して印刷を続けます。

カートリッジ残り僅か [88.xy]

次のような場合は、該当するトナーカートリッジをただちに交換する必要があります。詳細については、139 ページの「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

必要に応じて、操作パネルで[**続行**]を押し、メッセージを消去して印刷を続けます。

[給紙源]を[カスタム文字列]に変更[用紙の向き]にセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- トレイに適切なサイズとタイプの用紙をセットし、該当するサイズとタイプを操作パネルの[用紙メニュー]で指定し、[**用紙が変更されました**]に触れます。
- [**現在の[給紙源]を使用**]にタッチし、トレイで使用可能な用紙のサイズとタイプを使用します。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源] を [カスタムタイプ名] に変更 [用紙の向き] にセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 正しいサイズとタイプの用紙をトレイまたはフィーダーにセットし、プリンタコントロールパネルの[用紙]メニューで用紙サイズとタイプを指定してから、[**用紙交換完了**]をタッチします。
- 次に、[**アクティブな排紙トレイをリセット**] をタッチし、リンクされた排紙トレイのアクティブな排紙トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源]を[用紙サイズ]に変更[用紙の向き]にセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- トレイに適切なサイズとタイプの用紙をセットし、該当するサイズとタイプを操作パネルの[用紙]メニューで指定し、[**用紙が変更されました**]に触れます。
- [**現在の[給紙源]を使用**]にタッチし、現在のトレイまたはフィーダーで使用可能な用紙のサイズとタイプを使用します。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源]を[用紙の種類][用紙サイズ]に変更[用紙の向き]にセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- トレイまたはフィーダーに適切なサイズとタイプの用紙をセットし、該当するサイズとタイプをプリンタの操作パネルの[用紙]メニューで指定し、[**用紙が変更されました**]に触れます。
- [**現在の[給紙源]を使用**]にタッチし、トレイで使用可能な用紙のサイズとタイプを使用します。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

ドア[x]を閉じる

指定されたドアを閉じます。

複雑なページ、一部のデータが印刷されていない可能性があります [39]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- メッセージを消去して印刷を続行するには、操作パネルの[**継続**]を押します。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。
- プリンタメモリを増設します。

構成設定変更。保持されたジョブがいくつか復元されませんでした[57]

以下のいずれかが変更された可能性があるため、保持されたジョブは無効になっています。

- プリンタファームウェアがアップデートされた。
- 印刷ジョブのトレイが取り外されている。
- USB ポートに接続されていないフラッシュドライブから印刷ジョブが送信された。
- プリンタのハードディスクが別のプリンタ機種に取り付けられているときに保存された印刷ジョブが、プリンタのハードディスクに残っている。

プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチしてメッセージを消去します。

フラッシュメモリ不良 [51]

以下の方法をいくつか試してください。

- 不良のフラッシュメモリカードを交換します。
- プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、メッセージを無視して印刷を続けます。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

ディスクがいっぱいです [62]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- メッセージを消去して印刷を続行するには、操作パネルの[**継続**]を押します。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- プリンタのハードディスクに保存されているフォントやマクロなどのデータを削除します。
- 容量が大きいハードディスクを取り付けます。

このデバイスで使用するには、ディスクをフォーマットする必要があります。

プリンタの操作パネルで[**ディスクを初期化**]をタッチし、プリンタのハードディスクをフォーマットしてメッセージを消去します。

メモ: プリンタのハードディスクに保存されているファイルは、フォーマットによりすべて削除されます。

ディスクの空きがほとんどありません。安全にディスク領域をあけてください。

以下の方法をいくつか試してください。

- [**続行**]をタッチし、メッセージを消去して印刷を続行します。
- プリンタハードディスクに保存されているフォントやマクロなどのデータを削除します。
- もっと容量が大きいハードディスクを取り付けます。

ホールパンチボックスを空にしてください

以下の方法をいくつか試してください。

- ホールパンチボックスを空にします。
- プリンタ操作パネルで[**続行**]を選択してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

USB ドライブ読取りエラーです。USB を取り外してください。

サポートされていない USB デバイスが取り付けられています。USB デバイスを取り外し、サポートされているデバイスを取り付けてください。

USB ハブの読み取りエラーが発生しました。ハブを取り外します。

サポートされていない USB ハブが取り付けられています。USB ハブを取り外し、サポートされているハブを取り付けてください。

誤った用紙サイズです。[給紙源]を開いてください [34]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- トレイまたはフィーダーに適切なサイズとタイプの用紙をセットし、該当するサイズとタイプを操作パネルの[用紙]メニューで指定します。
- [印刷プロパティ]または[印刷]ダイアログボックスの設定で適切なサイズとタイプの用紙が指定されていることを確認します。
- 長さガイドおよび幅ガイドを確認して、用紙がトレイまたはフィーダーに正しくセットされていることを確認します。
- 操作パネルで[**続行**]をタッチしてメッセージを消去し、別のトレイを使用して印刷します。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

ホールパンチボックスを挿入

ホールパンチボックスをフィニッシャにセットして[**続行**]をタッチし、メッセージを消去します。

トレイ[x]を挿入

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタに指定されたトレイを挿入します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。
- プリンタの操作パネルで[**有効トレイをリセット**]を選択し、リンクされた一連のトレイで、有効なトレイをリセットします。

フラッシュメモリのデフラグにはメモリ不足です [37]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、デフラグを停止して印刷を続けます。
- プリンタメモリにあるフォントやマクロなどのデータを削除します。
- プリンタメモリを増設します。

部単位印刷にはメモリ不足です [37]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、保存済みのジョブの一部を印刷してから、残りの印刷ジョブの部単位を開始します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

リソース保存機能を使うにはメモリ不足です [35]

プリンタメモリを増設するか、[**続行**]をタッチしてリソース保存機能を無効にし、メッセージを消去して印刷を続行します。

メモリ不足、保留中のジョブは幾つか削除されました [37]

プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチしてメッセージを消去します。

メモリ不足。保持されたジョブが幾つか復元されません [37]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、メッセージを消去します。
- その他の保持ジョブを削除して、プリンタメモリの空き容量を増やします。

トレイ 3 の用紙の束間のスペースが不足しています

用紙の束を離して、操作パネルで[**続行**]をタッチし、メッセージを消去して印刷を続けます。

[給紙源] に [カスタム文字列] [用紙の向き]をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 適切なサイズとタイプの用紙をトレイまたはフィーダーにセットするには、操作パネルで[**用紙のセットが完了しました**]に触れます。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 現在のジョブをキャンセルします。

[給紙源] に [カスタムタイプ名] [用紙の向き]をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 適切なサイズとタイプの用紙をトレイまたはフィーダーにセットするには、操作パネルで[**用紙のセットが完了しました**]に触れます。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源] に [用紙サイズ] [用紙の向き]をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 適切なサイズの用紙をトレイまたはフィーダーにセットするには、操作パネルで[**用紙のセットが完了しました**]に触れます。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 現在のジョブをキャンセルします。

[給紙源] に [用紙のタイプ] [用紙サイズ] [用紙の向き]をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 指定トレイまたはフィーダーに適切なサイズとタイプの用紙をセットし、操作パネルで[**用紙のセットが完了しました**]に触れます。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 現在のジョブをキャンセルします。

多目的フィーダーに[カスタム文字列] [用紙の向き]をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- フィーダーに、適切なサイズとタイプの用紙をセットします。
- 操作パネルから、次のいずれかに触れます。
  - [**各ページ、用紙のセットを要請**]または[**用紙のセットを要請しない**]—メッセージを消去し、印刷を続行します。
  - [**自動で用紙を選択する**]—トレイにセットした用紙を使用します。
  - [**有効トレイをリセット**]—リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

多目的フィーダーに[カスタムタイプ名] [用紙の向き]をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- フィーダーに、適切なサイズとタイプの用紙をセットします。
- 操作パネルから、次のいずれかに触れます。
  - [**各ページ、用紙のセットを要請**]または[**用紙のセットを要請しない**]—メッセージを消去し、印刷を続行します。
  - [**自動で用紙を選択する**]—トレイにセットした用紙を使用します。
  - [**有効トレイをリセット**]—リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

手差しフィーダーに [用紙サイズ] [用紙の向き]をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- フィーダーに適切なサイズの用紙をセットします。
- 操作パネルから、次のいずれかに触れます。
  - [**各ページ、用紙のセットを要請**]または[**用紙のセットを要請しない**]—メッセージを消去し、印刷を続行します。
  - [**自動で用紙を選択する**]—トレイにセットした用紙を使用します。
  - [**有効トレイをリセット**]—リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

多目的フィーダーに[用紙のタイプ] [用紙サイズ] [用紙の向き]をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- フィーダーに、適切なサイズとタイプの用紙をセットします。
- 操作パネルから、次のいずれかに触れます。
  - [**各ページ、用紙のセットを要請**]または[**用紙のセットを要請しない**]—メッセージを消去し、印刷を続行します。
  - [**自動で用紙を選択する**]—トレイにセットした用紙を使用します。
  - [**有効トレイをリセット**]—リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

ホチキスの針をセット

以下の方法をいくつか試してください。

- フィニッシャで、ホチキスカートリッジを交換またはセットします。

  ホチキスカートリッジをフィニッシャでセットまたは交換する手順については、プリンタの操作パネルで[**詳細情報**]にタッチします。
- メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの[**続行**]にタッチします。
- 印刷ジョブをキャンセルするには、プリンタの操作パネルの[**ジョブをキャンセル**]にタッチします。

ホチキスをセット [G11, G12]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- ステープルカートリッジを交換するか、フィニッシャーに挿入します。

  ステープルカートリッジの交換、またはフィニッシャーへの挿入の手順については、操作パネルで[**詳細情報**]をタッチします。
- メッセージを消去して印刷を続行するには、操作パネルの[**継続**]を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[x] 保守キットが非常に低下しています [80.xy]

該当する保守キットをただちに交換する必要があります。詳細については、サポート Web サイト（**http://support.lexmark.com**）を参照するか、お客様サポートに連絡し、メッセージを報告してください。

必要に応じて[**続行**]を押し、メッセージを消去して印刷を続けます。

メモリが満杯です ［38］

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 操作パネルで[**ジョブをキャンセル**]をタッチし、メッセージを消去します。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- プリンタメモリを増設します。

ネットワーク [x] ソフトウェアエラー [54]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタコントロールパネルから、[**継続**]をクリックし、印刷を続行します。
- プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。
- プリンタまたはプリントサーバーのネットワークファームウェアを更新します。詳細については、Lexmark のサポート Web サイト（**http://support.lexmark.com**）をご覧ください。

リソースのためにフラッシュメモリに十分な領域がありません [52]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- メッセージを消去して印刷を続行するには、操作パネルの[**継続**]を押します。
- [**有効トレイをリセット**]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。

- フラッシュメモリに保存されているフォント、マクロ、その他のデータを削除します。
- 容量が大きいフラッシュメモリカードを取り付けます。

メモ: フラッシュメモリに保存されていないダウンロード済みのフォントおよびマクロは削除されます。

ドア H を開き、領域 H10 の下から用紙を取り除きます

指定された領域から用紙を取り除きます。

用紙変更が必要です

以下の方法をいくつか試してください。

- [**現在の消耗品を使用**]をタッチし、メッセージを消去して印刷を続行します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

パラレルポート [x]が無効です [56]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、メッセージを消去します。
- パラレルポートを有効にします。プリンタの操作パネルで、次の順序で選択します。

  [**ネットワーク/ポート**] > [**パラレル [x]**] > [**パラレルバッファ**] > [**自動**]

メモ: プリンタがパラレルポートから受信したデータは破棄されます。

感光体残り僅か [84.xy]

交換用の感光体を注文する必要があります。必要に応じて、操作パネルで[**続行**]を選択してメッセージを消去し、印刷を続行します。

感光体が非常に低下しています [84.xy]

感光体ユニットをただちに交換する必要があります。詳細については、132 ページの「感光体ユニットを交換する」を参照してください。

必要に応じて、操作パネルで[**続行**]を押し、メッセージを消去して印刷を続けます。

プリンタを再起動する必要がありました。最後のジョブが完了していない可能性があります。

メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの[**継続**]を押します。

詳細については、(**http://support.lexmark.com**)を参照するか、カスタマサポートに問い合わせてください。

不明、または応答しないカートリッジを取り付け直してください。[31.xy]

以下の方法をいくつか試してください。

- トナーカートリッジがなくなっていないかを確認します。なくなっている場合は、トナーカートリッジを取り付けます。

  カートリッジの取り付け方法の詳細については、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」を参照してください。

- トナーカートリッジが取り付けられている場合は、応答しないトナーカートリッジを取り外してから、取り付け直します。

  メモ: カートリッジの再取り付け後にメッセージが表示された場合、そのカートリッジは不良です。トナーカートリッジを取り付けます。

見つからないまたは応答しない感光体を取り付け直してください［31.xy］

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 感光体ユニットが取り外されている場合は、取り付け直します。詳細については、132 ページの「感光体ユニットを交換する」を参照してください。
- 感光体ユニットが取り付けられている場合は、取り外してから取り付け直します。

  メモ: 感光体ユニットの再取り付け後にメッセージが表示された場合は、不良の感光体ユニットを交換します。

故障したハードディスクを取外してください[61]

故障したプリンタハードディスクを取り外して交換します。

[場所の名前]の梱包材を取り除いてください

指定された場所に残っている梱包材をすべて取り除きます。

梱包材を取り除き、ドア C を開け、金属の留め具を取り除く

ドア C を開け、残っている梱包材を取り除きます。

メモ: ドア C がプリンタに接続されているケーブルに当たっていないことを確認します。

全ての排紙トレイから印刷結果を取除いてください

全ての排紙トレイから用紙を取り除きます。プリンタは、用紙が取り除かれたことを自動的に検出し、印刷を再開します。

用紙を取り除いてもメッセージが消去されない場合は、[**継続**]に触れます。

排紙トレイ[x]から用紙を取り除いてください

指定された排紙トレイから用紙を取り除きます。プリンタは用紙が取り除かれたことを自動的に検出して印刷を再開します。

用紙を取り除いてもメッセージが消えない場合は、[**続行**]タッチします。

[リンクされたトレイ名]から用紙を取り除いてください

指定された排紙トレイから用紙を取り除きます。プリンタは用紙が取り除かれたことを自動的に検出して印刷を再開します。

用紙を取り除いてもメッセージが消えない場合は、[**続行**]タッチします。

標準排紙トレイから用紙を取り除いてください。

標準排紙トレイにたまった用紙を取り除きます。

カートリッジを交換、推定残りページ 0 [88.xy]

メッセージを消去して印刷を続行するには、トナーカートリッジを交換します。詳細については、消耗品に付属の説明書、もしくは、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」を参照してください。

メモ: 交換用のカートリッジがない場合は、『ユーザーズガイド』の「消耗品を注文する」を参照するか、**www.lexmark.com** にアクセスしてください。

カートリッジを交換、プリンタのリージョンの不一致 [42.xy]

プリンタのリージョン番号に一致するトナーカートリッジを取り付けます。「x」はプリンタのリージョン番号です。「y」はカートリッジのリージョン番号です。「x」と「y」の取り得る値は以下のとおりです。

プリンタおよびトナーカートリッジのリージョン

リージョン番号	リージョン
0	グローバル
1	米国、カナダ
2	欧州経済領域(EEA)、スイス
3	アジア太平洋、オーストラリア、ニュージーランド
4	中南米
5	アフリカ、中東、その他の欧州諸国
9	使用できません

メモ:

- x および y の値は、プリンタ操作パネルに表示されるコードの .xy を表します。
- 印刷を続行するには、x および y の値が同じでなければなりません。

保守キット[x]を交換、推定残りページ 0 [80.xy]

プリンタは保守の予定があります。詳細については、Lexmark の Web サイト(**http://support.lexmark.com**)を参照するか、サービス担当者に連絡し、メッセージを報告してください。

なくなっている感光体を交換 [31.xy]

なくなっている感光体ユニットを取り付け、メッセージを消去します。詳細については、132 ページの「感光体ユニットを交換する」を参照してください。

なくなっている廃トナーボトルを交換してください [82.xy]

なくなっている廃トナーボトルを取り付け、メッセージを消去します。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照してください。

切れたカートリッジを交換する [31.xy]

新しいカートリッジを取り付け、メッセージを消去します。詳細については、139 ページの「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

[給紙源]の用紙ピックローラーを交換してください。トレイ 1 またはトレイ 2 コンパートメント [80] の部品と手順を使用してください。

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 用紙ピックローラーを交換して、操作パネルの[**ローラー交換**]をタッチします。メッセージを消去して、印刷を続けてください。
- [**後で交換(紙詰まりが続く可能性があります)**]をタッチし、メッセージを無視して、印刷を続けてください。

感光体を交換する、残りページ 0 [84.xy]

メッセージを消去して印刷を続行するには、感光体ユニットを交換します。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照するか、132 ページの「感光体ユニットを交換する」を参照してください。

メモ: 交換用の感光体ユニットがない場合は、130 ページの「消耗品を注文する」を参照するか、**www.lexmark.com** にアクセスしてください。

サポートされていないカートリッジを交換してください [32.xy]

メッセージを消去して印刷を続行するには、トナーカートリッジを取り外してから、サポートされているトナーカートリッジを取り付けます。詳細については、消耗品に付属の説明書、もしくは、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」を参照してください。

メモ: 交換用のカートリッジがない場合は、『ユーザーズガイド』の「消耗品を注文する」を参照するか、**www.lexmark.com** にアクセスしてください。

サポートされていない感光体を交換してください [32.xy]

メッセージを消去して印刷を続行するには、感光体ユニットを取り外してから、サポートされている感光体ユニットを取り付けます。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照するか、132 ページの「感光体ユニットを交換する」を参照してください。

メモ: 交換用の感光体ユニットがない場合は、130 ページの「消耗品を注文する」を参照するか、**www.lexmark.com** にアクセスしてください。

廃トナーボトルを交換してください [82.xy]

廃トナーボトルを交換して、メッセージを消去します。

保持されたジョブを復元

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[**復元**]をタッチし、プリンタのハードディスクに保持されているジョブをすべて復元します。
- 印刷ジョブをまったく復元しない場合は、プリンタの操作パネルで[**復元しない**]をタッチします。

シリアルポート [x]が無効です [56]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、メッセージを消去します。
  指定したシリアルポートからプリンタが受信したデータは破棄されます。
- [シリアルバッファ]が[無効]に設定されていないことを確認します。
- プリンタの操作パネルの[シリアル [x]]メニューで、[シリアルバッファ]を[自動]に設定します。

保持されたジョブが幾つか復元されません

プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、表示されたジョブを削除します。

メモ: 復元されなかった保持されたジョブはプリンタのハードディスクに残りますが、アクセスできなくなります。

SMTP サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。

プリンタコントロールパネルから[**継続**]をタッチし、メッセージを消去します。

メモ: メッセージが再度表示される場合は、システムサポート担当者に連絡してください。

標準ネットワークソフトウェアエラー [54]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタコントロールパネルから、[**継続**]をクリックし、印刷を続行します。
- プリンタの電源を切り、再度電源を入れます。
- プリンタまたはプリントサーバーのネットワークファームウェアを更新します。詳細については、Lexmark サポート Web サイト(**http://support.lexmark.com**)にアクセスするか、カスタマサポートにお問い合わせください。その際、メッセージを報告してください。

標準 USB ポートが無効です [56]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、メッセージを消去します。
- USB ポートを有効にします。プリンタの操作パネルで、次の順序で選択します。
  [**ネットワーク/ポート**] > [**USB バッファ**] > [**自動**]

メモ: プリンタが USB ポートから受信したデータは破棄されます。

ジョブを完了するには消耗品が必要です

以下のいずれかを実行します。

- 不足している消耗品を取り付けてジョブを完了します。
- 現在のジョブをキャンセルします。

デバイスは現在セーフモードで動作しています。一部の印刷オプションは無効となっているか予期せぬ結果になる場合があります。

メッセージを消去して印刷を続行するには、操作パネルの[**続行**]を押します。

取り付けられているフラッシュオプションが多すぎます [58]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 操作パネルの[**継続**]をタッチし、印刷を続けます。
- 不要なフラッシュメモリを取り外します。
  1. プリンタの電源を切ります。
  2. コンセントから電源コードを抜きます。
  3. 不要なフラッシュメモリを取り外します。
  4. 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
  5. プリンタの電源を入れます。

取付けられたトレイが多過ぎます [58]

1. プリンタの電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを抜きます。
3. 不要なトレイを取り外します。
4. 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
5. プリンタの電源を入れます。

トレイ[x]の用紙のサイズはサポートされていません

サポートされている用紙サイズに交換してください。

フラッシュメモリが初期化されていません [53]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、デフラグを停止して印刷を続けます。
- フラッシュメモリをフォーマットします。

  メモ：エラーメッセージがまだ表示される場合は、フラッシュメモリが不良の可能性があるので交換する必要があります。

サポートされていないディスク

サポートされていないプリンタハードディスクを取り外し、サポートされているプリンタハードディスクを挿入します。

スロット[x] に非サポートのオプション [55]

1 プリンタの電源をオフにします。
2 コンセントから電源コードを抜きます。
3 プリンタのコントローラボードから、サポートされていないオプションのカードを取り外し、サポートされているカードと交換します。
4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
5 もう一度プリンタの電源を入れます。

廃トナーボトルがほぼ満杯です [82.xy]

廃トナーボトルを注文する必要があります。必要に応じて、プリンタの操作パネルで[**続行**]を押し、メッセージを消去して印刷を続けます。

Weblink サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。

プリンタコントロールパネルから[**続行**]をタッチし、メッセージを消去します。

メモ: メッセージが再度表示される場合は、システムサポート担当者に連絡してください。

プリンタの問題を解決する

基本的なプリンタの問題

プリンタが応答していない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源が入っていることを確認します。 プリンタの電源は入っていますか？	手順 2 に進みます。	プリンタの電源を入れます。
手順 2 プリンタがスリープモードまたはハイバネートモードになっていないか確認します。 プリンタがスリープモードまたはハイバネートモードになっていませんか？	スリープボタンを押して、プリンタをスリープモードまたはハイバネートモードから復帰します。	手順 3 に進みます。

対処方法	はい	いいえ
手順 3 電源コードの一方がプリンタに接続されており、もう一方が正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続されていることを確認します。 電源コードはプリンタおよび正しくアースしたコンセントに接続されていますか？	手順 4 に進みます。	電源コードの一方をプリンタに、もう一方を正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続します。
手順 4 コンセントに接続されている他の電気製品を確認します。 他の電気製品は動作していますか？	他の電気製品をコンセントから抜き、プリンタの電源をオンにします。プリンタが動作しない場合は、他の電気製品をコンセントに接続しなおします。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタとコンピュータをつないでいるケーブルが正しいポートに接続されていることを確認します。 ケーブルは正しいポートに差し込まれていますか？	手順 6 に進みます。	以下が一致するようにしてください。 • ケーブルの USB マークとプリンタの USB マーク • Ethernet ポートとそれに対応するイーサネットケーブル
手順 6 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていないことを確認します。 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていませんか？	スイッチをオンにするか、ブレーカーをリセットします。	手順 7 に進みます。
手順 7 プリンタがサージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていないかどうか確認します。 プリンタがサージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていませんか？	プリンタの電源コードを正しく接地されたコンセントに直接接続します。	手順 8 に進みます。
手順 8 プリンタケーブルの一方がプリンタのポートに、もう一方がコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスに接続されていることを確認します。 プリンタケーブルはプリンタおよびコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続されていますか？	手順 9 に進みます。	プリンタケーブルをプリンタおよびコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続します。
手順 9 すべてのハードウェアオプションが正しくインストールされ、梱包材がすべて取り除かれていることを確認してください。 すべてのハードウェアオプションが正しくインストールされ、梱包材がすべて取り除かれていますか？	手順 10 に進みます。	プリンタの電源をオフにし、すべての梱包材を取り除いてハードウェアオプションを再度インストールしてから、プリンタの電源を入れます。
手順 10 プリンタドライバで正しいポート設定が選択されていることを確認します。 ポート設定は間違っていませんか？	手順 11 に進みます。	正しいプリンタドライバ設定を使用します。

対処方法	はい	いいえ
手順 11 インストールされているプリンタドライバを確認します。 正しいプリンタドライバがインストールされていますか？	手順 12 に進みます。	正しいプリンタドライバをインストールします。
手順 12 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 プリンタは動作していますか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください：カスタマサポート.

プリンタディスプレイに何も表示されない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタ操作パネルの［スリープ］ボタンを押します。 プリンタディスプレイに［**準備完了**］と表示されていますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 プリンタディスプレイに［**お待ちください**］と［**準備完了**］が表示されていますか？	問題は解決しました。	プリンタの電源を切り、以下にお問い合わせください：カスタマサポート.

ハードウェアと内部オプションの問題

内蔵オプションが検出されない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 内蔵オプションがコントローラボードに正しく取り付けられていることを確認します。 **a** 電源スイッチでプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。 **b** 内蔵オプションがコントローラボードの適切なコネクタに取り付けられていることを確認します。 **c** 電源コードをプリンタに接続し、正しくアースしたコンセントに接続してから、プリンタの電源をオンにします。 内蔵オプションはコントローラボードに正しく取り付けられていますか？	手順 3 に進みます。	内蔵オプションをコントローラボードに取り付けます。

対処方法	はい	いいえ
手順 3 メニュー設定ページを印刷して、内蔵オプションが機能一覧に含まれているか確認します。 内蔵オプションはメニュー設定ページに記載されていますか？	手順 4 に進みます。	内蔵オプションを取り付けなおします。
手順 4 **a** 内蔵オプションが選択されているかどうかチェックします。 印刷ジョブを有効にするために、プリンタドライバで内蔵オプションを手動で追加することが必要になる場合があります。(⇒ 40 ページの「プリンタドライバの使用可能なオプションを追加する」) **b** 印刷ジョブを再送信します。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート.

内蔵プリント サーバーが正しく動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 内蔵プリント サーバーを再インストールします。 **a** 内蔵プリント サーバーを削除してから、インストールします。詳細については、26 ページの「内蔵ソリューションポートを取り付ける」 を参照してください。 **b** メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストに内蔵プリント サーバーがあるかどうかを確認します。 [インストール済みの機能]リストに内蔵プリント サーバーが表示されますか。	手順 2 に進みます。	内蔵プリントサーバーがプリンタでサポートされているかどうかを確認します。 **メモ**: 別のプリンタの内蔵プリント サーバーはこのプリンタで動作しない可能性があります。
手順 2 ケーブルと内蔵プリント サーバーの接続を確認します。 正しいケーブルを使用し、内蔵プリント サーバーにしっかりと接続しているかどうかを確認します。 内蔵プリント サーバーは正しく動作しますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

内部ソリューションポートが正しく動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 内部ソリューションポート(ISP)が取り付けられていることを確認します。 **a** ISP を取り付けます。詳細については、26 ページの「内蔵ソリューションポートを取り付ける」 を参照してください。 **b** メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストに ISP があるかどうかを確認します。 [インストール済みの機能]リストに ISP が表示されますか。	手順 2 に進みます。	ISP がサポートされているかどうかを確認します。 **メモ**: 別のプリンタの ISP はこのプリンタで動作しない可能性があります。

対応	はい	いいえ
手順 2 ケーブルと ISP の接続を確認します。 **a** 正しいケーブルを使用し、ISP にしっかりと接続していることを確認します。 **b** ISP ソリューションインターフェイスケーブルが、コントローラボードのレセプタクルにしっかりと接続しているかどうかを確認します。 **メモ**: ISP ソリューションインターフェイスケーブルとコントローラボードのレセプタクルは色分け表示されています。 内部ソリューションポートは正しく動作しますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

トレイの問題

対応	はい	いいえ
手順 1 **a** トレイを引き出し、次の 1 つ以上の手順を実行します。 • 紙詰まりまたは給紙エラーを確認する。 • 用紙ガイドの用紙サイズインジケータが、トレイの用紙サイズインジケータと合っているかどうかを確認します。 • カスタムサイズの用紙に印刷する場合は、用紙ガイドが用紙の端に触れていることを確認する。 • 用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにする。 • 用紙がトレイに平らにセットされていることを確認する **b** トレイが正しく閉じているかどうか確認する。 トレイは動作していますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 **a** プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 トレイは動作していますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 トレイが取り付けられ、プリンタによって認識されているかどうかを確認します。 メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストにトレイがあるかどうかを確認する。 トレイはメニュー設定ページに表示されますか。	手順 4 に進みます。	トレイを再取り付けします。詳細については、同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。
手順 4 プリンタドライバでトレイが使用可能かどうかを確認します。 **メモ**: 必要に応じて、プリンタドライバでトレイを手動で追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、40 ページの「プリンタドライバの使用可能なオプションを追加する」 を参照してください。 プリンタドライバでトレイが使用可能ですか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

USB/パラレルインターフェイスカードが正しく動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 USB またはパラレルインターフェイスカードが取り付けられていることを確認します。 **a** USB またはパラレルインターフェイスカードを取り付けます。詳細については、26 ページの「内蔵ソリューションポートを取り付ける」を参照してください。 **b** メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストに USB またはパラレルインターフェイスカードがあるかどうかを確認します。 USB またはパラレルインターフェイスカードは[インストール済みの機能]リストに表示されますか。	手順 2 に進みます。	USB またはパラレルインターフェイスカードがサポートされているかどうかを確認します。 **メモ**: 別のプリンタの USB またはパラレルインターフェイスカードはこのプリンタで動作しない可能性があります。
手順 2 ケーブルと USB またはパラレルインターフェイスカードの接続を確認します。 正しいケーブルを使用し、USB またはパラレルインターフェイスカードにしっかりと接続していることを確認します。 USB またはパラレルインターフェイスカードは正しく動作しますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

給紙の問題

紙づまりが発生したページが再印刷されない

対処方法	はい	いいえ
[紙づまり後の処理]をオンにします。 **a** ホーム画面から、次のメニューを選択します。 > [**設定**] > [**一般設定**] > [**印刷回復**] **b** [紙づまり回復]メニューで[**オン**]または[**自動**]を選択します。 **c** 変更を保存します。 紙づまり後にページを再印刷しますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートにお問い合わせください。

紙づまりが頻繁に発生する

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** トレイを引き出し、以下のうち 1 つ以上を実行します。 • 用紙はトレイに平らに置きます。 • 用紙ガイドの用紙サイズインジケータとトレイの用紙サイズインジケータの位置が合っているかどうか確認します。 • 用紙ガイドが用紙の両端に揃っているかどうかを確認します。 • 用紙が給紙上限マークを超えないようにします。 • 推奨の用紙サイズと種類に印刷しているかどうかを確認します。 **b** トレイを適切にセットします。 紙づまりリカバリが有効な場合、印刷ジョブは自動的に再印刷されます。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 **a** 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 **メモ**：湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 **a** 紙づまりを防止するヒントを参照します。（⇒ 157 ページの「紙づまりを防ぐ」） **b** 推奨事項を試してから、印刷ジョブを再送信します。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	以下にお問い合わせください：カスタマサポート.	問題は解決しました。

紙詰まりを取り除いても紙詰まりのメッセージが消えない

対応	はい	いいえ
詰まった用紙の用紙経路全体を確認します。 **a** 詰まっている用紙を取り除きます。 **b** プリンタコントロールパネルから[**続行**]をタッチし、メッセージを消去します。 紙詰まりメッセージが消えましたか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	問題は解決しました。

プリンタの問題を解決する

印刷の問題

コンフィデンシャルジョブとその他の保留ジョブが印刷されない

メモ: プリンタが他の保留ジョブを処理するために追加のメモリが必要な場合、コンフィデンシャル印刷ジョブ、確認印刷ジョブ、繰り返し印刷ジョブおよび予約印刷ジョブは削除される場合があります。

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタのディスプレイで保留ジョブフォルダを開き、印刷ジョブが一覧にあることを確認します。 印刷ジョブは保留ジョブフォルダに表示されていますか。	手順 2 に進みます。	[印刷後保持]オプションのいずれかを選択し、印刷ジョブを再送信します。詳細については、67 ページの「コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する」を参照してください。
手順 2 印刷ジョブには、フォーマットエラーまたは無効なデータが含まれている場合があります。 • 印刷ジョブを削除し、再送信します。 • PDF ファイルの場合、新しい PDF ファイルを生成し、再度印刷します。 インターネットから印刷している場合は、プリンタが複数のジョブタイトルを重複として読み取り、最初のジョブ以外のすべてのジョブが削除される場合があります。 **Windows の場合** **a** [印刷プロパティ]フォルダを開きます。 **b** [印刷後保持]ダイアログから、[重複文書を保持]チェックボックスを選択します。 **c** PIN 番号を入力します。 **Macintosh の場合** 印刷ジョブをそれぞれ別名で保存し、各ジョブをプリンタに送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 一部の保留ジョブを削除し、追加のプリンタメモリを解放します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	プリンタメモリを追加します。

印刷時に封筒の封が閉じられる

対応	はい	いいえ
a 乾燥した場所で保管されている封筒を使用します。 **メモ**: 含水率の高い封筒に印刷すると、封の部分が閉じられる可能性があります。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 印刷時に封筒の封が閉じられますか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	問題は解決しました。

フラッシュドライブの読み取りエラーが表示される

対応	はい	いいえ
手順 1 フラッシュドライブが正面の USB ポートに挿入されているかどうかを確認します。 **メモ**: 背面の USB ポートに挿入されている場合、フラッシュドライブは動作しません。 フラッシュドライブが正面の USB ポートに挿入されていますか。	手順 2 に進みます。	フラッシュドライブを正面の USB ポートに挿入します。
手順 2 プリンタコントロールパネルのインジケータランプが緑色で点滅しているかどうかを確認します。 **メモ**: 緑色の点滅はプリンタがビジー状態であることを示します。 インジケータランプが緑色で点滅していますか。	プリンタがレディになるまで待機してから、保留ジョブリストを表示し、文書を印刷します。	手順 3 に進みます。
手順 3 **a** ディスプレイにエラーメッセージが表示されているかどうかを確認します。 **b** メッセージを消してください。 エラーメッセージはまだ表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 フラッシュドライブがサポートされているかどうかを確認します。 テストおよび承認済み USB フラッシュドライブの詳細については、65 ページの「サポートされているフラッシュドライブとファイルタイプ」を参照してください。 エラーメッセージはまだ表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 システムサポート担当者が USB ポートを無効にしているかどうかを確認します。 エラーメッセージはまだ表示されますか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	問題は解決しました。

正しくない文字が印刷される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタが 16 進トレースモードになっていないか確認します。 **メモ**: ディスプレイに[**HEX トレース**]と表示されている場合、プリンタの電源を切ってから再び入れて、HEX トレースモードを無効にします。 プリンタが HEX トレースモードになっていますか。	16 進トレースモードを無効にします。	手順 2 に進みます。
手順 2 **a** 操作パネルから[**標準ネットワーク**]または[**ネットワーク [x]**]を選択し、[PCL SmartSwitch]または[PS SmartSwitch]を[オン]に設定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 正しくない文字が印刷されますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

違うトレイからまたは違う用紙に印刷される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** トレイでサポートされている用紙に印刷していることを確認します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 **a** プリンタの操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙のサイズと種類を設定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 **a** お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログを開き、用紙の種類を指定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 **a** トレイがリンクされていないことを確認します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください：カスタマサポート.

大きなジョブで部単位印刷(丁合)ができない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** プリンタ操作パネルの[仕上げ]メニューで、[丁合印刷]を「(1,2,3) (1,2,3)」に設定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 正しい部単位で印刷されましたか?	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 **a** プリンタソフトウェアで、[丁合印刷]を「(1,2,3) (1,2,3)」に設定します。 **メモ**: ソフトウェアで[丁合印刷]を「(1,1,1) (2,2,2)」に設定すると、[仕上げ]メニューの設定が変更されます。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 正しい部単位で印刷されましたか?	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 フォントの数とサイズ、イメージの数と複雑性、ジョブのページ数を減らして、印刷ジョブを簡素化します。 正しい部単位で印刷されましたか?	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート.

多言語 PDF ファイルが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 **a** PDF 出力の印刷オプションがすべてのフォントを組み込むように設定されているかどうかを確認します。 詳細については、Adobe Acrobat に同梱されているマニュアルを参照してください。 **b** 新しい PDF ファイルを作成してから、印刷ジョブを再送信します。 ファイルは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 **a** Adobe Acrobat で印刷する文書を開きます。 **b** [**ファイル**] > [**印刷**] > [**詳細設定**] > [**イメージとして印刷**] > [**OK**] > [**OK**]をクリックします。 ファイルは印刷されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートまで問い合わせてください。

想定しているよりも印刷ジョブに時間がかかる

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** エコモードを無効にします。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 ［**設定**］>［**一般設定**］>［**エコモード**］>［**オフ**］ **メモ**：エコモードを無効にすると、電力消費や用紙の一方または両方が増加することがあります。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 文書は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 印刷ジョブで使用するフォントの数とサイズ、イメージの数と複雑さ、またはページ数を減らし、ジョブを再送信します。 文書は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 **a** プリンタのメモリに保存されている保留中のジョブを削除します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 文書は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 **a** ページ保護機能を無効にします。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 ［**設定**］>［**一般設定**］>［**印刷回復**］>［**ページ保護**］>［**オフ**］ **b** 印刷ジョブを再送信します。 文書は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 **a** ケーブルがプリンタとプリントサーバーにしっかりと接続されていることを確認します。詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 文書は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。
手順 6 プリンタメモリを増設して、印刷ジョブを再送信します。 文書は印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポートにお問い合わせください。

印刷ジョブが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 **a** 印刷しようとするドキュメントから、[印刷]ダイアログを開き、正しいプリンタを選択しているかどうかを確認します。 **メモ**: プリンタがデフォルトプリンタではない場合、印刷するドキュメントごとにプリンタを選択する必要があります。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 **a** プリンタが接続され、電源が入っているかどうか、**準備完了**がプリンタディスプレイに表示されているかどうかを確認します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 エラーメッセージがプリンタディスプレイに表示される場合は、メッセージを消去します。 **メモ**: メッセージの消去後、プリンタは印刷を続行します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 **a** ポート(USB、シリアル、イーサネット)が動作しているかどうか、ケーブルがしっかりとコンピュータとプリンタに接続しているかどうかを確認します。 **メモ**: 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 **a** プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。
手順 6 **a** プリンタソフトウェアを削除して、再インストールします。詳細については、40 ページの「プリンタを取り付ける」 を参照してください。 **メモ**: プリンタソフトウェアは、**http://support.lexmark.com** からダウンロードできます。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートまでお問い合わせください。

トレイのリンクが動作しない

メモ:

- トレイは用紙の長さを検出できます。
- 多目的フィーダーは用紙サイズを自動的に検出しません。[用紙サイズ/タイプ]メニューから、サイズを設定する必要があります。

対応	はい	いいえ
手順 1 **a** トレイを開いてから、同じサイズとタイプの用紙がセットされているかどうかを確認します。 • 各トレイにセットされた用紙のサイズに合った正しい位置に用紙ガイドがあるかどうかを確認します。 • 用紙ガイドの用紙サイズインジケータが、トレイの用紙サイズインジケータと合っているかどうかを確認します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 **a** プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズとタイプを設定し、リンクするトレイにセットされた用紙に一致させます。 **メモ**: 用紙サイズとタイプは、リンクされるトレイと一致していなければなりません。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

予期しない改ページが発生する

対応	はい	いいえ
[印刷タイムアウト]の値を大きくする **a** ホーム画面から、次のメニューを選択します。 >[**設定**] >[**一般設定**] >[**時間切れ**] **b** [印刷タイムアウト]設定を大きくし、[**送信**]をタッチします。 **c** 印刷ジョブを再送信します。 ファイルは正しく印刷されますか。	問題は解決しました。	原稿ファイルの手動改ページを確認します。

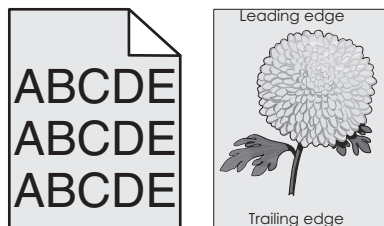
印刷品質の問題

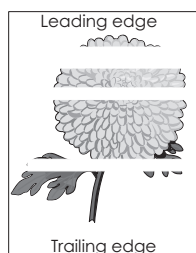
文字がぎざぎざになっている、または縁が不ぞろいである

対応	はい	いいえ
手順 1 **a** フォントサンプルリストを印刷し、使用しているフォントがプリンタでサポートされているかどうかを確認します。 **1** プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。 > [**レポート**] > [**フォント一覧を印刷**] **2** [**PCL フォント**]または[**PostScript フォント**]をタッチします。 **b** プリンタでサポートされているフォントを使用するか、使用するフォントをインストールします。詳細については、システムサポート担当者にお問い合わせください。 **c** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷文字のがぎざぎざになっているか、縁が不ぞろいですか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 **a** プリンタでサポートされているフォントを使用するか、使用するフォントをコンピュータにインストールします。詳細については、システムサポート担当者にお問い合わせください。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷文字のがぎざぎざになっているか、縁が不ぞろいですか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	問題は解決しました。

切り取られたページと画像

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** トレイの用紙ガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に移動します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ページまたは画像は切り取られていますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 操作パネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズとタイプを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 用紙のサイズとタイプがトレイにセットされている用紙と一致していますか。	手順 3 に進みます。	次の手順を 1 つ以上実行します。 • トレイ設定の用紙サイズがトレイにセットされた用紙と一致するように指定します。 • トレイ設定の用紙サイズと一致するように、トレイにセットされた用紙を交換します。
手順 3 **a** オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のサイズを指定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ページまたは画像は切り取られていますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ページまたは画像は切り取られていますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 **a** 感光体ユニットを取り外して再度取り付けてください。 **警告!破損の恐れあり**: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 ページまたは画像は切り取られていますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷後の背景がグレーになる

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** 操作パネルの[印刷品質]メニューで、トナーの濃度を下げます。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 グレーの背景が印刷されなくなりましたか?	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 **a** 感光体ユニットとトナーカートリッジを取り外して、再度取り付けます。 **警告!破損の恐れあり**: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 グレーの背景が印刷されなくなりましたか?	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 グレーの背景が印刷されなくなりましたか?	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 グレーの背景が印刷されなくなりましたか?	問題は解決しました。	カスタマサポートにお問い合わせください。

横方向の空白が印刷に表示される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** プログラムが正しいファイルパターンを使用していることを確認します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ横方向の空白が印刷に表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 **a** 指定したトレイまたはフィーダーに推奨された用紙をセットします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ横方向の空白が印刷に表示されますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対処方法	はい	いいえ
手順 3 **a** 感光体ユニットを取り外して再度取り付けてください。 **警告！破損の恐れあり**: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ横方向の空白が印刷に表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ横方向の空白が印刷に表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ横方向の空白が印刷に表示されますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

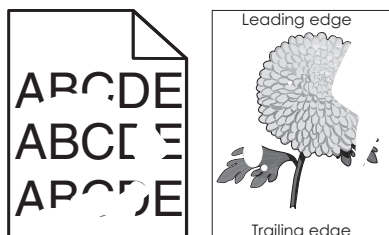
印刷の余白が正しくない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、トレイの幅ガイドと長さガイドを移動します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 余白は正常ですか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタ操作パネルの［用紙メニュー］で、トレイにセットした用紙に応じた用紙サイズを設定します。 用紙のサイズはトレイにセットされている用紙と一致していますか？	手順 3 に進みます。	以下の方法をいくつか実行してください。 • トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙サイズを指定します。 • トレイの設定で指定した用紙サイズと一致するように、トレイにセットされている用紙を変更します。

対処方法	はい	いいえ
手順 3 **a** お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙のサイズを指定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 余白は正常ですか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください：カスタマサポート.

用紙が丸くなる

対処方法	はい	いいえ
手順 1 セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、トレイの幅ガイドと長さガイドを移動します。 幅ガイドと長さガイドは正しい位置にありますか？	手順 2 に進みます。	幅ガイドと長さガイドを調節します。
手順 2 プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙の種類と重さを設定します。 用紙の種類と重さがトレイにセットされている用紙と一致していますか？	手順 3 に進みます。	トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙の種類と重さを指定します。
手順 3 **a** お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙の種類と重さを指定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 **a** トレイから用紙を取り除き、裏返します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 **a** 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 **メモ**：湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	以下にお問い合わせください：カスタマサポート.	問題は解決しました。

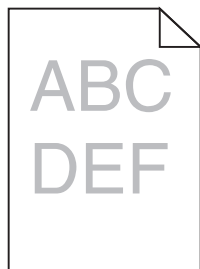
印刷が均一でない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** トレイの用紙ガイドを、トレイにセットされている用紙のサイズに合う正しい位置に移動します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷は均一ではありませんか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 操作パネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズとタイプを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 プリンタの設定は、トレイにセットされている用紙のサイズと種類に一致していますか。	手順 3 に進みます。	トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙のサイズと種類を指定します。
手順 3 **a** オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のタイプと重量を指定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷は均一ではありませんか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 トレイにセットされた用紙の表面が粗いかどうかを確認します。 表面が粗い用紙に印刷していますか。	操作パネルから、[用紙メニュー]で用紙の粗さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。	手順 5 に進みます。
手順 5 **a** 新しいパッケージの用紙をセットします。 **メモ**: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷は均一ではありませんか。	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷は均一ではありませんか。	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。

対処方法	はい	いいえ
手順 7 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 **警告！破損の恐れあり**: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 まだ印刷は均一ではありませんか。	カスタマサポートまたはサービス担当者にお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷が濃すぎる

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** 操作パネルの[印刷品質メニュー]で、トナーの濃さを薄くします。 **メモ**: 出荷時の標準設定は[8]です。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃いですか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 **a** 操作パネルから、[用紙メニュー]で用紙タイプ、粗さ、重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 トレイは、セットされた用紙のタイプ、粗さ、重さに設定されていますか。	手順 3 に進みます。	次の手順を 1 つ以上実行します。 • トレイ設定の用紙タイプ、粗さ、重量がトレイにセットされた用紙と一致するように指定します。 • トレイ設定の用紙タイプ、粗さ、重さと一致するように、トレイにセットされた用紙を交換します。
手順 3 **a** オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のタイプ、粗さ、重さを指定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃いですか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 トレイにセットされた用紙の表面が粗いかどうかを確認します。 表面が粗い用紙に印刷していますか。	操作パネルの[用紙の粗さ]メニューで、印刷する用紙と一致するように粗さの設定を変更します。	手順 5 に進みます。

対処方法	はい	いいえ
手順 5 **a** 新しいパッケージの用紙をセットします。 **メモ**: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃いですか。	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃いですか。	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 **警告！破損の恐れあり**: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 まだ印刷が濃いですか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷が薄すぎる

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** 操作パネルの[印刷品質メニュー]で、トナーの濃さを濃くします。 **メモ**: 出荷時の標準設定は[8]です。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄すぎますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 操作パネルから、[用紙メニュー]で用紙タイプ、粗さ、重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 トレイは、セットされた用紙のタイプ、粗さ、重さに設定されていますか。	手順 3 に進みます。	トレイにセットされている用紙と一致するように、用紙の種類、粗さ、重さを変更します。

対処方法	はい	いいえ
手順 3 **a** オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のタイプ、粗さ、重さを指定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄すぎますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 用紙の表面が粗くないことを確認します。 表面が粗い用紙に印刷していますか。	操作パネルの[用紙の粗さ]メニューで、印刷する用紙と一致するように粗さの設定を変更します。	手順 5 に進みます。
手順 5 **a** 新しいパッケージの用紙をセットします。 **メモ**: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄すぎますか。	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄すぎますか。	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 **警告！破損の恐れあり**: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 まだ印刷が薄すぎますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

何も印刷されないページがある

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** 感光体ユニットに梱包材が残っていないことを確認します。 **1** 感光体ユニットを取り外します。 **2** 感光体ユニットから梱包材が適切に取り外されたことを確認します。 **警告！破損の恐れあり**: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 **3** 感光体ユニットを再び取り付けます。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ何も印刷されないページがありますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ何も印刷されないページがありますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ何も印刷されないページがありますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

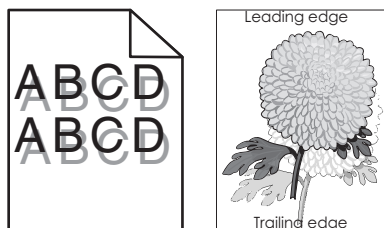
プリンタが真っ黒のページを印刷する

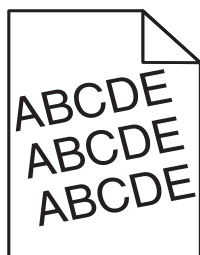
対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** 感光体ユニットを再び取り付けます。 **警告！破損の恐れあり**: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ真っ黒のページが印刷されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ真っ黒のページが印刷されますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対処方法	はい	いいえ
手順 3 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ真っ黒のページが印刷されますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

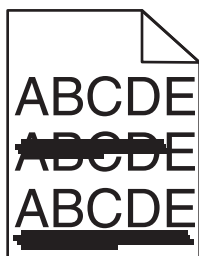
印刷の問題が繰り返し発生する

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 印刷の問題がまだ繰り返し発生しますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 **a** 異常の間隔が 95.8 mm(3.77 インチ)の場合、感光体ユニットを交換します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 印刷の問題がまだ繰り返し発生しますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 **a** 問題の間隔が次の値のいずれかと等しい場合、300K メンテナンスキットを交換します。 • 62.65 mm(2.47 インチ) • 75.85 mm(2.99 インチ) **b** 印刷ジョブを再送信します。 印刷の問題がまだ繰り返し発生しますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷に影の画像が表示される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 正しいタイプと重さの用紙をトレイにセットします。 正しいタイプと重さの用紙がトレイにセットされていますか。	手順 2 に進みます。	正しいタイプと重さの用紙をトレイにセットします。
手順 2 操作パネルから、[用紙メニュー] で用紙タイプと重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 セットされている用紙の種類と重さがトレイに設定されていますか？	手順 3 に進みます。	トレイ設定の用紙タイプと重さと一致するように、トレイにセットされた用紙を交換します。
手順 3 **a** オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定] または [印刷] ダイアログから用紙のタイプと重量を指定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 影の画像はまだ印刷に表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 影の画像はまだ印刷に表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 **警告！破損の恐れあり**：感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 影の画像はまだ印刷に表示されますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷が傾く

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、トレイの幅ガイドと長さガイドを移動します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が傾いていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

対処方法	はい	いいえ
手順 2 **a** トレイでサポートされている用紙に印刷していることを確認します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が傾いていますか？	以下にお問い合わせください：カスタマサポート.	問題は解決しました。

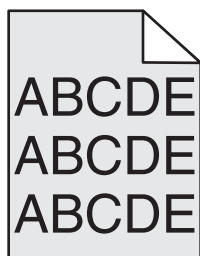
横の線が印刷に表示される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログからトレイとフィーダーを指定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 横の線が印刷に表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 操作パネルから、[用紙メニュー]で用紙タイプと重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 用紙の種類と重さがトレイにセットされている用紙と一致していますか。	手順 3 に進みます。	用紙タイプと重さの設定を変更し、トレイにセットされた用紙に合わせます。
手順 3 **a** 新しいパッケージの用紙をセットします。 **メモ**：高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 横の線が印刷に表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 **a** 感光体ユニットを取り外して再度取り付けてください。 **警告！破損の恐れあり**：感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 横の線が印刷に表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。

対処方法	はい	いいえ
手順 5 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 横の線が印刷に表示されますか。	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 横の線が印刷に表示されますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

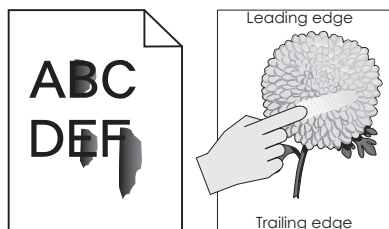
縦の線が印刷に表示される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のタイプ、粗さ、重さを指定します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 縦の線が印刷に表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 操作パネルから、[用紙メニュー]で用紙の粗さ、タイプ、重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 用紙の粗さ、タイプ、重さの設定がトレイにセットされた用紙と合っていますか。	手順 3 に進みます。	次の手順を 1 つ以上実行します。 • トレイ設定で用紙の粗さ、タイプ、重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 • トレイの設定で指定した用紙の粗さ、種類、重さに一致するように、トレイにセットされている用紙を変更します。
手順 3 **a** 新しいパッケージの用紙をセットします。 **メモ**: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 縦の線が印刷に表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。

対処方法	はい	いいえ
手順 4 **a** 感光体ユニットを取り外して再度取り付けてください。 **1** 感光体ユニットを取り外します。 **警告！破損の恐れあり**: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 **2** 感光体ユニットを取り付けます。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 縦の線が印刷に表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 縦の線が印刷に表示されますか。	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 縦の線が印刷に表示されますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示されなくなりましたか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 **a** 感光体ユニットを再び取り付けます。 **警告！破損の恐れあり**: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示されなくなりましたか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。

対処方法	はい	いいえ
手順 3 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示されなくなりましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポートにお問い合わせください。

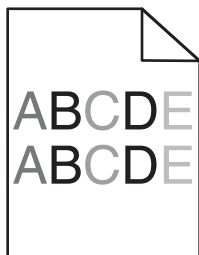
トナーが摩擦ではがれ落ちる

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタコントロールパネルの［用紙］メニューから、用紙タイプ、粗さ、および重量を確認します。 用紙タイプ、粗さ、および重量がトレイにセットされた用紙と一致していますか。	手順 2 に進みます。	トレイ設定の用紙タイプ、粗さ、および重量がトレイにセットされた用紙と一致するように指定します。
手順 2 印刷ジョブを再送信します。 トナーはまだ摩擦ではがれ落ちますか。	カスタマサポートまで お問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷にトナーのしみが表示される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 印刷にトナーのしみが表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷にトナーのしみが表示されますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

OHP 用紙への印刷品質が悪い

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙の種類を設定します。 トレイの用紙の種類が[OHP 用紙]に設定されていますか？	手順 2 に進みます。	用紙の種類を[OHP 用紙]に設定します。
手順 2 **a** 推奨される種類の OHP 用紙を使用しているかどうかを確認します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷品質に問題がありますか？	以下にお問い合わせください：カスタマサポート.	問題は解決しました。

印刷の濃さが均一ではない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 印刷の濃さが均一ではありませんか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷の濃さが均一ではありませんか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

縦線が印刷に表示される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 **a** プログラムが正しいファイルパターンを使用していることを確認します。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦線が印刷に表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 **a** 操作パネルから、[用紙メニュー]で用紙タイプと重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦線が印刷に表示されますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 推奨された用紙を使用しているかどうかを確認します。 **a** 指定したトレイまたはフィーダーに推奨された用紙をセットします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦線が印刷に表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 **a** 感光体を取り外してから、取り付け直します。 **警告！破損の恐れあり**: 感光体ユニットを 10 分間以上直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦線が印刷に表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 **a** チャージャーとプリントヘッドのレンズをクリーニングします。 **b** 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦線が印刷に表示されますか。	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 感光体ユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ縦線が印刷に表示されますか。	カスタマサポートにお問い合わせください。	問題は解決しました。

ホーム画面のアプリケーションの問題を解決する

アプリケーションエラーが発生した場合

対応	はい	いいえ
手順 1 システムログの関連する詳細情報をチェックします。 **a** Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。 プリンタの IP アドレスまたはホスト名が分からない場合: • プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。 • ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP] セクションで IP アドレスを確認します。 **メモ**: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 **b** [**設定**] > [**アプリ**] > [**アプリ管理**] > [**システム**]タブ > [**ログ**] の順にクリックします。 **c** [フィルタ]メニューでアプリケーションの状態を選択します。 **d** [アプリケーション]メニューでアプリケーションを選択し、[**送信**]をクリックします。 エラーメッセージがログに表示されますか。	手順 2 に進みます。	カスタマサポートまでお問い合わせください 。
手順 2 エラーを解決します。 アプリケーションは動作しますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートまでお問い合わせください。

内蔵 WEB サーバーが開かない場合

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタ IP アドレスが正しいか確認してください。 プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。 • プリンタのホーム画面 • [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクション • ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP] セクションを確認 **メモ**: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 プリンタの IP アドレスは正しいですか。	手順 2 に進みます。	正しいプリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。 **メモ**: ネットワーク設定によっては、プリンタ IP アドレスが内蔵 Web サーバーにアクセスする前に、「**https**://”」と入力しなければならない場合があります。この場合、「**http**://」は使用しません。
手順 2 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源が入っていますか。	手順 3 に進みます。	プリンタの電源を入れます。

対応	はい	いいえ
手順 3 ネットワーク接続が動作しているかどうかを確認します。 ネットワーク接続は動作していますか。	手順 4 に進みます。	システムサポート担当者に問い合わせてください。
手順 4 プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルの接続をチェックし、しっかり固定されているか確認します。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 プリンタとプリントサーバー間はケーブルで確実に接続されていますか。	手順 5 に進みます。	ケーブルを確実に接続します。
手順 5 一時的にウェブプロキシサーバーをオフにする **メモ**: プロキシサーバーが内蔵 WEB サーバーなど特定のウェブサイトへのアクセスをブロックまたは制限する場合があります。 Web プロキシサーバーは無効ですか。	手順 6 に進みます。	システムサポート担当者に問い合わせてください。
手順 6 アドレスフィールドに正しい IP アドレスを入力し、内蔵 Web サーバーに再度アクセスします。 内蔵 Web サーバーを開きましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

カスタマサポートに問い合わせる

カスタマサポートに問い合わせるときには、発生している問題、プリンタディスプレイのメッセージ、解決策を見つけるために実施したトラブルシューティング手順を説明してください。

プリンタモデルタイプとシリアル番号が必要です。詳細については、プリンタの背面にあるラベルを確認してください。シリアル番号は、メニュー設定ページにも表示されます。

Lexmark はさまざまな方法で、お客様の印刷の問題を解決できるように支援いたします。Lexmark Web サイト（**http://support.lexmark.com**）にアクセスし、次のいずれかを選択してください。

技術ライブラリ（Tech Library）	マニュアル、サポートドキュメント、ドライバ、およびその他のダウンロードのライブラリを参照し、一般的な問題を解決できます。
E メール	Lexmark チームに E メールを送信し、問題を説明できます。サービス担当者が対応し、問題を解決するための情報を提供します。
ライブチャット（Live chat）	サービス担当者と直接チャットができます。担当者がプリンタの問題の解決を行い、Assisted Service を通してサポートを提供します。Assisted Service では、担当者がインターネット経由でモートでお客様のコンピュータに接続し、問題の解決、更新のインストール、または他のタスクの完了を実施し、お客様の Lexmark 製品が正しく動作するように支援できます。

電話によるサポートもご利用いただけます。米国またはカナダの場合、1-800-539-6275 までお電話ください。その他の国または地域については、**http://support.lexmark.com** をご覧ください。

通知

製品情報

製品名:

Lexmark MS911de

機種番号:

4021

機種:

230

版通知

2014 年 6 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があり、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、**http://support.lexmark.com** を参照してください。

消耗品とダウンロードについては、**http://www.lexmark.com** を参照してください。

商標

Lexmark、Lexmark とダイヤモンドのデザイン、および MarkVision は、米国およびその他の国において登録された Lexmark International, Inc. の商標です。

Mac および Mac ロゴは、米国およびその他の国において登録された Apple Inc. の商標です。

PCL® は Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、Hewlett-Packard Company のプリンタ製品に含まれるプリンタコマンド（言語）および機能のセットの表示です。このプリンタは PCL 言語に対応します。このこと

は、プリンタがさまざまなアプリケーションプログラムで使用される PCL コマンドを認識し、プリンタがコマンドに対応する機能をエミュレートすることを意味します。

次の用語は、各企業の商標または登録商標です:

Albertus	The Monotype Corporation plc
Antique Olive	Monsieur Marcel OLIVE
Apple-Chancery	Apple Computer, Inc.
Arial	The Monotype Corporation plc
CG Times	The Monotype Corporation plc のライセンスによる Times New Roman に基づき、Agfa Corporation の製品です。
Chicago	Apple Computer, Inc.
Clarendon	Linotype-Hell AG およびその子会社
Eurostile	Nebiolo
Geneva	Apple Computer, Inc.
GillSans	The Monotype Corporation plc
Helvetica	Linotype-Hell AG およびその子会社
Hoefler	Jonathan Hoefler Type Foundry
ITC Avant Garde Gothic	International Typeface Corporation
ITC Bookman	International Typeface Corporation
ITC Mona Lisa	International Typeface Corporation
ITC Zapf Chancery	International Typeface Corporation
Joanna	The Monotype Corporation plc
Marigold	Arthur Baker
Monaco	Apple Computer, Inc.
New York	Apple Computer, Inc.
Oxford	Arthur Baker
Palatino	Linotype-Hell AG およびその子会社
Stempel Garamond	Linotype-Hell AG およびその子会社
Taffy	Agfa Corporation
Times New Roman	The Monotype Corporation plc
Univers	Linotype-Hell AG およびその子会社

その他のすべての商標は各所有者に帰属します。

AirPrint および AirPrint のロゴは Apple, Inc. の商標です。

ライセンスに関する通知

この製品に関連するライセンスについての通知はすべて、インストールソフトウェア CD の CD:\NOTICES ディレクトリから表示できます。

騒音発生レベル

ISO7779 に基づく以下の測定が実施され、ISO 9296 に準拠することが報告させれました。

メモ: 一部のモードは本製品に適用されない場合があります。

1メートルでの平均音圧, dBA	
印刷時	54(片面)、55(両面)
準備完了時	28

これらの数値は変更される場合があります。最新のの値については、**www.lexmark.com** を参照してください。

廃電気電子機器(WEEE)指令

WEEE のロゴは、ヨーロッパ連合諸国内での電気製品に関する特定のリサイクルプログラムおよび手順を示します。弊社は、製品のリサイクルを奨励しています。

リサイクルに関するお問い合わせの場合は、**www.lexmark.co.jp** から Lexmark ホームページにアクセスし、お近くの販売店の連絡先をお調べください。

India E-Waste notice

This product complies with the India E-Waste (Management and Handling) Rules, 2011, which prohibit use of lead, mercury, hexavalent chromium, polybrominated biphenyls, or polybrominated diphenyl ethers in concentrations exceeding 0.1% by weight and 0.01% by weight for cadmium, except for the exemption set in Schedule II of the Rules.

製品の廃棄

プリンタまたは消耗品は、一般の家庭ごみと一緒に捨てないでください。廃棄とリサイクルの方法については、お住まいの地方自治体にお問い合わせください。

静電気の発生について

このマークは、静電気に敏感な部品であることを示します。このマークの周辺に触れる前に、プリンタの金属フレームに触れてください。

Energy Star（国際エネルギースター）プログラム

起動画面に「ENERGY STAR」マークが表示される Lexmark 製品は、出荷時に EPA（Environmental Protection Agency）ENERGY STAR 要件に準拠するよう構成されていることが、Lexmark によって認定されています。

温度に関する情報

動作環境温度	10 ～ 30°C（50 ～ 86°F）
輸送時の温度	-10 ～ 40°C（14 ～ 104°F）
保管時の温度と相対湿度	-10 ～ 40°C（14 ～ 104°F） 15 ～ 85% RH

レーザーについて

本機は、米国において クラス I（1）レーザー製品に対する DHHS 21 CFR Chapter I、Subchapter J の要件に準拠し、その他の国では IEC 60825-1 の要件に準拠するクラス I レーザー製品として認可されています。

クラス I レーザー製品は、危険性がないとみなされています。本機には、クラス IIIb（3b）レーザーが内蔵されています。これは、787 ～ 800 ナノメートルの波長で動作する定格 10 ミリワットのガリウムヒ素レーザーです。レーザーシステムとプリンタは、通常の操作、ユーザによるメンテナンス、または所定のサービス条件の下で、ユーザがクラス I レベルを超えるレーザー放射に絶対にさらされないように設計されています。

レーザー注意ラベル

本機には、図のようなレーザーに関する注意ラベルが貼られていることがあります。

DANGER - Invisible laser radiation when cartridges are removed and interlock defeated. Avoid exposure to laser beam.
PERIGO - Radiação a laser invisível será liberada se os cartuchos forem removidos e o lacre rompido. Evite a exposição aos feixes de laser.
Opasnost - Nevidljivo lasersko zračenje kada su kasete uklonjene i poništena sigurnosna veza. Izbjegavati izlaganje zracima.
NEBEZPEČÍ - Když jsou vyjmuty kazety a je odblokována pojistka, ze zařízení je vysíláno neviditelné laserové záření. Nevystavujte se působení laserového paprsku.
FARE - Usynlig laserstråling, når patroner fjernes, og spærreanordningen er slået fra. Undgå at blive udsat for laserstrålen.
GEVAAR - Onzichtbare laserstraling wanneer cartridges worden verwijderd en een vergrendeling wordt genegeerd. Voorkom blootstelling aan de laser.
DANGER - Rayonnements laser invisibles lors du retrait des cartouches et du déverrouillage des loquets. Eviter toute exposition au rayon laser.
VAARA - Näkymätöntä lasersäteilyä on varottava, kun värikasetit on poistettu ja lukitus on auki. Vältä lasersäteelle altistumista.
GEFAHR - Unsichtbare Laserstrahlung beim Herausnehmen von Druckkassetten und offener Sicherheitssperre. Laserstrahl meiden.
ΚΙΝΔΥΝΟΣ - Έκλυση αόρατης ακτινοβολίας laser κατά την αφαίρεση των κασετών και την απασφάλιση της μανδάλωσης. Αποφεύγετε την έκθεση στην ακτινοβολία laser.
VESZÉLY – Nem látható lézersugárzás fordulhat elő a patronok eltávolításakor és a zárószerkezet felbontásakor. Kerülje a lézersugárnak való kitettséget.
PERICOLO - Emissione di radiazioni laser invisibili durante la rimozione delle cartucce e del blocco. Evitare l´esposizione al raggio laser.
FARE – Usynlig laserstråling når kassettene tas ut og sperren er satt ut av spill. Unngå eksponering for laserstrålen.
NIEBEZPIECZEŃSTWO - niewidzialne promieniowanie laserowe podczas usuwania kaset i blokady. Należy unikać naświetlenia promieniem lasera.
ОПАСНО! Невидимое лазерное излучение при извлеченных картриджах и снятии блокировки. Избегайте воздействия лазерных лучей.
Pozor – Nebezpečenstvo neviditeľného laserového žiarenia pri odobratých kazetách a odblokovanej poistke. Nevystavujte sa lúčom.
PELIGRO: Se producen radiaciones láser invisibles al extraer los cartuchos con el interbloqueo desactivado. Evite la exposición al haz de láser.
FARA – Osynlig laserstrålning när patroner tas ur och spärrmekanismen är upphävd. Undvik exponering för laserstrålen.
危险 - 当移除碳粉盒及互锁失效时会产生看不见的激光辐射，请避免暴露在激光光束下。
危險 - 移除碳粉匣與安全連續開關失效時會產生看不見的雷射輻射。請避免曝露在雷射光束下。
危険 - カートリッジが取り外され、内部ロックが無効になると、見えないレーザー光が放射されます。このレーザー光に当たらないようにしてください。

電力消費量

製品の消費電力

次の表は、本製品の消費電力を記したものです。

メモ: 一部のモードが本製品に適用されない場合があります。

モード	説明	消費電力 (W)
印刷	製品が電子入力からハードコピーの出力を生成している状態	910（片面）、830（両面）
コピー	製品がハードコピーの原稿からハードコピーの出力を生成している状態	情報なし
スキャン	製品がハードコピーの文書をスキャンしている状態	情報なし
準備完了	製品が印刷ジョブを待機している状態	190
スリープ モード	製品が高レベルの省エネモードにある状態	2.5
ハイバネート	製品が低レベルの省エネモードにある状態	0.5
オフ時	製品の電源コードがコンセントに差し込まれていて、電源スイッチがオフになっている状態	0

上記の消費電力は、時間平均で測定したものです。瞬間的な消費電力は、時間平均の値を大幅に上回る場合があります。

これらの数値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com を参照してください。

スリープモード

この製品には、スリープモードと呼ばれる省電力モードがあります。スリープモードでは、長時間アイドル状態になった場合、電力消費量を下げることで、電力を節約します。[スリープモードタイムアウト]という一定期間の間に本機が使用されない場合、自動的にスリープモードになります。

本機の工場出荷時のデフォルト[スリープモードタイムアウト](分):	20

設定メニューを使用し、[スリープモードタイムアウト]を 1 ～ 120 分の間に変更できます。[スリープモードタイムアウト]を低い値に設定すると電力消費量を下げることができますが、本機の応答時間が長くなる場合があります。[スリープモードタイムアウト]を高い値に設定すると、応答が速くなりますが、電力消費量が多くなります。

ハイバネートモード

この製品には、ハイバネートモードと呼ばれる超低電力動作モードがありますハイバネート モード。ハイバネートモードで動作中は、他のシステムやデバイスの電源を安全に切れる上体です。

次のすべての方法で、ハイバネートモードに入ることができます。

- ハイバネートタイムアウトを使用する。
- 電力モードの定期実行を使用する
- スリープ/ハイバネートボタンを使用する

すべての国または地域における本機の工場出荷時のデフォルト ハイバネート タイムアウト	3 日

ジョブが印刷された後、ハイバネートモードに入る前にプリンタが待機する時間は、1 時間から 1 ヶ月の範囲で変更できます。

オフモード

オフモードでも、わずかながら電力を消費します。製品の電力消費を完全になくすには、電源コードをコンセントから抜いてください。

合計の消費電力量

合計の消費電力量を計算することも、役に立つ場合があります。消費電力の単位はワットで表されているため、実際の消費電力量を計算するには、それぞれの運転モードにおける動作時間をかける必要があります。合計の消費電力量は、それぞれの運転モードにおける消費電力量を合計したものとなります。

日本の VCCI 規定

製品にこのラベルが表示されている場合、
次の要件を満たしています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

この装置は，クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI－A

ワイヤレス製品の規制に関する通知

このセクションでは、(たとえばワイヤレスネットワークカードまたは非接触カードリーダーなどの)トランスミッターを含むワイヤレス製品の規制に関する情報を提供しています。

モジュラーコンポーネントに関する通知

この製品には、以下のモジュラーコンポーネントが含まれている場合があります。

Lexmark 規制タイプ/LEX-M01-005、FCC ID: IYLLEXM01005、Industry Canada IC: 2376A-M01005

高周波エネルギーの放射に対する被爆

この装置の高周波放射出力は、FCC およびその他の監督機関の高周波エネルギーに対する被爆制限値よりはるかに低いものです。アンテナおよび人体から本機器までの距離を最低 20 cm(8 インチ)確保することにより、FCC の高周波エネルギーに対する被爆制限を満たすことができます。

特許の承認

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ(TLS)用の楕円曲線暗号(ECC)スイートに関する IETF(インターネット・エンジニアリング・タスク・フォース)による Certicom Corp.の知的財産権(IPR)の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている SHA-256/382 および AES ガロア・カウンター・モード(GCM)による TLS 用の楕円曲線暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp.の知的財産権(IPR)の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ(TLS)用のスイート B プロファイルに関する IETF による Certicom Corp.の知的財産権(IPR)の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ(TLS)用のカメリア暗号スイートの追加に関する IETF による Certicom Corp.の知的財産権(IPR)の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスにおける一定の特許の使用には、製品またはサービスに実装されている TLS 用の AES-CCM ECC 暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp.の知的財産権(IPR)の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている楕円曲線デジタル署名アルゴリズム(ECDSA)を使用した IKE および IKEv2 認証に関する IETF による Certicom Corp.の知的財産権(IPR)の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている IPSec 用のスイート B 暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp.の知的財産権(IPR)の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているインターネットキー交換バージョン 1 (IKEv1)用のアルゴリズムに関する IETF による Certicom Corp.の知的財産権(IPR)の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

索引

数字

アルファベット

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行